

茨城をもっと
知るための



GUIDE for



meister



いばらき観光マイスター ガイドブック
令和5年度改訂版

© 茨城観光

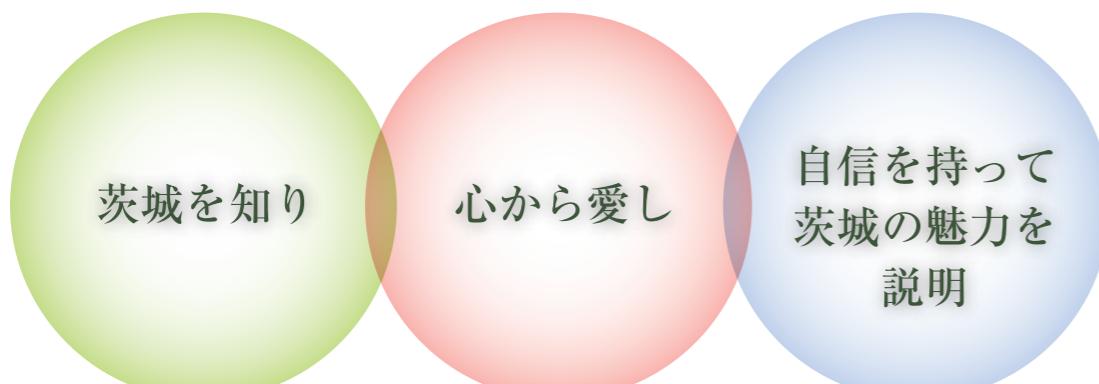


Contents

- 03 いばらき観光マイスター制度とは?
- 04 茨城県の観光の現状を把握しよう
- 05 茨城県の主な観光資源と交通網
- 06 茨城県を代表する観光資源
- 24 道の駅一覧
- 26 各市町村の観光資源 ※人口:令和5年4月1日現在の常住人口調査結果
年間観光入込客数:令和3年観光客動態調査結果(延べ人数)
- 26 県北エリア (日立市/常陸太田市/高萩市/北茨城市/常陸大宮市/那珂市/東海村/大子町)
- 35 県北地域周遊コースと茨城県の豆知識①『茨城県とは』
- 36 県央エリア (水戸市/笠間市/ひたちなか市/小美玉市/茨城町/大洗町/城里町)
- 47 県央地域周遊コースと茨城県の豆知識②『茨城県のナンバー1たち』
- 48 鹿行エリア (鹿嶋市/潮来市/神栖市/行方市/鉾田市)
- 55 鹿行地域周遊コースと茨城県の豆知識③『豊富な農林水産物』
- 56 県南エリア (土浦市/石岡市/龍ヶ崎市/取手市/牛久市/守谷市/つくば市/稲敷市/
かすみがうら市/つくばみらい市/美浦村/阿見町/河内町/利根町)
- 71 県南地域周遊コースと茨城県の豆知識④『茨城空港』
- 72 県西エリア (古河市/結城市/下妻市/常総市/筑西市/坂東市/桜川市/八千代町/五霞町/境町)
- 83 県西地域周遊コースと茨城県の豆知識⑤『茨城の地酒』
- 84 いばらき観光マイスター認定者のいる宿泊施設紹介
- 88 茨城県内宿泊施設一覧(茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合員)
- 90 おもてなし向上のために必要な心得
- 94 おもてなしをさらに向上させるために(応用編)



おもてなし日本一を目指すためには、
県民一人ひとりが

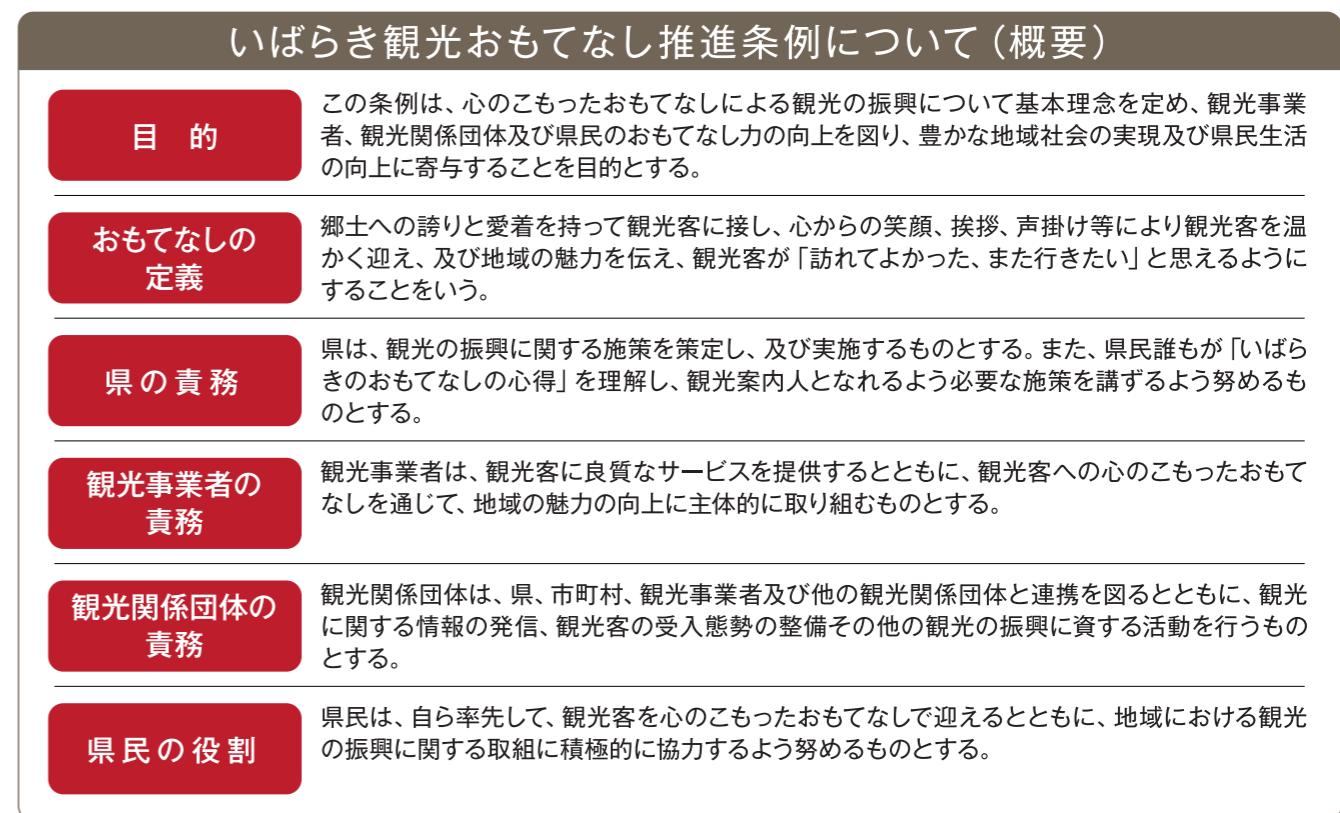
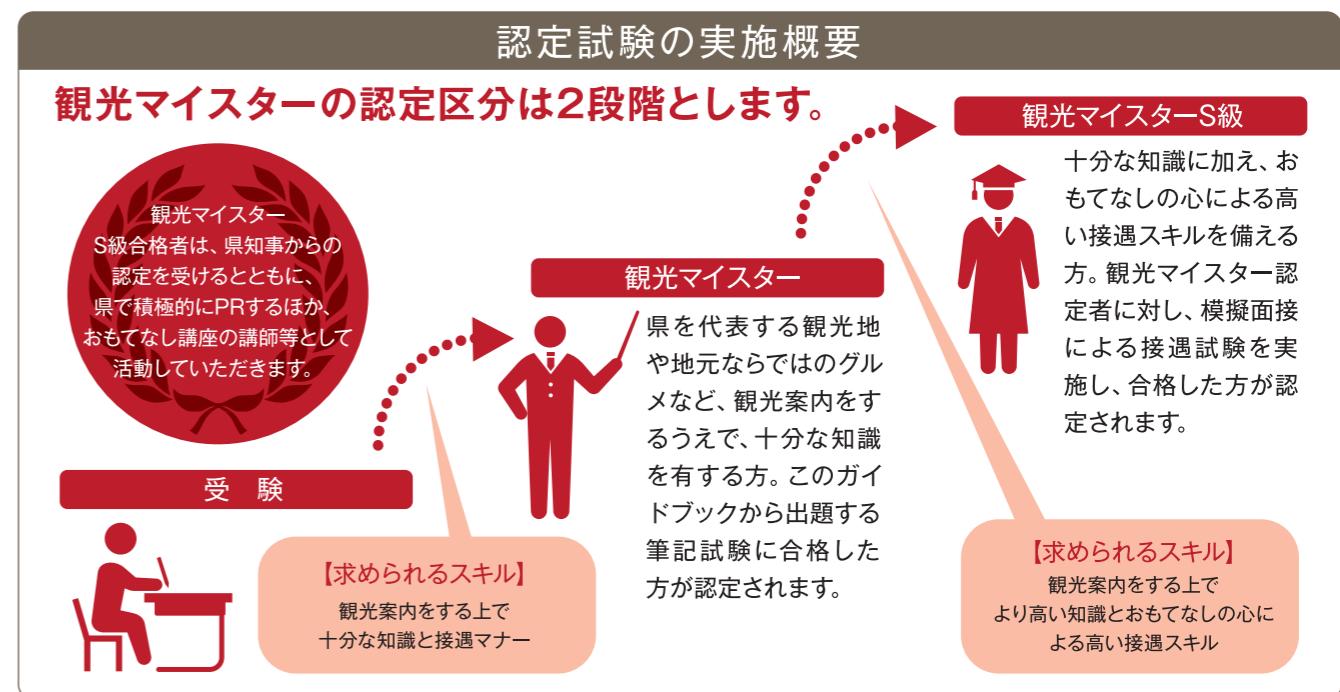


できるようになることが大切です。

Guide for
Ibaraki
meister

いばらき観光マイスター制度とは?

この制度は、県、市町村、観光事業者、観光関係団体及び県民が一体となって「おもてなし日本一」を目指す「いばらき観光おもてなし推進条例」の制定(平成26年11月施行)を踏まえ、タクシー・バス乗務員、宿泊施設・観光施設従業員などの観光知識や接遇スキルの向上を図るため、試験を実施したうえで、県が認定する制度です。



茨城県の観光の現状を把握しよう

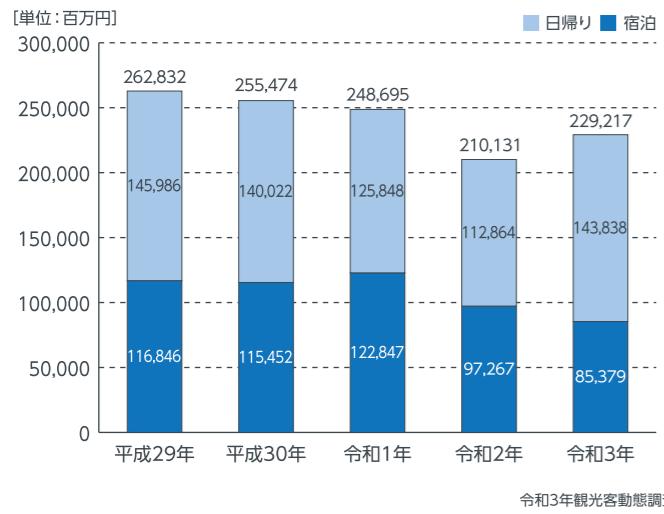
1 観光入込客数(実人数)

新型コロナウイルスの影響で一旦減少しましたが、回復傾向にあります。



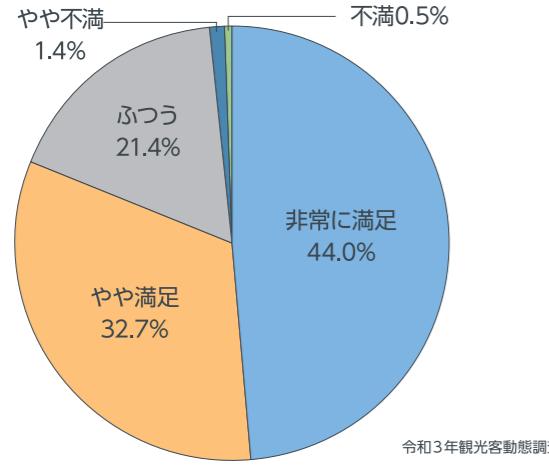
3 観光消費額

近年の本県の観光消費額は、やや減少傾向にあります。



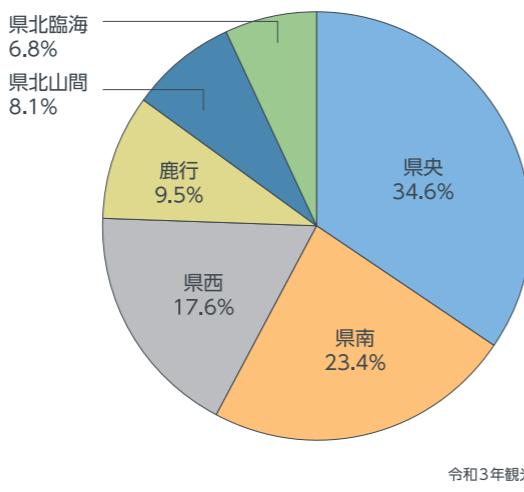
5 本県観光に対する満足度

本県の観光に対して8割弱の方が満足している(非常に満足とやや満足の合計)結果となっています。



2 地域別観光地点等入込客数の割合

地域別で比較すると、県央エリアと県南エリアの入込客数が全体の6割弱を占めています。



4 本県を訪れる1人当消費額

近年5年間の消費額を平均すると、宿泊客は約24,000円、日帰り客は約4,000円となっています。

	1人当消費額(円/人回)		
	全体	宿泊	日帰り
令和3年	6,396	23,282	4,471
令和2年	6,161	23,617	3,763
令和1年	6,176	25,023	3,559
平成30年	6,322	23,313	3,949
令和29年	6,645	22,838	4,239

令和3年観光客動態調査

茨城県の主な観光資源と交通網

- ①袋田の滝
- ②六角堂
- ③竜神大吊橋
- ④西山御殿(西山荘)
- ⑤偕楽園
- ⑥国営ひたち海浜公園
- ⑦アクアワールド茨城県大洗水族館
- ⑧笠間芸術の森公園
- ⑨水郷潮来あやめ園
- ⑩鹿島神宮
- ⑪カシマサッカースタジアム
- ⑫鹿島灘海浜公園
- ⑬筑波山
- ⑭JAXA 筑波宇宙センター
- ⑮牛久大仏
- ⑯いばらきフラワーパーク
- ⑰つむぎの館
- ⑱雨引観音
- ⑲ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- ⑳古河公方公園(古河総合公園)
- ㉑小貝川ふれあい公園
- ㉒つくば霞ヶ浦りんりんロード
- ㉓かみね動物園
- ㉔茨城県植物園



茨城県を代表する 観光資源

県北エリア

日立市／常陸太田市／高萩市／北茨城市／
常陸大宮市／那珂市／東海村／大子町

変化に富んだ海岸線や久慈川、那珂川の清流をはじめ、八溝山系の山並み、滝や渓谷、里山などの季節ごとの豊かな自然景観が楽しめるスポットの多いエリアです。特に紅葉の季節には北茨城市的花園渓谷、高萩市の花貫渓谷、常陸太田市の竜神大吊橋、大子町の袋田の滝周辺は大きな円を描くように周遊ができます。特に近年、竜神大吊橋でのバンジージャンプは新たな観光スポットとして国内外から人気を博しています。文化的にも北茨城市には日本美術院を築いた岡倉天心ゆかりの六角堂、常陸太田市には水戸藩第2代藩主徳川光圀公の隠居所でもある西山御殿(西山荘)、日立市には日立製作所創業者・小平浪平の足跡を記念した日立オリジンパークがあります。交通面では、国道6号や国道349号、JR常磐線やJR水郡線などにより南北のアクセスは整っています。東西については、拡幅などの整備が進み、自動車での行き来はスムーズになりましたが、電車・バス等の公共交通機関の利用は困難であるため、周遊モデルを提案するときは交通手段などにも留意する必要があります。

県北エリア周遊ガイド注意点

県北エリアの山間部は、道幅の狭い道路がありますので、自ら車を運転する観光客に対しては予め説明しておくなど配慮が必要です。さらに、冬季は道路が路面凍結している可能性がありますので、スタッドレスタイヤの装着等十分注意して運転する必要があります。また、紅葉の時期には、袋田の滝、竜神大吊橋、花貫渓谷等の紅葉スポットを巡る周遊バスが運行される場合もありますので、バスを利用した周遊コースを提案するのもおすすめです。

このエリアでは、そば打ち体験やバンジージャンプなど、事前予約の必要な体験施設も多いので注意が必要です。早めの計画立てと事前予約をしておきましょう。

紅葉、果樹狩り、常陸秋そばなど秋の魅力が多いのがこのエリアの特徴です。この時期は特に多くの観光客が訪れるので、渋滞を想定し余裕を持ったプラン設定にしましょう。

北茨城市、大子町、常陸太田市、常陸大宮市には温泉施設も多く、日帰り入浴に対応した施設も多くあります。周遊プランの途中に提案すると喜んでもらえるかもしれません。

地元の農産物などを販売している道の駅や直売所など、観光スポット以外にお土産を購入できるような場所をルート内に組み込む良いでしょう。



大子町袋田 3-19

TEL.0295-72-0285(大子町観光協会)



北茨城市大津町 727-2

TEL.0293-46-0766(茨城大学五浦美術文化研究所)



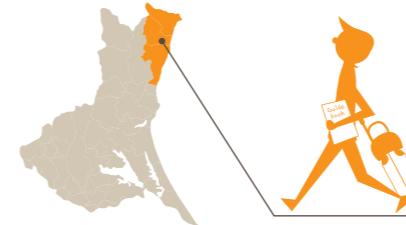
常陸太田市新宿町 590

TEL.0294-72-1538(徳川ミュージアム西山御殿)



常陸太田市天下野町 2133-6

TEL.0294-87-0375(水府物産センター)



道の駅 日立おさかなセンター

地元漁師の店や地元鮮魚店が軒を連ねる市場スタイルの施設で、新鮮な海の幸を産地価格で購入できます。平成26年4月に道の駅に登録されました。



日立 かみね公園

桜の名所で園内には、ソメイヨシノなどの約1000本の桜が咲き誇ります。また、カピバラやエゾヒグマへのエサやり体験ができる動物園ほか、遊園地やレジャークラブ、吉田正音楽記念館などが併設されています。



高萩市 花貫渓谷

約60mの長さの汐見滝吊り橋からの眺めが絶景です。花貫川のせせらぎを聞きながら、春の新緑や秋の紅葉など四季折々の自然の姿を満喫できます。



高萩市 高戸小浜海岸

切り立った海食崖に挟まれた二つの入り江を持つ景勝地で、「日本の渚・百選」の一つに選ばれています。夏は磯遊びスポットとしても人気があり、家族連れで楽しむ姿が多く見られます。



北茨城市漁業歴史資料館よう・そー

北茨市の伝統文化、漁業、あんこうなどについて分かりやすく展示している資料館です。漁業体験も受けています。



茨城県天心記念五浦美術館

岡倉天心や横山大観をはじめ、五浦で過ごした作家たちの作品や資料を通じて日本美術の歴史に触れる場所です。



グルメ・お土産



味勝手丼

日立おさかなセンター内あかつ水産(みなと町横丁商店街)で、新鮮な海鮮具材を選び、自分好みにアレンジできる「味勝手丼」(味噌汁付)。そのほかに、浜焼きを楽しむこともできる。



大みか饅頭

日立の名物として長年親しまれてきた薯蕷饅頭(じょうようまんじゅう)。山芋をすりおろして米粉を加えた皮が特徴の、白さ・上品さ・美しさを兼ね備えた和菓子。



かみねバーガー

茨城が誇る鉄板牛の常陸牛と、茨城名産のレンコンを使用しており、常陸牛のバターからあふれる肉汁とシャキシャキとしたレンコンの食感で、あっさり味ながらも満足感は抜群です。



花貫フルーツほおずきジャム

色鮮やかなオレンジ色のジャムは、実をそのまま食べた時に感じる酸味やほろ苦さが深みのある甘みに包まれ、パンはもちろん、ヨーグルトや料理ソースとしても使うことができます。



高萩ほおずきタルト

高萩ほおずきをたっぷりと使った贅沢なほおずきタルト。ほおずきの酸味と甘みを活かした絶妙な味わいが特徴です。



アンコウ鍋

北茨城市が発祥の地とされる料理「アンコウ鍋」。築地市場「鍋グランプリ」で、グランプリを獲得するなど、全国に認められた一品です。



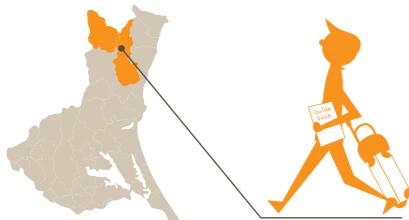
五浦最中

市内の観光名所「六角堂」の形をした海苔あん入りの白皮の最中と黒あん入りの茶皮の最中は絶品です。



ガラス工芸

ガラス工房シリカでは、ガラス製品を販売しているほか、スタッフの指導を受けながら、吹きガラスやサンドブラストなどの体験ができます。



県北観光スポット

常陸太田市・大子町

常陸太田市 竜神狭アウトドアフィールド

竜神ダム湖でカヌー、ボートが体験できます。初めての方でもダム湖のため流れが少なく、インストラクターの指導のもと気軽に体験できます。



常陸太田市 金砂ふるさと体験交流施設かなざ笑楽校

かなざ笑楽校は、旧金砂小学校を改修し、豊かな自然体験や生活体験ができる体験交流施設です。グラウンド、体育館を利用した合宿や宿泊、ボルダリング体験もできます。また、校舎の3階では、4室のほかに図書室、音楽室が完成し、カラオケやスポーツ等が楽しめるようになりました。



常陸太田市 竜神大吊橋

竜神ダムの湖上にかかる吊橋で、375mの全長は日本最大級。常設の竜神パンジーは日本最大級となる高さ約100mからバンジージャンプも体験できます。



大子町 生瀬富士

袋田の滝の北にある標高406mの生瀬富士。山頂からは筑波山や那須連峰、日光の山々、大子町の街並みが見渡せます。



大子町 大子おやき学校

廃校になった小学校をリノベーションした施設で、豊かな自然の中、おやき作り体験が楽しめます。



大子町 月待の滝

高さ17m、幅12メートルの滝で安産や子育てに御利益があるとされています。濡れることなく、滝の裏側に入ることから「裏見の滝」とも呼ばれています。



大子町 八溝山

茨城県の最高峰を誇る八溝山。夏場には、生き生きと色づく緑の中、森林浴を楽しみに訪れる人もいます。



大子町 大子広域公園オートキャンプ場 グリンヴィラ

奥久慈の豊かな自然を体験することができるオートキャンプ場です。公園内にはアスレチックや温泉、温水プール等の施設も充実しています。



グルメ・お土産



つけんちんそば

温かい具沢山のけんちん汁に冷たいそばをつけて食べるつけんちんそばは、山あいの地域では昔から米のかわりに主食として食べられてきました。



凍こんにゃく

江戸時代から農閑期の副業として盛んに作られてきた保存食です。昭和30年代後半から生産者が激減し、現在は数軒の生産者を残すのみとなっています。



里美ジェラート

里美地区の新鮮・搾りたての牛乳を使用したジェラート。口に入れたときにふわっと広がるミルクの風味とジェラート特有の口どけ感が人気です。



ナチュラルチーズ

市内産の生乳を使用し、一つ一つ大切に手作りしたチーズです。



奥久慈りんご

熟してから収穫する「樹上完熟」にこだわる奥久慈りんご。りんご狩りシーズンは品種も増え、各りんご園のイチオシを楽しめます。



奥久慈茶

約500年の歴史がある奥久慈茶は、低温多雨の気候と冬の寒さという厳しい環境で育つため、香りが強く、渋みとうまみが絶妙なバランスの茶葉となります。



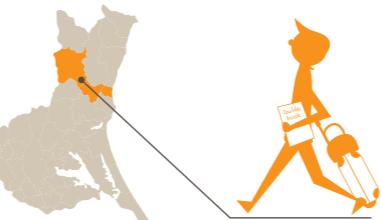
奥久慈しゃも料理

奥久慈の大自然の中で十分運動させて育てた奥久慈しゃもは、脂肪分が低く、適度な歯ごたえがあり、野趣を感じるうまみが特長です。



アップルパイ

奥久慈りんごの産地、大子では、りんご園やレストラン、菓子店などがオリジナリティを活かしたアップルパイを焼いています。最近では、アップルパイのイベントも開催され、人気が高まっています。



県北観光スポット

常陸大宮市・那珂市・東海村

観光スポット

常陸大宮市・那珂市・東海村

常陸大宮市 西ノ内紙 紙のさと和紙資料館

和紙の原料となるコウゾの生産地である常陸大宮市山方。昔から続く和紙作りの見学や漉き絵の体験ができます。売店もあり、趣きある和紙や加工品が販売されています。



道の駅常陸大宮～かわプラザ～

平成28年3月にオープンした道の駅。関東屈指の清流、鮎の舞う久慈川のほとりに位置する道の駅常陸大宮は、豊かな緑とさわやかな風の心地よい憩いの場。重点「道の駅」に選定されて、地域の魅力を発信し、みなさまの居心地の良い交流の場づくりを目指しています。



那珂市 茨城県植物園

広大な敷地には約600種、約5万本の植物があります。バラ園、カエデ園、ボタン園のほか、園内には熱帯植物館もあります。



那珂市 静峰ふるさと公園

八重桜をはじめ、四季折々に咲く植物の他、遊具、ノルディックウォーキングコース、バーベキュー施設等が整備され、年間を通して多世代で楽しめる公園です。



那珂市 なかLuckyFM公園(那珂総合公園)

野球場、テニスコートなどの施設が揃い、那珂市歴史民俗資料館も併設されています。また、夏には公園周辺約4haの畑に25万本のひまわりが咲き誇ります。



東海村 原子力科学館

原子力や放射線利用の基礎的な事柄を紹介している展示館。展示室にある自然放射線の飛んだ跡が飛行機雲のように観察できる「霧箱」は世界最大級の大きさです。



東海村 大空マルシェ

東海村松エリヤ伊勢神宮の分霊を祀る「大神宮」、日本三体虚空蔵のひとつ「村松虚空蔵堂」。歴史深きこのロケーションで、東海村の文化と歴史の魅力を次世代に伝えるマルシェを開催します。ハンドメイドクラフト品の販売、ワークショップ、アコースティックライブ、アートパフォーマンス、エアツアなどを行います。



東海村 東海十二景

水と緑と陽光に恵まれ、豊かな自然の魅力あふれる東海村。緑の色濃い平野と陽光が降り注ぐ大海原に面したフィールドは自然と触れ合う散策に最適です。東海村の自然環境を代表し、村民の投票によって選ばれた四季折々の魅力を映す東海十二景めぐらもおすすめです。



グルメ・お土産



生クリーム大福

25年前に茨城県で最初に生クリーム大福の販売を開始。餡と生クリームの相性が良いことに注目して商品開発したもので。



ゆずサイダー

地元御前山産の香り高いゆず「多田錦」を使用した、爽やかな風味が楽しめるサイダーです。その他、ゆずを使用したパスタソースやドレッシング等も販売されています。



七運汁

「七運」は、那珂市の額田地区に江戸時代から伝わる民話「額田のたつあい」に登場する幸運を呼ぶ食べ物「七運汁」から命名されました。



ひまわりオイル

オレイン酸やビタミンEなど栄養たっぷりのオイル。くせがなく料理に幅広く使えます。



那珂かぼちゃ

「一蔓一果」の有機栽培で完熟採りを基準としたブランドかぼちゃ。栗のようなホクホクとした食感と濃厚な甘さが特徴です。



干しいも

11月～2月の乾燥時期に作られる干しいも。茨城県は、干しいもの生産量が全国1位で、その主な産地の一つが東海村です。



村松の福俵最中

村松山虚空藏堂で縁起物として親しまれている福俵を最中にしました。俵の形をした最中の中心には、たっぷりあんが入っており、小倉・しそ・栗あんの3種類があります。



ほしいもせんべい

こだわりのほしいも農家が作ったおせんべい。100%自然の味をお楽しみください。

茨城県を代表する 観光資源

県央エリア

水戸市／笠間市／ひたちなか市／
小美玉市／茨城町／大洗町／城里町

県庁所在地の水戸市を中心とした、県を代表する観光施設からグルメ、景観まで幅広く楽しめるエリアです。また、水戸市の水戸芸術館、茨城県近代美術館、徳川ミュージアム、笠間市の笠間焼で有名な茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館など「アート」に関する造詣が深いのもこのエリアの特徴です。水戸徳川家のお膝元として栄えた水戸市には、中心市街地に隣接する都市公園としては日本一の面積を誇る偕楽園公園を中心に史跡も多くあります。平成27年4月には文化庁が新たに創設した「日本遺産」に、弘道館・偕楽園をはじめとする水戸市の近世日本の教育遺産群が認定されました。大洗町はアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台になったことで、アニメファンなどの観光客も増えました。交通の面では、大洗サンビーチやひたちなか市の国営ひたち海浜公園などはシーズンになると交通渋滞が発生する場合があります。

県央エリア周遊ガイド注意点

県央エリアは常磐道、北関東道等の高速道路やJR常磐線、JR水戸線、ひたちなか海浜鉄道湊線、JR水郡線、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線等の鉄道のほか、茨城空港が整備されており、交通の便が比較的良好のがポイントです。特に、水戸市は人口が多く交通量も多いので、水戸駅や偕楽園周辺を中心に混雑する可能性があります。主要観光施設を周遊する際には、公共交通機関やタクシーも充実しているのですが、連休時やイベント開催時などは混雑する可能性があるので注意が必要です。

水戸の梅まつりや水戸黄門まつり、陶祭など大規模なイベントや5月の大型連休時の国営ひたち海浜公園など交通規制や宿泊の案内に注意が必要です。

海水浴シーズンは、大洗方面へ向かう主要道路の混雑が予想されます。迂回路を案内する際は、運転にくれぐれも注意するよう促しましょう。

水戸市内中心市街地は、交通量に対し道幅が狭い場所や一方通行の道路も多くあります。弘道館や水戸芸術館の周辺は特に留意して案内しましょう。

高速道路、鉄道、茨城空港などを利用した多様なルートでの来訪があります。タクシーやレンタカー、パーク＆ライド等、それぞれに合わせた周遊プランの設定が必要です。



水戸市常磐町 1-3-3
TEL.029-244-5454(偕楽園公園センター)



ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL.029-265-9001



大洗町磯浜町 8252-3
TEL.029-267-5151



笠間市笠間 2388-1
TEL.0296-70-1313



水戸市 弘道館

天保12(1841)年に徳川斉昭公により創設された日本最大規模の藩校。慶喜公も5歳から11歳までここで英才教育を受けました。正門、正庁、至善堂は国の重要文化財に指定されています。



水戸城大手門

明治以降に取り壊されるまで、水戸城の正門としての役割を果たしていました。令和2年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができます。



水戸市 森林公園

園内では、季節によって新緑や紅葉の中でのハイキングなどが楽しめます。また、恐竜のオブジェやふれあい牧場、滑り台などは、子供たちに大人気です。



水戸市 好文亭カフェ「樂」

徳川斉昭が愛した風景を眺めながら、ゆっくりと過ごす時間はとても贅沢。好文亭内西塗縁広間で味わう、桟のティラミスや抹茶、そしてオリジナルコーヒーは格別です。



水戸市 左近の桜

令和元年の台風で倒木したヤマザクラ「左近の桜」の新たな苗木を植樹する式典が令和5年3月に佳子内親王殿下ご臨席のもと行われました。これから長い年月を経て健やかに育ち、再び偕楽園のシンボルとなることでしょう。



水戸市 保和苑

元禄時代、徳川光圀公(水戸黄門さま)が寺の庭を愛されて「保和苑」と名づけたのが始まりといわれています。あじさいや紅葉の名所として知られています。



城里町 ふれあいの里

キャビンやオートキャンプ場、バーベキューエリアがあり日帰りでも宿泊でも身近に自然を楽しめます。天文台では本格的な天文観測が体験できます。



城里町 鶏足山

標高430.5mの鶏足山には、弘法大師にまつわる伝説が残っており、伝説の中に登場する護摩焚石や鶏冠の形をした大きな鶏石があります。



グルメ・お土産



梅酒 水戸市

水戸は梅の名所であり梅酒も多くあります。また、明利酒類の「百年梅酒」は、平成20年に大阪で開かれた梅酒の全国大会で、見事日本一となりました。



納豆 水戸市

昔水戸は水害が多く、小粒大豆が多く栽培されたことから、水戸の納豆は小粒が特徴です。明治22年の水戸駅の開業に合わせ販売され、全国的に有名になりました。



水戸藩らーめん 水戸市

徳川光圀公が食べたといわれているラーメンです。その当時の味を忠実に再現し、現代人の味覚に合わせたご当地ラーメンが「水戸藩らーめん」です。



うなぎ 水戸市

水戸市の北を流れる那珂川は川魚の宝庫です。そのため、水戸市内にはうなぎの名店が多くあります。



提灯 水戸市

岐阜や八女とならび「提灯の日本三大産地」に数えられる水戸の提灯は、「水府提灯」の名で知られ、堅牢なつくりが特徴です。



ななかいの里コシヒカリ 城里町

七ヶ地区で栽培されている「ななかいの里コシヒカリ」は平成23年に「お米日本一コンテスト」で最優秀賞に選ばれており、毎年、入賞しているブランド米です。



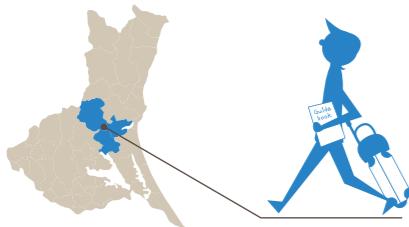
古内茶 城里町

古内地区を流れる藤井川の清流に沿って栽培されている古内茶は、香りと渋みが特徴的で、茨城県三大銘茶の一つに数えられています。



レッドポアロー 城里町

城里町の桂地区で古くから栽培されており、根元が赤いのが特徴です。独特の風味と甘みがあり、食感は白ネギに比べて柔らかく葉まで食べられます。



**県央
エリア**

観光スポット

笠間市・小美玉市・茨城町

笠間市 **笠間稻荷神社**



日本三大稻荷の一つ。春には藤の花、秋には菊の花を愛することができます。江戸時代末期に建てられた御本殿は、国の重要文化財に指定されています。

笠間市 **笠間工芸の丘**



笠間藝術の森公園内にあり、ロクロや手ひねりなど陶芸体験やクラフトアート体験ができる施設。隣接する茨城県陶芸美術館では、笠間焼をはじめ、陶芸の紹介・展示を行っています。

笠間市 **ムラサキパークかさま**



国際大会やイベントが開催できる国内最大級のオールコンクリートのスケートパークで、スケートボードやBMXを体験。初心者から上級者まで誰もが楽しめます。

小美玉市 **茨城空港**



首都圏や近隣からのアクセスが便利な空港です。年間100万人が訪れる観光スポットとしても人気があり、航空機が間近で見られる展望スペースもあります。

茨城町 **涸沼自然公園**



34.5haの広大な敷地の涸沼自然公園は、平成27年にラムサール条約に登録された涸沼のほとりにあり、涸沼を一望できる広い芝生の広場やあじさいが咲き誇る谷などがあります。

笠間市 **筑波海軍航空隊記念館**



平成25年末に公開された映画「永遠の0」のロケ地となりました。戦時中の特攻隊員の遺品や手紙などの展示があり、当時を知る上で貴重な場所となっています。

小美玉市 **空のえき「そ・ら・ら」**

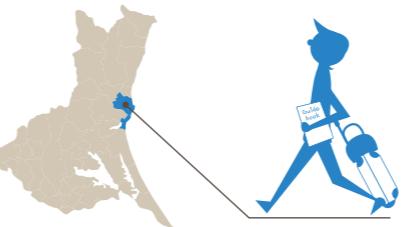


平成26年にオープンした施設で、農産物直売所やレストラン、地元住民によるチャレンジショップなどがあり、お土産選びやお食事におすすめです。

茨城町 **ポケットファームどきどき**



自然・農業・食べ物について、知る・考える・そして体験することの大切さを振り返るために誕生した農業体験型直売所施設で、旬の野菜・果物等が販売されています。



**県央
エリア**

観光スポット

ひたちなか市・大洗町

ひたちなか市 **国営ひたち海浜公園**



春、みはらしの丘一面に広がる青いネモフィラは、書籍「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」に選出され、国内外で有名ですが、秋には丘を赤く染め上げるコキアを楽しむことができます。

ひたちなか市 **那珂湊おさかな市場**



早朝に水揚げされた鮮度抜群の魚が、お求め安い価格で販売されています。更に、お寿司や海鮮丼など、旬の海の幸を楽しめる飲食店も多数軒を連ねています。

ひたちなか市 **湊公園**



公園内には、戸戸光園公が須磨磨石(兵庫県)から取り寄せたといわれる「湊御殿の松」と呼ばれる樹齢300年以上の黒松が生育しており、市から天然記念物として指定されています。

大洗町 **アクアワールド茨城県大洗水族館**



約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。サメの飼育種類数は約60種で日本一。全天候型のオーシャンシアターで開催される「イルカ・アシカオーシャンライブ」が特に人気です。

大洗町 **ひたちなかエネルギーロジック大洗マリンタワー**



地上60mの大洗のシンボルタワーです。3階には展望室があり、条件が揃えば富士山も望むことができます。また、2階には展望喫茶があり、海を眺めながらの食事も楽しめます。

グルメ・お土産



笠間焼
笠間市

江戸時代中期に箱田村(現・笠間市内)の久野半右衛門が信楽焼の陶工の指導を受け窯を築いたのが笠間焼の始まりとされています。陶器市「笠間の陶炎祭」は多くの観光客で賑わいます。



笠間の地酒
笠間市

日本最古の酒蔵のある笠間市。笠間の地酒は、豊かな米と厳しい寒さ、澄んだ水が生み出したうまい味の深い地酒です。平成25年に「笠間酒を笠間焼で乾杯する条例」を制定。



笠間いなり寿司
笠間市

笠間いなり寿司の特徴は「そば」「くるみ」「舞茸」など様々な素材を使った「variety inari sushi」という点で、古くから市民や参詣客に親しまれてきました。



笠間の栗
笠間市

茨城県は栽培面積・生産量ともに全国第1位の栗の生産地。中でも笠間市は栗の生産が盛んで、品種別・サイズ別の選果と冷蔵貯蔵で糖度を高めた貯蔵栗が有名です。



おみたまヨーグルト
小美玉市

小美玉市は全国有数の酪農地帯で、生乳の生産量は県内一。小美玉ふるさと食品公社が新鮮な生乳を使いヨーグルトを製造しました。平成26年に「乳製品で乾杯を推進する条例」を制定。



おみたまプリン
小美玉市

茨城空港開港に向けた町おこしのために誕生。地元産の平飼い卵とノンホモ牛乳を原料に一つ一つ手作業で作られた最高級品です。



メロン
茨城町

茨城町は、昭和40年代からメロンの栽培をしている屈指の名産地。アンデス、クインシーを中心に、甘さと香りがゆたかなメロンを多種生産しています。



涸沼のしじみ
茨城町

汽水湖である涸沼は、良質なヤマトシジミの産地で、大きさ12mm以上のものを採ります。肉厚で濃厚なダシがとれることからしじみ汁に最適です。

グルメ・お土産



海鮮丼
ひたちなか市・大洗町

那珂湊港、平磯港、大洗港から水揚げされた新鮮な魚介類を使用したボリューム満点の海鮮丼がこのエリアで食べられるグルメとして人気です。



あんこう鍋
ひたちなか市・大洗町

「東のあんこう、西のふぐ」と呼ばれる茨城の代表的な冬の味覚です。ひたちなか市と大洗町には、あんこう鍋が食べられるお店がたくさんあります。



那珂湊焼きそば
ひたちなか市

60年以上前から地元で愛される漁師町生まれのご当地焼きそばです。うどんほどの太さになる「手延べせいろ蒸し麺」が特徴です。



ほっこいも
ひたちなか市

大地にぶりそぐ太陽に育てられ、生産量日本一を誇るひたちなか市の「ほっこいも」をパイ生地に包んで焼き上げた香ばしく贅沢な商品です。



幸福の黄色いスタミナ
ひたちなか市

ひたちなか市発祥のスタミナーメンと、食べると幸せになると言われているカレーのコラボによるご当地グルメ第6弾「幸福の黄色いスタミナ」が誕生しました。ビリ辛のカレースタミナスープが食欲をそそります。



たらし
大洗町

もんじゃ焼きにも似た大洗のご当地グルメ。小麦粉を水で溶き、キャベツや切りイカ、卵、ネギなどお好みの具材を入れて醤油やソースで味付けしたシンプルな鉄板焼きです。



シラス
大洗町

特別な鮮度管理を行った生食用シラス「海の輝き」は新鮮な生シラスが味わえます。また、シラスを茹で上げた「釜揚げシラス」や干した「ちりめんじゃこ」などの商品があります。



月の井酒造店
大洗町

大洗の商店街の中にある酒蔵。オーガニック日本酒「月の月」は、贈り物としてもおすすめできる逸品です。

茨城県を代表する 観光資源

鹿行エリア

鹿嶋市／潮来市／神栖市／
行方市／鉢田市

鹿島アントラーズのホームタウンとしても有名な鹿嶋市。鹿島神宮は、江戸時代の頃には伊勢神宮への参拝と並んで尊ばれました。東国三社参りとは、鹿島神宮と神栖市の息栖神社・千葉県香取市の香取神宮を参拝することで、その中間地点にある潮来市は宿場町として栄えた歴史を持ちます。潮来市の代表的な観光資源は約500種100万株のあやめ(花菖蒲)が見られる水郷潮来あやめ園。県屈指の工業地帯を持つ神栖市は工場夜景の名所としても人気があるほか、サッカー合宿の聖地とも称され、スポーツツーリズムに力を入れています。農業が盛んな鉢田市や行方市では、農業を観光資源として活用する動きも。特に全国的に珍しいメロン狩りは、このエリアの特色を生かした観光資源の一つです。沿岸地域は国道51号や国道124号、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線が通り、また潮来・神栖・鹿島から発着する東京駅行の高速バスは本数も多く、比較的交通の便が良い地域です。海水浴場も多く、夏には鉢田市の大竹海岸鉢田海水浴場、鹿嶋市の下津・平井海水浴場、神栖市の日川浜・波崎海水浴場などが多く海水浴客で賑わいます。

鹿行エリア周遊ガイド注意点

鹿行エリアの中央には北浦が位置していますが、鹿行大橋(国道354号)や北浦大橋(県道186号)等により、東西の移動をすることができます。北浦を横断する周遊ルートを提案する場合は、迂回路の少ないことも考慮しましょう。また、鹿島アントラーズのホームゲームのときはカシマサッカースタジアム周辺で渋滞が発生することを考えられますので、周遊する際は注意しましょう。

海水浴シーズンは、鉢田市、鹿嶋市、神栖市の海水浴場が賑わいますが、遊泳区域から外れた場所、特にヘッドランド周辺は非常に危険であるため立ち入らないよう注意しましょう。

例年多くの観光客が訪れる水郷潮来あやめまつり開催中は、周辺の道路が渋滞する可能性があります。案内する際は余裕を持ったスケジュールにしましょう。

カシマサッカースタジアムでの観戦者の中で宿泊を希望する方には、鹿嶋市だけでなく神栖市や潮来市などの近隣市町村の宿泊施設まで案内できると良いでしょう。

神栖市はサッカーの合宿が盛んに行われています。特に、夏は宿泊施設も満員になることも考えられるので、早めの予約案内を心掛けましょう。



潮来市あやめ 1-5
TEL.0299-63-1111(潮来市観光商工課)



鹿嶋市宮中 2306-1
TEL.0299-82-1209(鹿島神宮社務所)

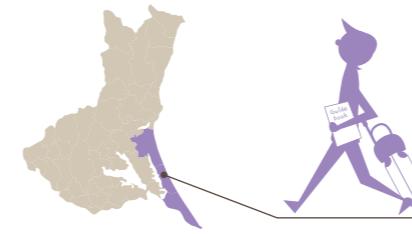


カシマサッカースタジアム

鹿嶋市神向寺後山 26-2
TEL.0299-84-6622



鹿島灘海浜公園
鉢田市大竹 390
TEL.0291-34-1010



鹿嶋市 鹿島神宮

日本建国・武道の神様である「武甕槌大神」を御祭神とする神武天皇元年(紀元前660)創建と伝えられている神社で息栖神社・香取神宮とともに東国三社と呼ばれています。



鹿嶋市 大野潮験
はまなす公園

約3,500本のハマナスが咲く公園は、宇宙展望塔がシンボルです。展望塔からは、筑波山や鹿島灘の大パノラマが楽しめます。



神栖市 息栖神社

息栖神社は鹿島神宮・香取神宮とともに東国三社と呼ばれ古くから信仰を集めてきた神社で、東国三社巡りツアーなどが行われています。



鉢田市 安塚公園

桜並木が広がり、北浦湖畔を望む公園。春になると100本を超える桜と、500mほどにわたる菜の花がいっせいに咲き誇り、多くの人が訪れます。



グルメ・お土産



鹿島灘はまぐり
鹿嶋市

太平洋と広大な砂浜が育てた自然からの贈り物。実が厚く濃厚なうまいが、酒蒸し、漬汁、焼きはまぐり、カレーなど様々な料理でおいしさを堪能できます。



鹿島だこ
鹿嶋市

鹿島灘沖で獲れた「地たこ」です。栄養分豊富な海で育っているため、とても肉厚で身がしまっており、濃厚な味わいが特長です。



神栖メンチ
神栖市

日本一の生産量を誇る神栖市のピーマン。そのピーマンを細かく切り、旨味たっぷりの挽肉の中に練りこんだメンチです。



カミスココくんサブレ
神栖市

神栖市のイメージキャラクターの顔をかたどったサブレです。生地には神栖市産米粉、茨城県産メロンを使用。神栖市の部分は赤いチョコを塗って表現しています。



トマトジュース
鉢田市

糖度8度以上のトマト「あまエル」を使用したものや甘味と酸味のバランスを重視した「ちゅう太郎」のみを使用したトマトジュースがあり栄養たっぷりです。



メロンパウム
鉢田市

mondセレクションや全国菓子大博覧会など世界5大会で受賞をしている商品。平成26年の茨城県主催「第1回おみやげコンクール」でも最優秀賞を受賞しました。



メロン
鉢田市

産出額日本一のメロン。恵まれた気候風土と、生産者の愛情をたっぷり注がれて育ったメロンは甘く香り高く絶品です。



ほしいも
鉢田市

肥沃な大地で育ったさつまいもを使った鉢田の干しいもはご自宅でも贈答品でも喜ばれ、ふるさと納税の返礼品としても大人気です。

観光スポット

鹿嶋市・神栖市・鉢田市

鹿行エリア



鹿嶋市 カシマ
サッカースタジアム

鹿島アントラーズの本拠地で、日本で初めて建設されたサッカー専用スタジアムとしても有名です。W杯と夏季五輪サッカーが開催された実績があります。



神栖市 平成物産パーク
港公園(工場夜景)

シンボルは高さ52mの展望塔で、鹿島港や鹿島臨海工業地帯が一望できます。日没の早い時期には工場夜景が楽しめ、昼とは違った風景が楽しめます。



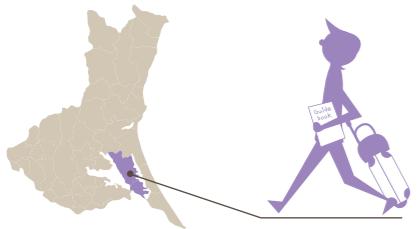
鉢田市 大竹海岸
鉢田海水浴場

遠浅で長い海岸線を持つ、駐車場から浜辺まですぐの海水浴場。開設期間中、ライフセーバーが海を見守るため、お子様連れの方も安心して楽しむことができます。



鉢田市 鹿島灘海浜公園

目の前に海が広がる広大な芝生の公園。海にかけて抜けていく園路は、ドラマやテレビCMの撮影でも使われるほどの絶景です。



観光スポット
鹿行
エリア

潮来市 水郷潮来あやめ園

園内には約500種100万株のあやめ(花菖蒲)が植えられており、毎年5月下旬から6月下旬に開催される「水郷潮来あやめまつり」の会場になっています。



潮来市 道の駅いたこ

太平洋沿いを走る国道51号沿線の観光スポットへの出発地点となる施設。お食事やお土産購入をお楽しみ下さい。



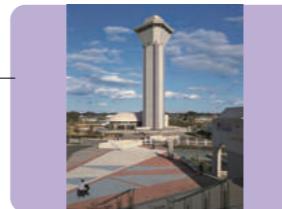
行方市 西蓮寺

延暦元年(782)に天台宗の僧最仙によって創建されたと伝えられる古刹で、「相輪様」や国指定重要文化財の「仁王門」をはじめとする数多くの文化財をっています。



霞ヶ浦 ふれあいランド

霞ヶ浦大橋とともにそびえる虹の塔がシンボルの施設です。ボルダリングやレンタサイクルなど親子で楽しめるレジャーが充実しています。

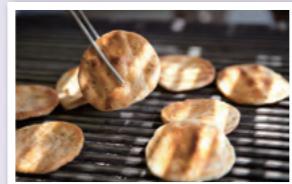


グルメ・お土産



鯉のうま煮 潮来市

利根川の豊かな水資源により豊富に採れる魚介類。昔から川魚料理が有名で、特に鯉をじっくり煮込んだ甘煮「鯉のうま煮」は昔から潮来名物として親しまれています。



手焼きせんべい 潮来市

水郷潮来は米どころであるため、せんべいは古くから有名です。昔ながらの伝統手法で作られた手焼きのせんべいはお土産にもおすすめです。



漬物

てっぽう漬や甘らっきょうなど地元野菜と秘伝のたれを使った手作りの漬物を扱うお店がたくさんあります。お米やお酒のお供にもおすすめです。



おいものお菓子 行方市

地理的表示(GI)に登録されている「行方かんしょ」を使用した焼き芋サブレ、スイートポテト、おいもパイの「おいものお菓子3兄弟」です。それぞれの味わいをご堪能下さい。



行方バーガー 行方市

地元の野菜や特産品を活用したご当地バーガーで、霞ヶ浦で養殖しているアメリカカナマツをパティに使っています。「行方市觀光物産館こいこい」限定商品です。

茨城県を代表する 観光資源

県南 エリア

土浦市／石岡市／龍ヶ崎市／取手市／牛久市／つくば市／守谷市／稲敷市／かすみがうら市／つくばみらい市／美浦村／阿見町／河内町／利根町

日本百名山の一つにも数えられる名峰・筑波山や国内第2位の面積を誇る湖である霞ヶ浦を有する県南エリア。かつて、常陸國国府が置かれた石岡市など、史跡や歴史を感じさせる街並みも数多く残されています。また、約100にも及ぶ研究機関が置かれ、見学できる施設も多いつくば市では、科学技術について身近に触れて学ぶことができます。1日で自然・歴史・科学に触れる能够のは、県南エリアの大きな魅力といえます。常磐道や圏央道、JR常磐線や首都圏新都市鉄道つくばエクスプレスといった様々な交通手段での来訪が想定されます。また、つくば市や土浦市は比較的の宿泊施設も充実していますので、ニーズに合った幅広い提案ができるでしょう。



つくば市筑波地内
TEL.029-866-1616(筑波山観光案内所)



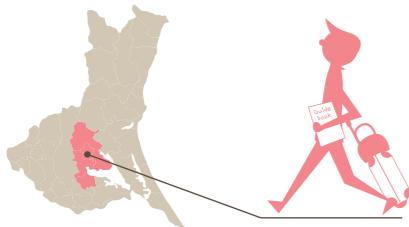
つくば市千現 2-1-1
TEL.029-868-2023



牛久市久野町 2083
TEL.029-889-2931



石岡市下青柳 200
TEL.0299-42-4111



県南
エリア

観光スポット

土浦市・石岡市・かすみがうら市・阿見町

土浦市
**土浦まちかど蔵
「大徳」**

江戸時代末期に造られた見世蔵、袖蔵、元蔵、向蔵の4棟を改修し、観光情報を提供する街のアンテナショップとして利用されています。レンタサイクルもあります。



土浦市
真鍋のサクラ

土浦市立真鍋小学校の校庭にある、樹齢100年を超すサクラ。茨城県の天然記念物にも指定されています。



石岡市
**いばらき
フラワーパーク**

秋から冬の時期に秋バラのライトアップとイルミネーションを開催。シャンパンゴールドに統一されたあたたかい光で、上質なイルミネーションの世界観を体感できます。



石岡市
常陸風土記の丘

歴史を誇る石岡市の文化史跡や旧跡に触れることができ、遊びながら学べる施設。4月上旬に見ごろを迎えるシダレザクラの名所です。



かすみが
うら市
帆引き船

霞ヶ浦の風物詩である帆引き船は、霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化遺産です。昭和46年に観光帆引き船として復活しました。



かすみが
うら市
観光果樹園

千代田地区は、筑波山の東方の山麓に位置し、昔から山の幸に恵まれた果樹栽培が盛んな地域で、ぶどう、梨、柿などの農園がたくさんあります。



阿見町
予科練平和記念館

予科練(海軍飛行予科練習生)出身者の遺書や遺品など貴重な予科練の歴史や町の戦史の記録を保存・展示し、命の尊さや平和の大切さを伝えています。



阿見町
**あみプレミアム・
アウトレット**

国内外の著名ブランド約160店舗が軒を連ねるアウトレットセンター。圏央道「阿見東IC」に直結した交通の便の良さと牛久大仏が見えるロケーションも人気です。



グルメ・お土産



土浦ツェッペリンカレー

土浦市

飛行船ツェッペリン伯号ゆかりのカレーを土浦商工会議所女性会が現代風にアレンジして再現したもの。地元産のレンコンなどをじっくり煮込んだカレーです。



レンコン

土浦市

土浦市は、日本のレンコンの産地です。レンコンを加工したうどん、漬物、サブレなどの商品が人気を博しています。



石岡セレクト

石岡市

石岡市内の特産品やお土産品などの中から特に優れた商品を「石岡セレクト」として認証しました。



しし鍋

石岡市

石岡市ハ郷の獵師が捕獲したイノシシを「しし鍋」として提供します。捕獲したイノシシは全頭検査して安心安全な肉を提供いたします。



**かすみがうら
グッズ**

かすみがうら市

かすみがうらの大地が生んだ、とっても元気で可愛い妖精かすみがうら。そんなかすみがうらのグッズは、マグカップから絵画やぬいぐるみなど、様々な場面に役立つのかわいいストラップまで、続々登場中! かすみがうら交流センターにて販売中です。



BASSRISE

かすみがうら市

かすみがうら市産「ブルーベリー」を使用。ブルーベリーを贅沢に使用し、風味がよく、フレーバーな味わいのビールに仕上げました。また、ビールらしい苦味も健在で男性にも好評です。



阿見グリーンメロン

阿見町

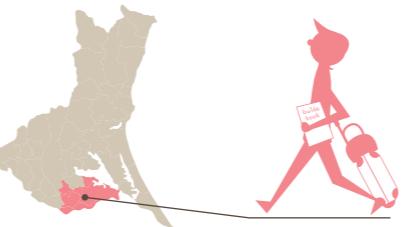
阿見町の名を冠した阿見グリーンメロンは大きくて糖度が高いことが特徴です。飽きのこない爽やかな甘さで、一度食べたらやみつきです。



阿見町の地酒

阿見町

町産材料を使用した地酒、ミルキーーカーインの純米大吟醸「桜羽」、南高梅の梅酒「華梅」、常陸秋そばのそば焼酎「桜齋」。芳醇な香りをお楽しみください。



県南
エリア

観光スポット

龍ヶ崎市・牛久市・稻敷市・美浦村
河内町・利根町



牛久市
牛久大仏

台座を含めた高さが120mあり、青銅製立像では世界一の高さを誇る牛久大仏。胎内は拝観することができ、地上85mの胸の位置にある展望台からは外を眺めることができます。



稻敷市
大杉神社

大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、初詣や節分祭には毎年多くの参拝者が訪れます。



美浦村
大山湖畔公園

昭和13年に開設した水上機の練習航空隊施設跡地。戦後は東京医科歯科大学霞ヶ浦分院となりましたが平成9年に閉院となりました。近年、「他に類を見ない景観」が高く評価され、映画やドラマ、MVの舞台として数多く使用されています。



美浦村
**JRA美浦
トレーニング・センター**

国内最大規模の競走馬調教施設。東京ドーム約48個分の広大な敷地内で、常時2,000頭を超える関東地区の競走馬が調教されています。



河内町
大利根飛行場

利根川河川敷にある大利根飛行場では、軽飛行機、モーターグライダー等のライセンスの取得やフライトトレーニング、チャーター、体験搭乗が可能。



利根町
利根川桜づつみ

平成17年に桜のオーナー制度によって、全長約850mに渡り整備された約180本の桜並木。春には見事な桜のトンネルとなり、毎年遠方から足を運ぶ観光客やカメラマンが訪れる桜の名所です。また、土手一面に広がる菜の花も同時に楽しめます。



利根町
柳田國男記念公苑

民俗学の父として知られる柳田國男が少年時代を過ごした旧小川家の母屋を再現した建物。奥の土蔵は資料館となっています。古民家のノスタルジックな雰囲気が魅力。



グルメ・お土産



龍ヶ崎コロッケ

龍ヶ崎市

龍ヶ崎市商工会女性部有志により始まった、まちおこし「コロッケ」で、「Yahoo!ご当地メシ決定戦2014」優勝の実績を持っています。



とこしえ味噌かりんとう

牛久市

味噌蔵ヤマイチ味噌の濃厚な赤みを使用し、市内のかりんとう専門店コルカリーノが旨味深いかりんとうに仕上げました。



落花生

牛久市

豊かな牛久の土に抱かれて育った自慢の落花生。厳選された地元産の豆を使い、生産から加工までを一貫して行っています。



稻しきのあげもち

稻敷市

霞ヶ浦や利根川などの水辺が育む広大な水田で採れた稻敷自慢の米を使ったあげもちです。作り方で味が異なるので、様々な味のあげもちが楽しめます。



すまんじゅう

美浦村

昔ながらの製造方法をたたく間に守り続けている美浦村の名物。蒸して食べても焼いて食べても天ぷらにして食べても美味しいです。



純米吟醸酒「星空の舞」

河内町

河内町の肥沃な大地で育てられた酒造好適米(五百万石)を原料として水戸市の吉久保酒造により作られた純米吟醸酒です。女性からも好まれるフルーティな香りに仕上がっています。



金江津れんこん

河内町

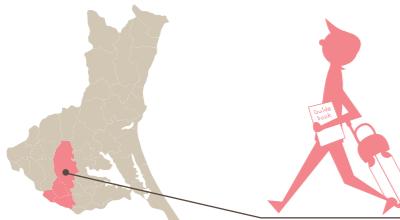
J A稻敷蓮根部金江津支部のれんこんは、茨城県の青果物銘柄産地指定を受けている程で、シャキッとした歯ざわりの美味しいれんこんです。



とね味噌

利根町

昔ながらの寒仕込みの味噌で、町内の農家で作られています。地元の良質なお米と大豆を1:1の割合で混ぜて作った味噌です。



観光スポット
県南エリア
取手市・つくば市・守谷市・つくばみらい市

**キリンビール
取手工場**

平成19年まで37年間実際に使用していた国内最大級の銅製仕込釜が展示されています。ビールの製造過程で造られる一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲ができます。



**つくば市
つくばエキスポセンター**

科学・技術に関する体験型の展示物のほか、世界最大級のプラネタリウムがある見て、触って、楽しく学べる科学館です。



**つくば市
つくばわんわんランド**

90種500頭の犬や猫たちがいる、筑波山を望む大自然に囲まれた体験型テーマパーク。世界の名犬、珍犬たちとふれあえます。



**守谷市
四季の里公園**

園内の池には、アヤメ、ハナショウブが約38,800株あり、5月上旬から6月中旬にかけて順に見頃を迎えます。その他にも、四季折々の花を楽しめます。



**つくば市
フォレストアドベンチャー
・つくば**

フランス発祥の自然共生型アウトドアパーク。森の地形や樹木をそのまま生かし、地上10m以上の木々の間に張られたワイヤーをつたって空中移動するアクティビティはスリル満点です。



**つくば市
小田城跡**

鎌倉期から戦国期まで小田氏の居城であり、その始まりは小田氏の祖・八田知家が文治元年(1185年)に常陸国守護に任命されて当地に移って居館を構えたことによると言われています。



**守谷市
スーパードライ
ミュージアム**

スーパードライの世界観を五感で体感できる体験型施設。ミュージアム体験最後に向かう「スーパードライホール」では、試飲が可能。工場できたのうまさを味わえます。



**つくば
みらい市
福岡堰**

寛永2年(1625)に小貝川をせき止めて作られた福岡堰は、岡堰、豊田堰とともに関東三大堰の一つに数えられています。また、県内有数の桜の名所で開花期には見事な景観をつくります。



**茨城県を代表する
観光資源**

県西エリア

古河市／結城市／下妻市／常総市／筑西市／坂東市／桜川市／八千代町／五霞町／境町

筑波山の西側に続く広大な平野部。中央を鬼怒川が流れ、肥沃な土地と豊富な水資源に恵まれた県内有数の農業地帯でもあります。観光資源としては、国の重要伝統的建造物群保存地区になっている真壁の町並みやひなつりをはじめ、ユネスコ無形文化遺産にも登録された結城紬や結城の街の見世蔵、日光街道の宿場町として栄えた古河宿など、古き良き町並みを活用したものが目立ちます。また、国の名勝に指定されている磐波桜川公園の山桜やユネスコの「メリナ・メルクリー国際賞」を受賞した古河公方公園(古河総合公園)のピンク色に染まる桃林など美しい景勝地も見どころの一つです。交通手段としては、JR水戸線、JR宇都宮線、関東鉄道常総線の沿線では公共交通機関の利用は可能ですが、その他の地域は公共交通機関を利用しての周遊にやや難があるため、自動車での移動がおすすめです。

県西エリア周遊ガイド注意点

県西エリアは高速道路から離れたエリアが多く、周遊の際には主に一般道を使用することになりますが、エリアを囲むように国道50号、国道294号、国道354号、国道4号が通っており、その中心にも国道125号が通っています。その他にも県道等が格子状に通っているため、自動車でのアクセスは容易です。しかし、主要な観光資源が点在しているため、周遊プランを設定する際には、移動時間に余裕を持ち、観光客のニーズに合う効率的なルート設定を心がけましょう。

県西エリアは宿泊施設が比較的小ないので、宿泊旅行を計画する場合には、入念な下調べが必要です。必要に応じて近隣市町村まで案内できると良いでしょう。

真壁地区は、見世蔵などの歴史的建造物が軒を連ねておりますが、町並み散策をしている歩行者は注意力が散漫しがちなので、運転には気をつけましょう。

結城市は紬産業が盛んな駅北側地区と南側地区に分かれます。北側地区は一方通行や道幅が狭く、子供の飛び出しには特に注意が必要です。

坂東市の将門まつりや筑西市の下館祇園まつりなど交通規制を伴うイベント実施時には、アクセス方法や交通渋滞にも注意しましょう。



結城市結城 12-2
TEL.0296-33-5633



桜川市本木 1
TEL.0296-58-5009



坂東市大崎700
TEL.0297-38-2000



古河市鴻巣 399-1
TEL.0280-47-1129

グルメ・お土産



**奈良漬
取手市**

利根川の養分豊かな水と、水はけの良い土壌によりみずみずしく育った野菜。旨さをそのまま封じ込める伝統製法により作られます。



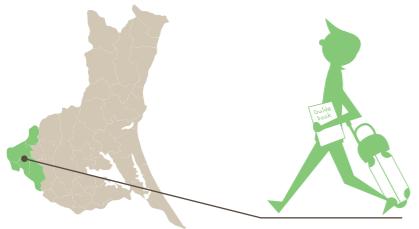
**筑波ハム
つくば市**

長期熟成、桜の薪による燻煙から生まれる筑波ハムの味は、職人の手と時間が作り出す深い味わいです。工場は見学もでき、お土産も購入できます。

守谷市商工会青年部が「食」によるまちおこし企画として、開発、商標登録したもので、市内の各種イベント販売で、人気商品となっています。

20時間以上の時間をかけてゆっくりと熟成させることで、独特で深みのあるコクと粘度を生みだした「のむヨーグルト」です。

トマトの栽培が盛んで、市内産のトマトを使用したジュースや麺、ジャム、寒天ゼリーなどが作られています。



観光スポット
古河市・結城市・坂東市・五霞町・境町

**県西
エリア**

古河市 **古河公方公園(古河総合公園)**

文化景観保護と管理に関するユネスコのメナ・メルクーリ国際賞を受賞した公園。3月下旬から4月上旬にかけて園内で古河桃まつりが開催されます。



古河市 **古河歴史博物館**

古河城出城跡にあり、古河市の歴史資料や古河藩家老鷹見泉石が収集、研究した貴重な蘭学の資料などを展示しています。



結城市 **観光物産センター**

駅前の結城市民情報センターに隣接し、伝統工芸品や結城の特産品が揃う。結城紬の機織りの実演も見学できる。



結城市 **秋葉糀味噌醸造**

江戸時代から続く蔵に住む3000種類以上の菌により、おいしい味噌を天然醸造で発酵させている。予約をすれば高さ2mある木桶や製造工程を見学できる。



坂東市 **観光交流センター「秀緑」**

旧酒造を改修した施設内にはガラス・工芸・木工の体験ができます。本蔵・母屋が国の有形文化財に指定されています。



五霞町 **童夢公園**

芝生公園がある園内には、バラやあじさいなど四季折々の花があり、3月は行幸湖沿いの桜並木を多くの方が花見を楽しめます。



五霞町 **道の駅ごか**

茨城の「西の玄関口」として新鮮な野菜が並ぶ直売所や郷土料理が味わえるレストラン、物産品コーナーなど地域色満点の道の駅です。



境町 **ニコニコパーク**

2020年4月に新たに大きな屋根を設置。天候に左右されることなく遊べる全天候型施設です。



グルメ・お土産



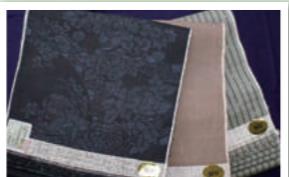
古河の地酒 御慶事

古河市
創業1831年の青木酒造は、IWC酒部門グランプリ、SAKE COMPETITION JAL特別賞等、国内外受賞実績を誇る茨城県古河市唯一の酒蔵です。



鮒の甘露煮

古河市
川沿いの古河の伝統的な料理、食文化として、古くから古河市民には親しまれた味で、お歳暮、おせち料理等に利用されています。



本場結城紬

結城市
ユネスコ無形文化遺産、国の重要無形文化財として世界に知られる高級絹織物。すべての工程が手作業で行われ、高い技術と品質が伝承されています。(県伝統工芸品)



結城の地酒

結城市
江戸時代から伝わる結城の地酒。市内には2つの蔵元があり、どちらも伝統の味を守るために、昔ながらの寒仕込みにこだわり続けています。



坂東祝い鍋

坂東市
坂東市自慢のねぎやレタスなどを使った野菜たっぷりでヘルシーな鍋料理です。旧市名「岩井」と「祝い」の語呂合わせで命名されたといわれています。



八つ頭コロッケ

五霞町
五霞町特産品八つ頭(やつがしら)を使用したご当地コロッケです。サクサクの衣に閉じ込めた芋本来の甘さとホッキリとした食感をお楽しみいただけます。



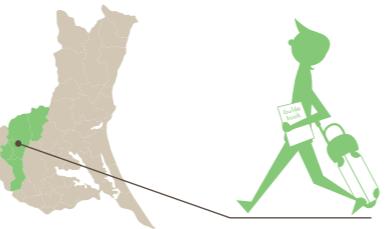
さしま茶

境町
茨城県三大銘茶の一つ。日本が初めて日本茶を海外へ輸出したのは、境町で採れたさしま茶がはじまりであったという歴史あるお茶です。



さかいサンド

境町
パンにこだわり、具材にこだわり、味付けも一味違った、ボリューム感のあるサンドを皆様にお届けします。



下妻市 **砂沼広域公園**

テニスコートや野球場などのスポーツ施設、茨城百景「砂沼」を眺めながら散策できる遊歩道や菖蒲園など、四季折々の自然の中で、スポーツや散策などが楽しむことができます。



常総市 **水海道風土博物館
坂野家住宅**

主屋と表門(薬医門)が国指定重要文化財。平成13年から水海道風土博物館として一般公開しています。「風林火山」や「座頭市」などロケ地としても使用されています。



筑西市 **真岡鐵道SLもおか**

下館駅～茂木駅(栃木県)間の約42kmを結ぶ真岡鐵道のSL列車。関東近郊では珍しく、1年を通して土・日・祝日に定期運行を行っています。



桜川市 **桜川のサクラ**

桜川は、古くから「西の吉野、東の桜川」と称されるほどの桜の名所で、「機部桜川公園」は国指定名勝となっており、約700本の山桜やソメイヨシノが見られます。



グルメ・お土産



紫煌

下妻市
下妻産酒米「ひたち錦」の淡麗な味わいと、下妻産天然酵母「ボビーの花酵母」由来の綺麗のある酸味が特徴で、バランスの良い飲み飽きしないお酒。



しもつま納豆「福よ來い」

下妻市
下妻産の大豆を100%使用し、納豆独自のにおいが少なく、大豆の味がそのまま感じられる逸品、小粒、大粒、黒豆、わら納豆等、種類も豊富です。



常総市の地酒

常総市
米のまち常総には、日本酒の蔵元が3軒あります。「一人娘」「紬美人」「京の夢」などの銘柄があり、贈り物にも最適です。



石下のおだんご

常総市
常総市の旧石下町にある「春子屋だんご」と「ゆたかや製菓」の名物である串に刺さない手作りだんごは、お土産におすすめです。



キングポーク

筑西市
筑西市の指定生産者が母豚繁殖から肥育まで一貫生産しています。肉質はキメが細かく、弾力があり、口の中とろける豊かな風味と、なめらかでさっぱりとした脂が味わえます。



こだますいか

筑西市
筑西市は「こだますいか」の全国有数の产地。小ぶりで皮が薄く大玉より甘みが強いのが特徴。食べる前に冷蔵庫で2時間程冷やすと甘みが増すのです。



桜川市の地酒

桜川市
地元の良質な水と米を使い、各酒蔵がそれぞれこだわりを持って酒造りを行っています。どの蔵でも試飲ができるので、飲み比べをすることもできます。



八千代の白菜キムチ鍋

八千代町
茨城県は白菜の生産量が全国第1位。中でも八千代町は県内一の産地です。白菜キムチ鍋は、八千代町産の白菜と茨城県産の豚肉を使用することを条件にしています。

道の駅一覧

道の駅
とは?

道路利用者のための「休憩機能」、道路
利用者や地域の方々のための「情報發
信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町
と町とが手を結び活力ある地域づくりを行うため
の「地域の連携機能」の3つの機能を併せ
持つ休憩施設が「道の駅」です。

Guide for
Ibaraki
meister



2 道の駅みわ
(常陸大宮市)



美しい星空が見れる美和地域を知ってもらお
うため、「みわ★ふるさと館北斗星」の愛称で親
しまれています。

住所:常陸大宮市鷺子272
TEL:0295-58-3939
時間:9時~18時(野菜直売施設は8時~)
休館:月曜日(祝日の場合は翌日)、1月1日

3 道の駅常陸大宮~かわプラザ~
(常陸大宮市)



清流久慈川と近接しているため「かわプラザ」
の愛称で呼ばれています。

住所:常陸大宮市岩崎717-1
TEL:0295-58-5038
時間:9時~18時。営業時間は店舗により異なります。
休館:第3木曜日(祝日の場合は翌日)、1月1日

1 道の駅奥久慈だいご
(大子町)



数少ない施設内温泉浴場のある道の駅で、奥
久慈の自然を満喫しながらゆっくり利用でき
ます。

住所:大子町池田2830-1
TEL:0295-72-6111
時間:9時~18時
温泉浴場は11時~20時(最終受付:19時30分)
食堂は11時~18時(L.O:17時30分)
休館日:1月1日/温泉は毎月第1・第3水曜日(8月は無休)

8 道の駅かさま
(笠間市)



「笠間のゲートウェイ」をコンセプトに令和3年9月
にオープンしました。笠間の栗専門のカフェ&
ショップや新鮮な農作物が揃う直売所があります。

住所:笠間市手越22番地1
TEL:0296-71-5355
時間:お食事処 楽栗La Kuri 10時~18時
フードコート・レストラン 11時~18時
直売所 みどりの風 9時~18時
コンビニ 24時間営業
休館:毎月第2木曜日

9 道の駅グランテラス筑西
(筑西市)



芝生広場を中心に、グルメ、カフェ、直売所、
キッズスペースなど、さまざまな施設が点在す
る複合型の道の駅です。

住所:筑西市川澄1850
TEL:0296-45-5055
時間:9時~18時
休館:毎月第3水曜日、1月1日

10 道の駅しもつま
(下妻市)



快適な休憩の場と多様なサービスを提供。道の駅
としては珍しい納豆工場を併設しており、下妻の味「し
もつま納豆 福よ来い」の製造販売を行っています。

住所:下妻市数須140
TEL:0296-30-5294
農産物・土産:コンビニ・9時~18時
BAKERYしもんぱん・9時~16時30分
お食事処しもん亭・10時30分~16時30分(平日:10時30分~15時)
そば打ちめぐらん亭・10時30分~17時(平日:10時30分~15時)
下妻食堂陽陽・7時~20時
納豆工場・月水金曜日の午前中

5 道の駅ひたちおおた
(常陸太田市)



阿武隈山系の山並みが一望できる常陸太田
市の最南部、市の玄関口に位置する道の駅で
す。

住所:常陸太田市下河合町1016-1
TEL:0294-85-6888
時間:9時~18時(コンビニエンスストアは5時~21時)
休館:年末年始(その他についてはお問い合わせください)

6 道の駅日立おさかなセンター
(日立市)



平成4年にオープンし、平成26年に道の駅と
して登録されました。新鮮な魚介類等を味わ
うことができます。

住所:日立市みなど町5779-24
TEL:0294-54-0833
時間:9時~18時
他店舗は店舗により時間が異なります。
休館:店舗により異なります。1月1日、その他臨時休業あり。

7 道の駅かつら
(城里町)



県立自然公園御前山と清流那珂川を望む素
晴らしい景勝の地に立地している道の駅で
す。

住所:城里町御前山37
TEL:029-289-2334
時間:4月~9月は9時~18時、10月~3月は17時まで
休館:1月1日~1月5日

14 道の駅ごか
(五霞町)



圏央道五霞インターチェンジのすぐそばにあ
り、茨城県の西の玄関口の道の駅です。

住所:五霞町ごかみらい13-3
TEL:0280-84-1000
時間:9時~18時(施設により異なります。
休館:第1・第3月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始

15 道の駅たまつくり
(行方市)



霞ヶ浦のほとりにある道の駅。行方市觀光物
産館「こいこい」が併設されており、ご当地グル
メも味わえます。

住所:行方市玉造甲1963-5
TEL:0299-36-2781
時間:9時~18時
休館:年中無休(年末年始除く)

16 道の駅いたこ
(潮来市)



広い敷地内には、直売所やお食事処のほか
に、グラウンドゴルフも楽しむことのできる施
設が備わっています。

住所:潮来市前川1326-1
TEL:0299-67-1161
時間:9時~19時
休館:年中無休

日立市

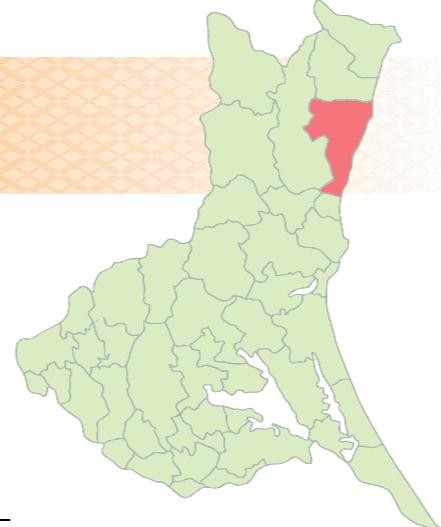
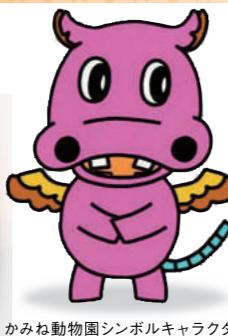
HITACHI City

■概要／人口：**168,409人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**903,700人**（令和3年）

■由来／水戸藩第2代藩主徳川光圀公が日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさに「日の立ち昇るところ領内一」と称えたという故事に由来するといわれています。

■市の花／さくら 木／ケヤキ
鳥／ウミウ 魚／さくらダコ



多賀山地の山と太平洋と、豊かな自然に囲まれた日立市は、県北地域の拠点都市として発展を遂げてきました。海岸線には伊師浜、川尻、会瀬、河原子、水木、久慈浜と、それぞれ趣が異なる海水浴場があります。特に、伊師浜海岸の断崖には日本で唯一のウミウの捕獲場があり、隣接する国民宿舎「鶴の岬」は、展望温泉風呂とサービスの良さで人気の宿です。日立鉱山と日立製作所が工業都市としての形を築きました。それら産業の発展の歴史は、日鉱記念館や日立オリジンパークなどの文化施設で、知ることができます。

観光カレンダー

4月上旬	日立さくらまつり
5月中旬	ひたち国際大道芸
7月下旬	日立港まつり
10月上旬	ひたち秋祭り
11月中旬～1月中旬	Hitachi Starlight Illumination

日立シビックセンター

天球劇場（プラネタリウム）、遊んで学べる科学館、コンサートなどが楽しめる音楽ホール、図書館等、知的・文化活動を満喫できる総合施設です。特に新世代のプラネタリウムシステムである「MEGASTAR-IIA(ES)」による天球劇場が必見です。肉眼で見ることができない、1,500万個の恒星まで投影し、星空に包まれる感動と宇宙の壮大さを楽しむことができます。



日立駅前シンボル



最高のロケーション



日立駅

日立市出身の建築家・妹島和世氏がデザイン監修し、平成24年にグッドデザイン賞を受賞している日立駅。平成26年にはオランダで行われた鉄道業界唯一のデザイン・コンペティション「ブルネル・アワード」駅舎部門で優秀賞にも輝きました。また、駅直結の「シーバーズカフェ」はまるで海に浮かんでいるかのような絶景スポットとして人気です。

かみね公園

園内には、ソメイヨシノなどの約1000本の桜が4月上旬から下旬にかけて咲き誇り、日本の「さくら名所100選」にも選ばれています。また、美しい夜景は「日本夜景遺産」にも選定されました。敷地内にはドリームコースター、大観覧車などがある「レジャーランド」、観覧車、メリーゴーランドなどがある「遊園地」、カピバラやエゾヒグマへのエサやり体験や、ヘビやウサギ、モルモットのふれあい体験ができる「動物園」などもあります。



一日中楽しめる

海水浴場

日立市は、南北に長く変化に富んだ海岸を持ち、毎年海水浴場が開設されています。また、水質の良さ等から環境省の「快水浴場百選」に認定された海水浴場が「伊師浜海水浴場」「河原子海水浴場」「水木海水浴場」と3か所もあります。なかでも「伊師浜海水浴場」は「白砂青松百選」にも選ばれており、毎年多くの人が賑わいます。



快水浴場百選が3か所も



日鉱記念館

昭和60年に建設、経済産業省の近代化産業遺産にも認定されている。日立鉱山を開山した久原房之助氏の功績やJXグループの歴史のみならず、日立市の歩みも学ぶことができます。



日立オリジンパーク



日立製作所の創業者、小平浪平氏のモノづくりにかけた思いや足跡を辿ると共に、日立製作所の原点である「5馬力誘導電動機」誕生までの歩みをみることができる企業ミュージアム。

日立さくらまつり

50年以上続く歴史あるお祭り。期間中は平和通りの桜並木をライトアップ、そしてかみね公園と十王パノラマ公園では提灯や行灯により風情あるライトアップが実施されます。平和通りとかみね公園のさくらは日本の「さくら名所100選」にも選ばれています。そして、最大の特徴は、山車として国内ではじめて国の重要有形・無形民俗文化財と重要無形文化財に指定された日立風流物。可動、変形する大きな山車とその上で行われる操り人形(からくり人形)芝居で、平成21年と平成28年にはユネスコ無形文化遺産に指定されました。



日本の「さくら名所100選」

日立市の夜景

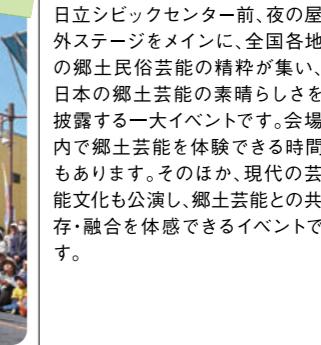
日立市では、自然の地形を生かした、さまざまな光が織りなす美しい夜景を楽しむことができます。令和元年9月には、「かみね公園」からの夜景が日本夜景遺産に認定。園内頂上にある2階建ての展望台からは360度の視界が開けています。その他にも、「助川山市民の森」からの夜景や「JR日立駅」、「日立LNG基地」など、多彩な夜景を楽しむことができます。



夜空に浮かぶ工都のきらめき

ひたち国際大道芸

世界で活躍するアーティストが、超一流の技を披露する「笑い! 感動! 驚き!」の2日間! 興奮のアクロバットや、ユーモアたっぷりのパントマイムやコメディ、いつもの街を変えるウォーキングアクトなど、多種多様なパフォーマンスで会場を盛り上げます。アーティストと観客が一体となる幻想的な空間を演出する夜の大道芸「夜会」にも注目です。



世界中の大道芸が日立へ

日立シビックセンター前、夜の屋外ステージをメインに、全国各地の郷土民俗芸能の精粹が集い、日本の郷土芸能の素晴らしさを披露する一大イベントです。会場内で郷土芸能を体験できる時間もあります。そのほか、現代の芸能文化も公演し、郷土芸能との共生・融合を体感できるイベントです。



全国の郷土芸能が集結

奥日立きららの里



御岩神社



久慈浜しらす



お土産



ポポー



お土産

県北エリア

県央エリア

県南エリア

県西エリア

26

27

常陸太田市

HITACHIOTA City

■概要／人口：**46,434人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**1,136,700人**（令和3年）

■由来／大化以前に水田が開かれた太田郡の郷で、常陸風土記にある太田の郷が由来になっています。昭和29年の市制施行で常陸太田市となりました。

■市の花／やまぶき

木／けやき
鳥／カワセミ

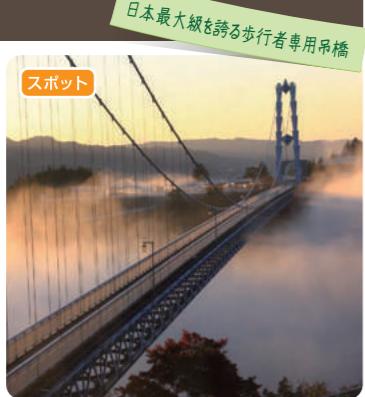


常陸太田市公式マスコットキャラクター
じょうづるさん

南北40kmと縦に長い市域を誇る常陸太田市は、山と緑に囲まれた穏やかな自然が自慢のまちです。観光スポットとしては、竜神大吊橋、徳川光圀公の隠居所となった西山御殿（西山荘）など年間を通じてたくさんの観光客が訪れます。又独特的な気候と土壤の恵みである常陸秋そばは、香り、風味で全国的に知られ、そば通あこがれのブランドとなっています。また、ブドウ、梨などの栽培も行われ、人気の味覚となっています。

竜神大吊橋・竜神峡

竜神大吊橋は、歩行者専用としては日本最大級を誇り、橋の長さは375m、湖面からの高さは100mにもなります。現在、バンジージャンプを跳ぶことができ、県内外からたくさんの方達がチャレンジをしています。竜神峡は、奥久慈県立自然公園に位置し、四季折々の景色を楽しむことができます。



日本最大級を誇る歩行者専用吊橋

西山御殿(西山荘)



徳川ミュージアム所蔵 撮影 阿部浩
(C)徳川ミュージアムイメージーカイブ DNPartcom

水戸藩第2代藩主徳川光圀公の隠居場所で、ここで「大日本史編纂事業」が行われました。元禄4年(1691)5月9日から同13年12月6日に亡くなるまでの10年間を過ごしました。平成28年3月に国指定の史跡及び名勝に指定されました。

観光カレンダー

3月下旬	西金砂神社小祭礼 町田火消行列
4月下旬～5月中旬	竜神峡鯉のぼりまつり
8月	太田まつり
10月下旬～11月下旬	里美かかし祭

青蓮寺



病氣の父を迎えて豊後國(現:大分県臼杵市)から1,200kmの道のりを姉妹がやってきたという二孝女物語の舞台となりました。天武天皇が天智9年(670)から2年ほど留まっていたという由緒あるお寺です。

西金砂神社小祭礼・町田火消行列



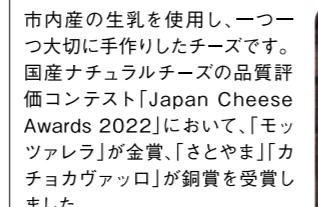
「西金砂神社小祭礼」は6年に一度の祭典。西金砂神社を出発して3泊4日で常陸太田市馬場町の馬場八幡宮まで神幸します。次回は2027年度に開催される予定です。

竜神峡鯉のぼりまつり



まばゆいばかりの新緑の中、およそ1,000匹の鯉のぼりが竜神大吊橋を中心とした竜神峡一帯を壮大に泳ぎます。5月5日のこどもの日には、小中学生は竜神大吊橋の渡橋料が無料になります。

市内産の生乳を使用したナチュラルチーズ



市内産の生乳を使用し、一つ一つ大切に手作りしたチーズです。国産ナチュラルチーズの品質評価コンテスト「Japan Cheese Awards 2022」において、「モツツアレラ」が金賞、「さとやま」「カチョカヴァッロ」が銅賞を受賞しました。



常陸秋そば

独自の香りや風味、甘味に優れていた金砂郷在来種を親として、粒揃いがよく、味がしまり、タンパク質やデンプンを多く含んだ良質のものの選別を繰り返し、「常陸秋そば」という品種が誕生しました。香りがあり、滋味溢れる「常陸秋そば」はそば職人から高い評価を得ています。今でも原産地の金砂郷地区で収穫される常陸秋そばは希少価値が高くなっています。



全国のそば職人から高い評価を得ている

凍こんにゃく

凍こんにゃくは江戸時代から作られてきましたが、昭和30年代後半から生産者が激減し、現在は常陸太田市と大子町で数軒の生産者を残すのみとなっています。藁の上に並べたこんにゃくに水をかけては凍らせ、自然解凍という作業を約20日間かけて繰り返すことで、こんにゃくの水分が抜けていきます。最後にしっかり乾燥させると、スポンジ状になった凍こんにゃくが完成するのです。



今では貴重な凍こんにゃく

高萩市

TAKAHAGI City

■概要／人口：**26,608人**（令和5年1月時点）

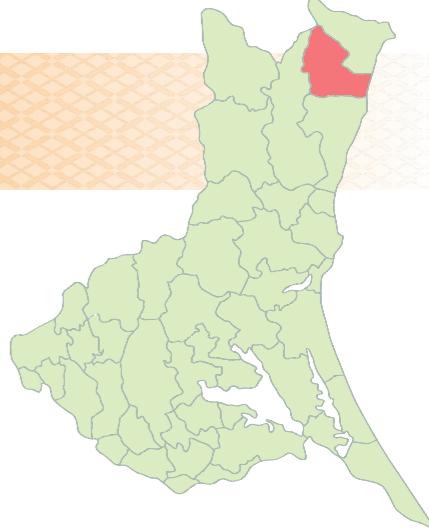
年間観光入込客数：**259,800人**（令和3年）

■由来／常陸國風土記にある多珂国が現在の高萩市の由来になっています。堅破山に萩が生い茂っていたことにも由来するともいわれています。

■市の花／はぎ
木／まつ
鳥／きじ



はぎまろ



市の85%を占める山間部に花貫川と関根川が流れ、美しい渓谷を作り出しています。花貫渓谷や名馬里ヶ淵などは、紅葉の時期になると多くの観光客が訪れます。海の見えるダムとして知られる花貫ダムやその周辺の花貫さくら公園、花貫ふるさと自然公園はアウトドアを楽しむ家族連れなどで賑わいをみせます。また、高萩海水浴場、高戸小浜海岸、ささき浜などの観光名所も点在し、海と山の自然が高萩の最大の魅力です。

花貫渓谷



花を代表する絶景スポット

花貫川が山地の地表を侵食し作り出した花貫渓谷には大小さまざまな滝や淵が連なり、全国でも珍しい海が望める「花貫ダム」から上流にかけて美しい景観が続きます。渓谷内にある長さ約60mの汐見滝吊り橋から眼下を望めば花貫川の清流が流れ、川のせせらぎを聞きながら赤黄に染まる紅葉を楽しむことができます。

さくら宇宙公園(たかはぎ桜まつり)



桜ヒバボーラアンテナのコラボ

日本初のテレビ衛星中継受信地を記念してつくられた公園。広大な敷地には国立天文台のヒバボーラアンテナや茨城大学の宇宙電波館があります。また、春には「たかはぎ桜まつり」の会場となり、ソメイヨシノや八重桜が見られます。特に約300m続く桜並木や桜越しに見る巨大なヒバボーラアンテナは圧巻です。

高戸小浜海岸



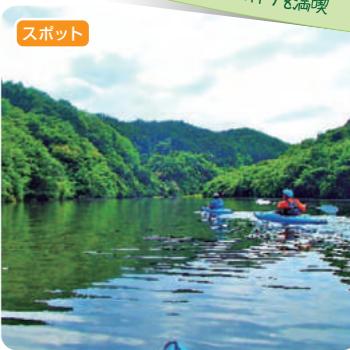
海食崖に囲まれた入り江の美しさで知られる景勝地。青い空と海、常緑の松、白く輝く砂浜のコントラストが見事で、日本の渚百選にも選ばれています。

穂積家住宅



江戸時代後期の豪農の住宅で土間や座敷、美しい日本庭園が無料で見学できます。茅葺き屋根の主屋は茨城県指定有形文化財に指定されています。

高萩アウトドアフィールド「Hagi Village」



大自然の中でアウトドアを満喫

県内最大のダム湖で、カヌーやサップ、ボートクルーズなどが体験できます。大きな堤体と周囲を囲む山々を湖面から眺める景色は圧巻。グランピングやキャンプも楽しめるほか、本格的なブッシュクラフトをすることも可能。目的やレベルに合わせて楽しめるアウトドアの複合施設です。

高萩まつり



昭和46年から続いている伝統的なまつり。各地区の伝統ある神輿や山車の饗宴、ステージイベント、花火の打ち上げなど数多くの演出が行われます。流し踊りでは、子供会、町内会、企業などが参加し、それぞれ連をつくりながら市民ばやしに合わせて踊ります。

食用ほおずき



高萩市山間部では、寒暖差が大きい土地の利を生かし、食用ほおずきの栽培が行われています。ほおずきを使った焼き菓子やケーキなど市内で購入することができます。



高萩の郷土を代表する花貫川清流と肥沃な大地で育った酒造好適米「美山錦」から生まれた純米吟醸酒。

北茨城市

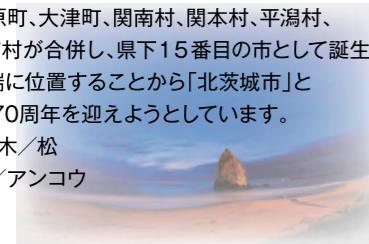
KITAIBARAKI City

■概要／人口:40,438人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:1,149,900人(令和3年)

■由来／昭和31年、磯原町、大津町、関南村、関本村、平潟村、南中郷村の6町村が合併し、県下15番目の市として誕生。茨城県の最北端に位置することから「北茨城市」と命名され、市制70周年を迎えることをしています。

■市の花／シャクナゲ 木／松
鳥／かもめ 魚／アンコウ



当市は、県の最北端に位置し、素晴らしい景観を望む、自然の恵みあふれる地域です。海岸・港町エリアでは、温泉や鉱泉が湧き出し、民宿や旅館が立ち並ぶとともに、五浦海岸独特の美しい景観が点在し、六角堂や茨城県天心五浦美術館などの観光名所があります。里山エリアでは、世界かんがい施設遺産に登録された十石堀や満点の星空サイトが有名な花園オートキャンプ場などがあります。北茨城市を代表する郷土料理の一つであるアンコウ鍋(どぶ汁)は、当市が発祥の地とされている全国に認められている一品です。

観光カレンダー

2月上旬	全国あんこうサミット
5月2日・3日(5年に1度)	常陸大津の御船祭
8月下旬	北茨城市民夏まつり

六角堂&茨城県天心記念五浦美術館

岡倉天心ゆかりのスポット



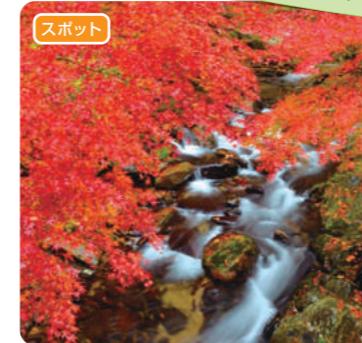
明治38年に岡倉天心が自ら設計したもので、「観瀬亭」ともいわれ、朱塗りの外壁と屋根に宝珠を装った六角形の建物です。

周辺は五浦海岸と呼ばれ、大五浦・小五浦の一部は、県初となる国の登録記念物に認定されるなど景勝地としても有名です。

また、近くには茨城県天心記念五浦美術館があり、岡倉天心や横山大観など五浦ゆかりの人々の作品が鑑賞できます。

花園神社&花園渓谷

紅葉の季節のおすすめスポット



征夷大將軍・坂上田村麻呂の創建ともいわれる花園神社。大杉、高野楨の老木が立ち並び、木々の緑に朱塗りの仁王門、拝殿、本殿が映える様は荘厳で、特に石楠花におおわれる春の美しさは格別です。

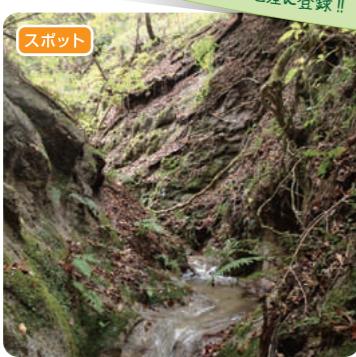
また、カエデやヤマモミジが織りなす紅葉の色艶やかな渓谷風景も必見です。

さらに、同エリアで、四季折々のキャンプが楽しめる花園オート

キャンプ場も人気です。

十石堀

世界かんがい施設遺産に登録!!



十石堀は350年以上前の江戸時代前期に築造された延べ15kmの農業用水路です。水源から約2kmの区間は、ほぼ建設当時の姿のまま利用され、周辺地域の水田にはなくてはならない疎水として、維持管理されています。その長年の功績が認められ、世界かんがい施設遺産に登録されました。十石堀のほぼ中央に位置する親水公園から、東に約3km、西に約2kmを水路沿いに歩くことができます。

北茨城の名湯

絶景!! 湯めぐり



湯量豊富で良好な温泉が各所にあり、それぞれ効能が異なるため、温泉巡りも楽しめます。また、市内には、太平洋の絶景を眺めながら入浴ができる自慢の宿や日帰り入浴ができる施設も多数あります。

中郷温泉、磯原温泉、うぐいす谷温泉、湯の網温泉、五浦温泉、平潟港温泉、友の湯温泉の7泉が市内に存在しています。

常陸大津の御船祭(国指定重要無形民俗文化財)

5年に1度の勇壮な祭り



平成29年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されたお祭りで、5年に1度、5月2日~3日に行われる大祭です。大津町の佐波波地祇(さわわちぎ)神社から御靈を船に移し、神船となった船を御船歌や離子に合わせて曳き、陸路を走ります。船底に車輪がないため、ソロバンと呼ばれる木棒を駆使、船を左右に揺らしながら進みます。大勢の曳き手によって進む船の姿は圧巻です。令和6年開催の祭りから新調された木造祭事船が町を駆け巡ります。

アンコウ鍋(どぶ汁)

どぶ汁発祥の地! 本物を是非!!



北茨市の郷土料理であるアンコウ鍋は、全国鍋1グランプリで優勝経験のある、味・質ともに全國に認められた一品です。漁師が漁に出た際に体を温めるために作ったとされるどぶ汁は、船上で貴重な水を一切使用せず、あん肝をすり潰して、アンコウと野菜から出る水分のみで作られ、濃厚な味わいの特徴的な鍋として、北茨城市が発祥とされています。

常陸大宮市

HITACHIMIYA City

■概要／人口:37,900人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:1,098,800人(令和3年)

■由来／平成16年に、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村が合併し、現在の常陸大宮市となりました。「大宮」は、常陸大宮市下町に位置する甲(かぶと)神社の尊称「甲大宮」に由来。

■市の花／ばら 木／さくら
鳥／かわせみ 魚／あゆ



久慈川と那珂川という二つの河川に挟まれるように位置する常陸大宮市は、それぞれの清流と豊かな緑の大河が市域を包み込んでいます。アユ釣りが楽しめる久慈川や那珂川は、サケも遡上します。両河川では、カヌーやキャンプ、バーベキューなどアウトドアを存分に楽しめます。市域の6割を占める山林では、シタケ栽培や西ノ内和紙のコウゾなどの生産も行われています。また、三太の湯、四季彩館、ささの湯などの温泉・温浴施設も人気。日本最古の組み立て式回り舞台の西塩子の回り舞台も3年ごとに披露されます。

観光カレンダー

3月下旬~4月上旬	辰ノ口さくら祭り
8月下旬	あゆの里まつり
10月中旬(3年に1度)	西塩子の回り舞台
11月3日	ふるさと祭りおみやげ広場
11月中旬	やまとた宿芋煮会

西ノ内和紙(国選択・県指定無形文化財)

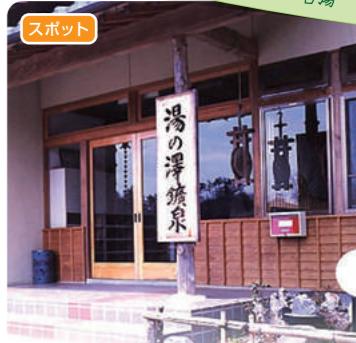
光圀公が西ノ内紙と命名?!

地元産高品質の那須楮を原料に、伝統的な手法で生産される本格和紙。平成25年、市所蔵の和紙生産用具が国有形民俗文化財に登録。2軒の工房では、紙漉きや漉き絵体験ができます。戸戸藩時代には専売品として藩の財政に大きく貢献。光圀公が西ノ内紙と命名したとも言われ、かつては県北山間部で広く生産され、越前奉書や美濃紙とともに高品質紙として名を馳せました。(県伝統工芸品)



湯の澤鉱泉

スポット



150年の歴史を持つ名湯。茨城県内唯一の日本秘湯を守る会員の温泉宿。医者いらざの名湯として多くの人々から湯治の湯として伝えられています。泉質は重曹泉で神經痛や皮膚病、リウマチ性疾患に効能があるとされています。宿泊も可能で、特に料理にはこだわりもあり。里山で過ごすひとときは格別です。

鷺子山上神社

常陸大宮市歴史民俗資料館 大宮館



特に和紙生産が盛んだった茨城・栃木県境に建つ神社。社伝によれば創建は大同2年(807)。祭神は阿波国より勧請した製紙の神天日鷦鷯命。近年パワースポットとして有名。

みどころは豊富な考古資料。なかでも泉坂下遺跡の弥生再葬墓から出土した人面付土器(国重要文化財)は器高が77.7cmで国内最大。坪井上遺跡出土のヒスイ製大珠は国内最多。

西塩子の回り舞台(県指定有形民俗文化財)



平成3年度実施の調査をきっかけとして、地元住民によって半世紀ぶりに復活した日本最古の組立式農村歌舞伎舞台。屋根材とする大量の真竹の伐り出しから始め、約1ヶ月かけて舞台を組立てる作業は圧巻。公演では、舞台復活を機に結成した西若座や、地元小学生らによる地芝居や歌舞伎舞踊が披露されます。組立作業のほか、衣裳や舞台背景の制作にもボランティアが関わり、地域活性化の核となっています。(3年毎に開催)

御前山ダム



市の南西に位置する緑豊かな自然環境に恵まれた農業用ダムです。湖面は波風が立ちにくいので、初めての方でも安心してカヌーやサップ体験することができます。また、ダム周辺のハイキングコースには、美しい湖面やダム堤体を見下ろすことができる見晴らしエリアがあります。

けんちんうどん(そば)



野菜たっぷりのけんちん汁で食べる茨城県の郷土料理です。具だくさんのけんちん汁との相性は抜群で、一度食べるとまた食べたくなるような味わいです。

鮎



鮎漁獲量日本一位・二位を誇った、那珂川と久慈川が流れる常陸大宮市。平成26年に市の魚として鮎を制定。市内では鮎の塩焼きを各所で食べられるほか、あゆ凧マップを作成し、鮎料理を楽しめる市内の飲食店を紹介。右側ののぼり旗が目印になっています。また、毎年8月には「あゆの里まつり」を開催。鮎のつかみどりができるたり、たくさんのイベントで来場者をもてなしています。

那珂市

NAKA City

■概要／人口：**53,839人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**54,200人**（令和3年）

■由来／いつ頃から「那珂」という地名があったのかは不明ですが、8世紀に書かれた「古事記」では「仲国造」（なかのくにのみやつこ）、「常陸國風土記」では、「那賀(那珂)郡」という地名が使用されていました。

■市の花／ひまわり 木／八重桜

鳥／白鳥



県の中央よりやや北に位置し、市の北側は久慈川が西から東へ、西側は那珂川が北西から南東へ流れしており両河川の沿岸に開けた水田地帯とそれに挟まれたほぼ平坦な那珂台地がからなり立っています。白鳥の飛来する古徳沼や八重桜が咲き誇る静峰ふるさと公園など観光スポットにも恵まれています。8月には、那珂市の花ひまわりのイベント「なかひまわりフェスティバル」が開催され、約25万本のひまわりが咲き誇ります。

観光カレンダー

4月中旬～4月下旬	八重桜まつり
4月、6月、10月、12月、2月	ガヤガヤ☆カミスガ
※8月を除く（偶数月の第1日曜日）	
7月下旬（3年に1度）	額田まつり
8月15日（3年に1度）	菅谷まつり（大助まつり）
8月下旬	なかひまわりフェスティバル

八重桜まつり

「日本さくら名所100選」で八重桜の名所として選ばれた静峰ふるさと公園。12haの広大な園内には約2,000本の八重桜が植えられており、満開時の景色は壮观。毎年行われる「八重桜まつり」では、夕暮れから桜のライトアップが行われ、幻想的な雰囲気を味わうことができます。



なかひまわりフェスティバル

なかLuckyFM公園（那珂総合公園）を会場に、周辺約4haの畑には25万本のひまわりが咲き誇り、圧巻の景色が広がります。8月下旬に開催される「なかひまわりフェスティバル」では、ステージイベントや露店、花火大会などが開催されます。



那珂市曲がり屋

文久2年（1862）那珂市戸崎に建てられた農家で、市に現存する最後の曲がり屋です。平成11年9月、一の関ため池親水公園内に移築・復元。母屋から土間や廄が突出し、鉤の手に曲がっていることから、「曲がり屋」と呼ばれています。家屋内部では、当時の暮らししづくりがわかる展示がされています。



清水洞の上公園

清水洞の上地区は、豊富な湧き水が流れる池や山林、清水寺、また市指定天然記念物である「清水寺の杉」など豊かな自然が残る地域です。那珂市は、この豊かな自然を保護し、市民の憩いの場を提供することを目的として、森林の間伐や木道、湧水池などの他、来園者のためのトイレや駐車場の整備を行ない、平成23年4月に「清水洞の上公園」が誕生しました。



木内酒造

文政6年（1823）創業の造り酒屋。清酒「菊盛」をはじめ、焼酎、梅酒、ワイン、リキュールの他、世界的に有名な日本のクラフトビール「常陸野ネストビール」を製造しています。敷地内には蔵造りの蔵「な嘉屋」や利き酒ができる店舗を併設。「手造りビール工房」では自分好みのマイビールを造ることができます。



ガヤガヤ☆カミスガ

水郡線上菅谷駅前の宮の池通りを歩行者天国にして開催するイベント。「カミスガプロジェクト」が主催し、多彩な業種の約60店舗が大集合。軽食や菓子などを販売します。

常陸銀シャリ餃子

餃子の皮には那珂市産の米から作られる米ゲルを練り混ぜ、あんにも地元のキャベツ、ニラを使用。皮はモチモチ、焼き目はパリッとした仕上がりに。

東海村

TOKAI Village

■概要／人口：**37,950人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**111,400人**（令和3年）

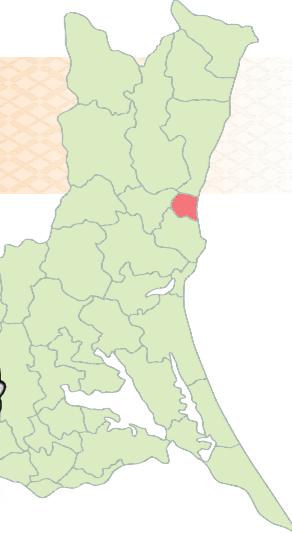
■由来／藤田東湖の「正氣歌」にある

「孰か能く之を扶持するや、卓立す東海の浜」に由来します。昭和30年の村発足時に新命名されました。

■村の花／スカシユリ

木／黒松

鳥／メジロ



北に久慈川、東に太平洋を望む東海村は、農業も盛んでサツマイモ、ナシ、ブドウなどの果樹やメロン、スイカなどが特産品としてあげられ、毎年11月には「東海I～MOのまつり」が開かれ、秋の実りを祝い合います。干しいもの産地としても有名。歴史的には十三詣りで有名な村松山虚空蔵堂があり、周辺の人々の信仰を集めています。水戸八景の「村松晴嵐」の景勝地にも選ばれていて、白い砂浜と青々とした松林が素晴らしいコントラストを演出します。

観光カレンダー

3月下旬～4月上旬	東海さくらまつり
7月下旬～8月上旬	東海まつり・花火大会
10月上旬～中旬	大空マルシェ
11月23日	東海I～MOのまつり

大神宮

和銅元年（708）の創建と伝えられている歴史的に由緒ある神社です。伊勢神宮の分霊が祀られており、水戸黄門として知られる徳川光圀や斎昭の崇敬が厚かったことでも知られます。神殿を中心に、真砂山の「松」、参道の「竹」、境内の「梅」が見事に調和して神域の莊嚴弥増し、茨城一の宮と尊称される風致を保持しています。



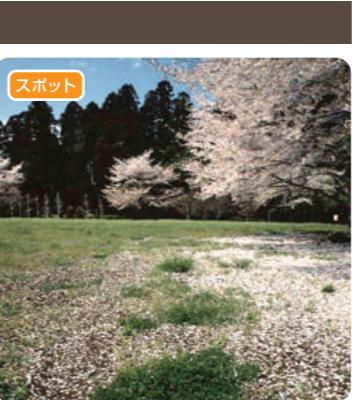
村松山虚空蔵堂

平安時代の初期に弘法大師によって創建された寺です。伊勢の朝熊虚空蔵尊、会津の柳津虚空蔵尊とともに日本の三体虚空蔵堂に数えられています。厄払い、特に人生で初めて厄年である十三歳にここで参拝すると、知恵と福徳がさずけられると伝えられています。1月の三が日には約18万人が訪ね、賑わいを見せます。



石神城址公園

東海村石神内宿にある公園。昔はお城が建っていましたが今は整備され公園となっています。ここは春になれば桜の花が咲き誇り隠れた絶好の花見スポットとなっています。



真崎古墳群

7世紀～8世紀に築造されたとされる古墳群。細浦に面した標高28mほどの台地上に立地する東海村最大の古墳群。遊歩道もあり、森林浴にはぴったりです。



東海I～MOのまつり

JR東海駅東口前通りを歩行者天国にして、音楽イベントやパレードが繰り広げられます。夜空を約2,000発の花火が彩り、迫力ある美しい花火を間近で観覧することができます。



干しいも

茨城県は、干しいもの生産量が全国で1位を誇り、その主な産地は、東海村とひたちなか市になります。11月～2月の冬場の乾燥時期を利用し作られ、サツマイモの生育に適した水はけの良い砂地を含んだ土壤とともにほしいも作りは発展し、現在全国シェアは9割。男女問わず人気となっています。



大子町

DAIGO Town

■概要／人口：**15,444人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**530,900人**（令和3年）

■由来／大子町の諏訪神社・神官でもあった

田村賢孝が命名。小久慈の湧水が「諸白」と呼ばれる清酒に似て、濃厚で甘味のある汁「醍醐」のようだったから。

■町の花／茶 木／ぶな
鳥／オシドリ



袋田の滝キャラクター たき丸



本県の北西部に位置する大子町は、八溝山系と阿武隈山系の山々に囲まれた山岳地方特有の自然と文化が息づいています。町を代表する袋田の滝は、県内有数の観光スポット。さらに袋田温泉、大子温泉といった温泉郷は古くからの湯治客でにぎわい、県内最高峰の八溝山や男体山などの登山を楽しむ人も多く、自然と温泉を楽しむことができます。また、観光りんご園、茶の里公園、大子おやき学校などの施設も充実。奥久慈しゃも、奥久慈茶、久慈川の鮎、奥久慈ゆば、奥久慈大子こんにゃくなどの特産品も多くあります。

国名勝 袋田の滝

日本三名瀑に数えられ、高さ120m、幅73mの大きさを誇ります。滝の流れが四段に落下することや、四季に一度ずつ訪れてみなければ本当の良さはわからないといわれており、別名「四度の滝」とも呼ばれています。1,500万年ほど昔の海底火山の噴火ででき、空海が護摩修行を行ったともいわれています。また、2015年には国の名勝として指定されました。



旧上岡小学校

旧上岡小学校は、3つの建物からなり、第1棟が明治44年に建設。昭和17年には第2棟が、昭和38年には第3棟が建設され、平成13年に閉校。閉校時に、地元の方たちにより上岡小跡地保存の会を立ち上げ管理をしています。現在は国の登録有形文化財に指定されています。また、NHK朝の連続テレビ小説「おひさま」「花子とアン」「エール」のロケ地にもなっています。



常陸国 YOSAKOI 祭り

全国各地から地域色豊かなYOSAKOIチームが奥久慈大子に集い、華やかに演舞を繰り広げ、観客を沸かせます。また、会場となる「まいん」駐車場には屋台フードコートが出現し、大子自慢の味を堪能できます。

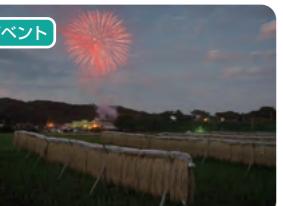


百段階段でひなまつり

中心市街地活性化を目的に、商工会女性部の有志によりアイデアが出され始まった百段階段ひなまつり。3月上旬(又は2月下旬)の日曜日には、十二所神社の参道にある百段階段に約1,000体のひな人形が飾られる一日限りのイベントが開催されます。また、百段階段でひなまつりの実施期間に合わせ、約1ヶ月間町内の店舗等でも多くのひな人形が飾られます。



秋のだいご美花火



「町を元気に」という想いで企画された花火イベント。期間中は毎週末、町内各所で花火が打ち上げられ、紅葉に染まる山々が音と光で鮮やかに彩られます。約5分間の花火ですが、夏の花火とは違った趣があることや、複数の日程会場で開催されることから大変人気です。

アップルパイ



奥久慈りんごの産地、大子では、りんご園やレストラン、菓子店などがオリジナリティを活かしたアップルパイを焼いています。最近では、アップルパイのイベントも開催され、人気が高まっています。

大黒煮豆



大粒で、光沢のある美しい黒色が特徴の常陸大黒豆をふっくらと煮上げ、甘みを控えた風味豊かな煮豆です。

奥久慈しゃも料理(しゃも弁当)



奥久慈しゃも料理の元祖のお店「玉屋旅館」。昭和60年のつくば科学万博の際に、特産品をお客様をおもてなししたいと「しゃも弁当」を考案しました。また、しゃもの親子丼・しゃも鍋・しゃもの焼き鳥など、様々なしゃも料理が食べられます。

県北地域周遊コース

1 竜神大吊橋 <常陸太田市>



2 常陸秋そば <常陸太田市>



3 国名勝 袋田の滝 <大子町>



4 六角堂 <北茨城市>



茨城県の豆知識①

『茨城県とは』

◆茨城県の概要

人口／2,828,848人（令和5年4月1日現在の常住人口調査結果）

年間観光入込客数／約35,838,000人（令和3年観光客動態調査結果（実人数））

県の花／ばら 木／うめ 鳥／ひばり 魚／ひらめ

◆県名の由来

約1,300年前に書かれた「常陸國風土記」の中に、「朝廷から派遣された黒坂（くろさかの）命（みこと）が、朝廷に従わない豪族を「茨（いばら）」で城を築いて、または、その住みかを「茨」でふさいで滅ぼした、そのことから、この地方を茨城と呼ぶようになった」とあります。

◆茨城県民の日

明治4年に行われた府県の統廃合で、11月13日に初めて「茨城県」という県名が用いられたことにちなみ、明治元年から100年目にあたることを記念して昭和43年に「県民の日を定める条例」により定められました。

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

水戸市

MITO City

■概要／人口：**269,203人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**1,616,100人**（令和3年）

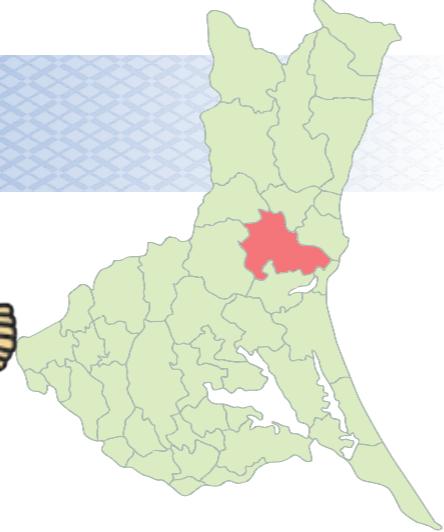
■由来／水の出入り口を意味する「水の戸」という意味の

「みと」を市名としました。

■市の花／萩

木／梅

鳥／ハクセキレイ



江戸時代から本県の行政、経済、文化の中心地として発展を遂げる水戸市。市の中心部に千波湖を抱え、平成27年4月に日本遺産に認定された日本三名園の一つ偕楽園や弘道館など歴史文化遺産が数多く残されています。また、JR常磐線、JR水戸線、JR水郡線、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線などの鉄道、国道6号、50号、51号、118号など交通の便が良く、県庁のほか国の出先機関や大手企業の支店なども集中し、人と文化の交差点としての役割を果たしています。歴史的にも貴重な史跡が数多く、縄文時代の大串貝塚や吉田古墳、愛宕山古墳、長者山遺跡などもあり、古代からの繁栄を物語っています。

弘道館

天保12年（1841）年に徳川斉昭公により創建された日本最大規模の藩校。慶喜公も5歳から11歳までここで英才教育を受けました。正門、正庁、至善堂は国の重要文化財に指定されています。



水戸藩の「藩校」

スポット

保和苑

元禄時代、徳川光圀公（水戸黄門さま）が寺の庭を愛されて「保和園」と名づけたのが始まりといわれています。あじさいや紅葉の名所として知られています。



光圀公ゆかりの庭園

スポット

水戸芸術館

水戸市制100周年を記念した高さ100mの塔（展望室あり）、コンサートホール、劇場、現代美術ギャラリーで構成された複合文化施設です。



螺旋状のタワーが目印

スポット

水戸城大手門

明治以降に取り壇されるまで、水戸城の正門としての役割を果たしていました。令和2年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができます。



スポット

千波湖

偕楽園の南東に位置する周囲3kmのひょうたん形の湖です。桜並木の遊歩道が湖をぐるっと囲っており、湖畔にはカフェがあります。



スポット

茨城県近代美術館

千波湖のはとりにあり、横山大観や小川芋鉢、中村聰など県にゆかりの作家から、モネ、ルノワールら西洋作家の作品などをテーマに沿って展示するほか、国内外の優れた作品による企画展を開催しています。



湖畔にたたずむ美術館

スポット

水戸城二の丸角櫓

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-」をテーマに、水戸の教育遺産の資料等を展示しています。



スポット

水戸城跡二の丸展示館

全国新酒鑑評会で金賞を受賞した吉久保酒造の「一品」や、明利酒類の「副将軍」などの銘酒のほか、「まちなかワイナリー」で醸造したワインなどの地酒が揃っています。



スポット

偕楽園

天保13年（1842）に水戸藩第9代藩主徳川斉昭公によって造られ、金沢の兼六園、岡山の後楽園とともに日本三名園の一つに数えられています。偕楽園の名前は、「孟子」の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節からとられています。早春には約100品種、3,000本の梅の花が咲き誇り、梅の名所として親しまれています。また、千波湖や田鶴鳴梅林（たづなきばいりん）、四季の原といった雄大な自然の景観は格別です。



スポット



日本三名園の一つ

水戸黄門まつり

水戸の夏の風物詩として愛されるまつり。国内最高峰の花火師による「水戸偕楽園花火大会」や、参加して楽しめる「水戸黄門提灯行列」や「水戸ふるさとみこし渡御」のほか、山車巡行、神輿渡御、水戸黄門カーニバルなど、多数イベントが開催されます。



令和元年にリニューアル!

水戸の梅まつり

日本遺産の偕楽園と弘道館を会場に開催されます。偕楽園では約100品種3,000本、弘道館では約60品種800本の梅が咲き誇り、期間中は様々な催しが行われます。



水戸の春は梅の花から

イベント

水戸市植物公園

8万m²の広大な敷地に花壇や植物館などが集まる洋風庭園。季節のハーブや薬草を楽しむことができる「水戸 養命酒薬用ハーブ園」や花々を眺めながらくつろげる「レストランフィオレンテ」など、癒しの休日を演出するスポットもおすすめです。



令和3年にリニューアルオープン

スポット

茨城県立歴史館

茨城の歴史を実物資料、模型、レプリカや映像などで解説しています。古文書類などを一般公開する閲覧室もあります。



スポット

黄門料理

かつて黄門さまが食したという食事を文献をもとに再現して現代風にアレンジしたものです。旬の地場食材を用い、「医食同源」の教えに基づいて作られた料理が並びます。



水戸名物といえば納豆

お土産

地酒

岐阜や八女などならびに「提灯の日本三产地」に数えられる水戸の提灯は、「水府提灯」の名で知られ、堅牢なづくりが特徴です。



提灯

お土産

納豆

源義家が永保3年（1083）に、水戸市の渡里町の一盛長者の屋敷に泊まった折、馬の飼料に作った煮豆の残りを糞で包んでおいたところ、煮豆が自然に発酵し、納豆ができるという伝説があります。水戸の納豆が全国的に有名になったのは、明治22年の水戸駅の開業に合わせ、駅前の広場で売り出されたのがきっかけとされています。



お土産

笠間市

KASAMA City

■概要／人口：**71,901人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**2,635,400人**（令和3年）

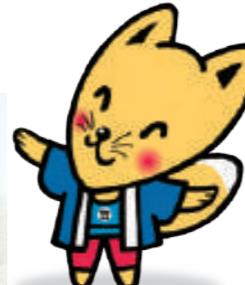
■由来／笠間地区（合併前の旧笠間市）の土地全体が

「すげ笠」に似ており、すげ笠を裏返しにしたような
土地の間に里があることから名づけられたとする説など
諸説あります。

■市の花／きく

木／さくら

鳥／うぐいす



豊かな自然に恵まれた笠間市は日本三大稻荷の一つ笠間稻荷神社の門前町として古くから発展。鎌倉時代から江戸時代にかけては佐白山を居城にした笠間氏によって城下町がつくれました。以降、江戸時代も発展を続け、歴史を感じる史跡や祭事、郷土芸能が数多く伝承されています。近年は「陶芸のまち・笠間」として陶芸家が多く住むことから、県内でも屈指の芸術スポットが多く、茨城県陶芸美術館や笠間日動美術館などの美術施設や窯元に多くの美術ファンが訪れます。

笠間工芸の丘

笠間芸術の森公園内にあり、散歩やピクニックに最適です。施設内ではろくろ、手ひねりを体験できる体験工房のほか、様々なクラフトワーク体験ができます。また、近くには「茨城県陶芸美術館」もあり、最高水準の芸術品に触ることができます。笠間焼を中心としたお土産コーナーやカフェラウンジも充実しています。



陶芸体験が楽しめる

スポット

筑波海軍航空隊記念館

笠間市には、地下戦闘指揮所など、貴重な海軍航空隊史跡が現在も残されており、過去から未来へ目に向ける様々なきっかけを与えてくれる場所として多くの人々に感銘を与えています。ベストセラー小説をもとにした映画、「永遠の0」のロケ地にもなりました。



大戦の歴史を残す史跡

スポット

茨城県陶芸美術館

「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマに、平成12年、誰もが気軽に立ち寄れる県立美術館として開館しました。国内外の優れた作品を鑑賞できる企画展や、茨城県ゆかりの文化勲章受章者 板谷波山・重要無形文化財保持者 松井康成のコレクション展、笠間焼の歴史や技法を紹介するコーナーなど、笠間焼・陶芸の魅力を広く発信しています。



陶芸の魅力を紹介

スポット

春風萬里荘

陶芸や書道など、多方面で才能を發揮した芸術家・北大路魯山人の鎌倉の住居を笠間の地に昭和40年に移築。内部には、自らが設計した茶室など、魯山人の美意識が随所にみられます。

スポット

ETOWA KASAMA

愛宕山山頂付近にあるグランピングやキャビンをはじめとしたアウトドアリゾート施設。施設内にはアウトドアバーやファイヤープレイスがあり、非日常で上質な空間を家族や友人と過ごすことができます。

スポット

北山公園



山の起伏そのままに活かした園内では、高さ23mの展望台や長さ161mのローラー滑り台が大人気です。オートキャンプ場やバーベキュー場（要予約）は多くの家族連れで賑わいます。



約100年に及ぶ採石の歴史が、貴重な資料と共に解説・展示されています。外壁には、日本伝統の「杉綾文様」を取り入れられるなど、稲田石材業の加工技術の高さを物語っています。

スポット

かさま歴史交流館井筒屋



明治中期建築の「旧井筒屋旅館本館」を当時の雰囲気のまま観光交流拠点へリノベーションした施設です。カフェや歴史展示コーナーを設け、一年を通して企画展やイベントを行っています。

スポット

笠間の菊まつり



明治41年に始まった、日本で最も古い菊の祭典です。笠間稻荷神社をメイン会場に色鮮やかな菊の花が市内全体を彩ります。

イベント

笠間稻荷神社

1350余年の歴史を誇り、日本三大稻荷の一つとされている「笠間稻荷神社」。江戸時代末期に建てられた御本殿は、彫刻が優れていることから、昭和63年に国の重要文化財に指定されています。御祭神は宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）。生命の根源を司る「いのち」の根の神として、農業、工業、商業、水産業などあらゆる殖産興業の守護神として、人々の生活すべてに御神徳を授けてくださる神様です。境内に生える二株の藤は、樹齢400年にも及ぶもので、八重の藤は、昭和42年に県の天然記念物に指定されています。

スポット



日本三大稻荷の一つ

かさま新栗まつり

全国でも有数の栗産地として、さらなるブランド力向上を目指すために開催している「栗」をテーマとしたまつりです。生栗や焼栗、栗スイーツなどの販売のほか栗拾い体験や栗のゲームなどが催され栗づくしのイベント盛りだくさんです。



栗づくしのおまつり

イベント

笠間の陶炎祭

200名を超える作家や窯元が参加し、毎年多くの観光客で賑わう笠間焼の一大陶器市。期間中は笠間焼の展示販売はもちろんのこと、「笠間長石シリーズ展」などの企画展や作家が制作した「ぐい呑み1000個展」などが行われます。また、地元小学生が制作した土面を一堂に展示する「土面フェスティバル」など内容も盛りだくさんです。



笠間が陶器色に染まる

イベント

悪態まつり

13人の氏子が白装束姿の天狗に扮して16か所のほこらにお供え物をして回ります。この時に悪態（悪口）を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという変わったお祭りです。先を争ってお供え物を奪い、これを制止する青竹の音と参詣者の大声でわめく「ばかやろう」などの悪態が神聖静寂な境内にこだします。



一風変わったまつり

イベント

笠間つつじまつり

昭和42年、市民による「つつじ一株運動」により始まりました。園内には様々な品種のつつじが植えられており、最盛期には小高い山一面が真っ赤に染まります。

イベント

笠間の地酒

笠間市では、平成25年12月に「笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例」を制定。笠間の地酒を笠間焼の器で乾杯する習慣を広めることで、まち全体を盛り上げています。

お土産



全国有数の栗の产地



笠間いなり寿司

ご当地グルメ「笠間いなり寿司」。笠間といえば笠間稻荷神社、稻荷神社といえばキツネ、キツネといえば油揚げ、油揚げといえば「いなり寿司」。その特徴は、そば・くるみ・舞茸など様々な素材を使った「変り種いなり寿司」という点。お店によって様々な種類のいなり寿司を提供していますので、それぞれのお気に入りを探すのもおすすめです。



笠間名物のいなり寿司

グルメ

笠間の栗

笠間市は、全国有数の栗の产地となっており、穏やかな気候と火山灰土壌により、日本一と名高い栗が生産されることで知られています。毎年秋には、今人気のモンブランや栗スイーツなどが楽しめる「かさま新栗まつり」も開催され、期間中には多くのお客様で賑わいます。秋の味覚の代表格、日本一の笠間の栗をぜひご賞味ください。



ひたちなか市

HITACHINAKA City

■概要／人口: 154,770人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: 2,726,300人(令和3年)

■由来／この地域が旧国名「常陸(ひたち)」の中心に位置する事と、かつて属していた郡名の「那珂(なか)」から「ひたちなか」となりました。

■市の花／はまぎく
木／いちょう
鳥／うぐいす



ひたちなか市は県のほぼ中央部からやや北東に位置し、東京駅から特急で約90分の距離です。東京→仙台を結ぶ国道6号は市の西側を、海岸寄りには国道245号が通っており、ともに交通の枢軸をなすとともに、近年常磐自動車道に加え北関東自動車道、東水戸道路と高速道路も整備され、首都圏や北関東からのアクセスも良好です。国営ひたち海浜公園や那珂湊おさかな市場、ひたちなか海浜鉄道湊線などは観光客の人気を集めています。全国から2万人を超えるランナーが参加する勝田全国マラソンなどスポーツイベントも盛んです。

那珂湊おさかな市場

新鮮な魚介類が、お手頃な価格で販売されている市場は、年間100万人を超える買い物客で賑わいます。旬の海鮮料理や回転寿司など、港町ならではのお食事処も多数軒を連ねています。



海の幸を堪能♪

スポット

阿字ヶ浦海水浴場

約1.2kmの美しい海岸線を有する海水浴場には、夏になると県内外から訪れる多くの海水浴客で賑わいます。周辺には、ショッピングモールや日帰り温泉施設もあり、一日中楽しめます。



平磯海水浴場

堤防に囲まれ波が穏やかなため高波の心配がなく、家族で安心して楽しめます。海に浮かぶくじら型の滑り台「くじらの大ちゃん」は子供たちに大人気です。周辺には岩場があるので、磯遊びも楽しめます。



スポット

酒列磯前神社

齊衡3年(856年)創建。ご神徳は「病気平癒」。境内に佇む亀の石像は、神社にお参りしてから頭をなでるとご利益があると言われており、観光客に大人気です。



龜をなでて運気アップ!

スポット

ひたちなか海浜鉄道湊線

大正2年に運行を開始した歴史ある鉄道です。車窓からは、広大ないも畑や田園風景が広がり、CMや映画の撮影場所としても利用されています。魅力溢れる「14.3kmのタイムトラベル」をお楽しみください。



レトロな雰囲気が人気

スポット

ほしいも神社

令和元年に建立された神社。ご神徳は「ホシイモノ(欲しいもの)は絶対手に入る」。黄金(ほしいも色)の鳥居はSNS映えすると話題です。



黄金の鳥居が話題!

スポット

勝田全国マラソン

60回を超える歴史と伝統のある大会には、全国から2万人を超えるランナーが参加します。参加者には、市の特産品である「完走」いもが配布され、上位入賞者は、世界最古の歴史を持つボストンマラソンに派遣されます。



2万人超のランナーが参加

イベント

国営ひたち海浜公園

春はスイセン、チューリップ、ネモフィラが次々にバトンつなぎ、華やかな世界を作りだします。なかでも、ネモフィラは、書籍「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」など様々な書籍やメディアに取り上げられ、絶景スポットとして国内外から注目されています。空・海と共に創りだされる青一面で埋め尽くされたネモフィラの絶景は必見です。また、夏になると、ふわふわとした緑葉のコキアが秋には紅葉し、丘一面を真っ赤に染め上げます。そのほかにも茨城県花のバラが年二回咲き誇るなど、一年を通して様々な種類の花々を楽しむことができる「花の楽園」です。また、園内をめぐるシーサイドトレインやサイクリング、遊園地エリアのプレジャーガーデンも幅広い世代に人気です。



スポット

ひたちなか祭り

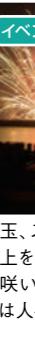
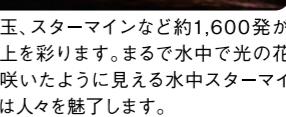
二日間にわたって開催されるお祭りです。初日の花火大会は、目の前で打ち上げられるダイナミックな花火を楽しむことができ、中でもフィナーレのメロディ付きジャンボスターマインは圧巻です。2日目はひたちなかソング「素敵な明日のために」で踊りを競う市民ダンスパレードや市民山車・神輿などが行われ、毎年世代を問わず楽しめるユニークなイベントが企画されています。



市民による手作りのお祭り

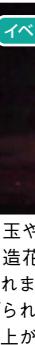


那珂湊海上花火大会



花のテーマパーク

阿字ヶ浦海岸花火大会



みなとメディアミュージアム(MMM)

街の活性化を目的に、アート作品が駅に展示されるなど、平成21年から開催されている現代アートプロジェクトです。駅名標では初となる「グッドデザイン賞」を受賞した、ひたちなか海浜鉄道湊線の駅名標は必見です。



アートによる街おこし



那珂湊焼きそば

60年以上前から地元で愛される漁師町生まれのご当地焼きそば。手間をかけたコシと、もっちりとした食感の「手延べせいろ蒸し」麺が特徴で、日本最大級のまちおこしイベント「B-1グランプリ」でおなじみの愛Bリーグ加盟団体「那珂湊焼きそば学院」応援店で提供されています。店舗ごとに様々なアレンジをしているので、食べ歩きにもおすすめです。



B-1グランプリにも出展

あんこう鍋

「東のあんこう、西のふぐ」と呼ばれ、11月から3月にかけて味わえる茨城の代表的な冬の味覚です。あんこうは、脂肪が少なく低カロリーで、コラーゲンも豊富。老化防止や美肌効果があるのも、女性にうれしいポイントです。常磐沖を望む「那珂湊漁港」を有するひたちなか市で、冬の味覚あんこう三昧をぜひどうぞ。



鍋の王様



ほしいも

厳選されたさつまいもをふっくらと蒸し、天日乾燥。無添加で食物繊維やミネラル分をたっぷりと含むほしいもは、どの世代にも安心してお召し上がりいただけます。茨城県のほしいもは国内シェア9割を誇ります。なかでもひたちなか市は、茨城県内のほしいもの大部分を生産している、日本一の产地で、500名を超えるほしいも農家が自慢のほしいもをお届けします。



生産量日本一!!



県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

41

小美玉市

OMITAMA City

■概要／人口:49,224人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:1,008,300人(令和3年)

■由来／平成18年に「小川町」「美野里町」「玉里村」が合併し、歴史ある3町村の頭文字をとつて「小美玉市」と命名。小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢の持てる市になるようなど、市を愛する多くの人々のさまざまな想いがあります。

■市の花／コスモス

木／ケヤキ

鳥／シラサギ



茨城県の中南部、霞ヶ浦の北端に位置し、市の東部には航空自衛隊百里基地と民間共用化した「茨城空港」があり、北関東の空の玄関口として、国際線をはじめ、札幌・神戸・福岡・沖縄など人気都市を結ぶ重要なアクセスとなっています。また、農業も盛んで、生乳の生産量は県内第1位、鶏卵の生産量は全国で1位になったこともある畜産大国でもあります。さらに、ヒーリングスポットでもある霞ヶ浦湖岸から、年に数回しか見ることのできない、筑波山に太陽が沈む「ダイヤモンド筑波」は感動の光景です。

茨城空港

ローコストで使い勝手のよい空港として注目を集めています。なんと、駐車場は何日停めても無料。航空機を間近で見られる展望スペース、レストランもあり、お土産も豊富です。また、茨城空港では様々なイベントが開催されています。



空の旅をもっと手軽に

スポット

空のえき「そ・ら・ら」

素敵な笑顔にあえる食彩ひろばとして地元小美玉市の豊かな「食」を楽しめます。茨城空港から500mの場所に位置し、直売所、レストラン、ヨーグルトハウスなどをお楽しみいただけます。地域資源やその魅力を生かし、地産地消、交流、地域再生の拠点を目指す地域住民の思いが詰まった場所です。



空港から近い「食」のスポット

スポット

観光カレンダー

4月上旬	小美玉さくらフェスティバル
7月上旬	小川祇園祭
7月下旬	アワアワ祇園
8月下旬	玉里魔神祭

茨城町

IBARAKI Town

■概要／人口:31,098人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:417,100人(令和3年)

■由来／昭和30年に長岡村、川根村、上野合村、沼前村が合併。

町名は公募によるもので、選定の理由は「茨城県の中央部に位置し、将来町政の発展において県下第一位の代表的な町として永く存続繁栄すべき意味をあらわした」とあります。

■町の花／桜 木／梅 鳥／うぐいす



観光カレンダー

6月中旬～7月上旬	ひぬまあじさいまつり
7月下旬	あんばまつり
11月上旬	いばらきまつり
12月	ひぬまdeマルシェ

茨城県のほぼ中央部に位置し、町の東部には湖、沼が位置しています。沼は海水が流入するため、淡水魚と海水魚が共存し、良質のヤマトシジミの産地にもなっています。絶滅危惧種に指定されているミズアオイも生息、ヨシやイグサなどの密生する汽水域には新種「ヒヌマイトントボ」もあり、水辺の静かな自然の風情が楽しめます。農産物を紹介する体験型レジャー施設「ポケットファームどきどき」があり、名産のメロンやイチゴをはじめ、産直の新鮮な野菜や加工品が購入できます。

涸沼自然公園

涸沼を一望できる「太陽の広場」、石のモニュメントが美しい「展望広場」、遊具のある「わいわい広場」、約1万株のあじさいが楽しめる「あじさいの谷」、丘の間を小さな渓流が流れる「せせらぎ広場」などがあり、四季折々の味わいを楽しむことができます。公園の一部にオートキャンプサイトを兼ね備えたキャンプ場が併設されています。



涸沼を一望できるスポット

スポット

涸沼

涸沼は、関東地方では唯一、淡水と海水が混じり合う汽水湖です。涸沼で発見された絶滅危惧種のヒヌマイトントボが生息していることでも有名。平成27年5月にはラムサール条約湿地に登録されました。ラムサール条約は水鳥が生息する重要な湿地とその動植物の保全などを目的とした条約であり、涸沼の自然環境が国際的に認められました。



ラムサール条約湿地登録!

スポット

ポケットファームどきどき

ポケットファームどきどきは、「自然」と「農業」と「食べ物」をテーマにした、農業体験型レジャー施設です。獲れたての旬の野菜・果物そして手作りハム・ソーセージ、パン等の加工品も販売しています。また、「森のベーカリー＆カフェ」や親子で体験できる「ソーセージ教室」なども人気です。



旬な野菜・果物ハム・ソーセージが揃う

スポット

涸沼自然公園キャンプ場

涸沼自然公園の中にある涸沼自然公園キャンプ場。AC電源付きオートキャンプサイトは56区画、テントサイトは最大250張が設営できます。



お土産

スポット

ひぬまあじさいまつり

平成7年に全面オープンした涸沼自然公園には「あじさいの谷」があり、オープンした当時は株が少なかったため町の花卉生産組合から寄贈されたあじさいを植栽しました。約1万株の花が見頃になった平成22年から「あじさいまつり」を開催することになり、毎年多くの方が訪れるようになりました。



1万株のあじさいがお出迎え

イベント

あんばまつり

天保9年(1838)下石崎広浦地区に天然痘が流行り、桜川村阿波(現在:稻敷市)の大杉神社の分霊を祭ったところ治ったのが始まりといわれています。阿波の大杉神社は水上安全の神様ともいわれており、「あんばさま」の通称で信仰されています。涸沼の水上に「浮かぶ山車」が登場する全国でも珍しいお祭りで、おかげ・ひょっこ・キツネなどの面をかぶりお囃子に合わせ踊りを奉納します。



湖上に浮かぶ山車が特徴

イベント

ダイヤモンド筑波



スポット

毎年5月中旬と7月中旬の年2回しか見られない夕景。筑波山の頂上付近に太陽が沈む景色は、幻想的で貴重な瞬間です。

カゴメ工場見学



スポット

カゴメの工場見学では、カゴメの歴史や現在生産している野菜ジュースについて学ぶことができます。見学の最後には、試食タイムもあります。

小美玉温泉湯～GO!



琥珀の湯でリフレッシュ

スポット

琥珀色の天然温泉を使用しており、露天風呂やサウナ風呂もあります。館内にはレストランやマッサージ、売店などもあり、お食事や休憩にもピッタリの施設です。

サイクリングロード



スポット

霞ヶ浦湖畔沿いにあり春には菜の花、秋にはコスモスが咲き誇るサイクリングロード。広大な霞ヶ浦や筑波山を眺めながらのサイクリングは爽快です。

希望ヶ丘公園のコスモス畑



スポット

希望ヶ丘公園近くの田んぼ一面に、咲き誇るコスモス畑。毎年9月下旬頃～10月中旬頃にかけて見頃を迎え、花の摘み取りもできます。

大洗町

OARAI Town

■概要／人口：**15,932人**（令和5年1月時点）

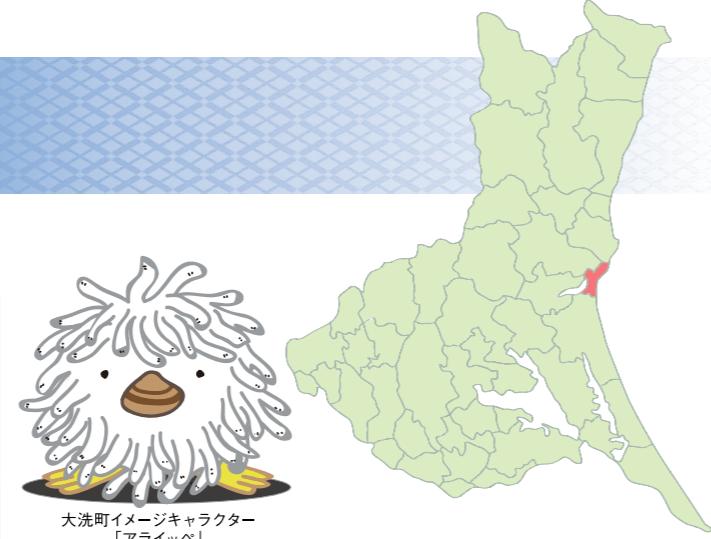
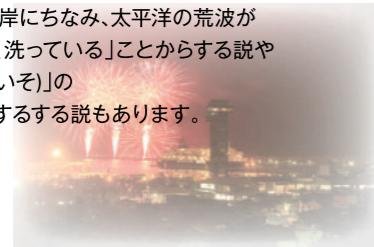
年間観光入込客数：**2,812,400人**（令和3年）

■由来／波が碎け散る海岸にちなみ、太平洋の荒波がこの地を「大きく洗っている」とことからする説や「大荒磯(大あらいそ)」のなまつものとするする説もあります。

■町の花／つつじ

木／松

鳥／かもめ



茨城県の太平洋岸のほぼ中央に位置する大洗町。ゆるやかな浜が続くビーチは、海水浴やサーフィンのメッカとなっており、県内屈指の海のレジャースポットです。また「大洗」という記述は平安時代の文献にもみられるほど歴史は古く、大洗磯前神社や願入寺など歴史ある寺社仏閣や東北地方と江戸を結ぶ水運の中継地として街も栄えてきました。日本三大民謡の一つである「磯節」が伝承されており、八朔祭など伝統的な祭りにその名残が残っています。四季折々で豊かな海の味覚を楽しむことができ、はまぐりや牡蠣、しらす、あんこうなどが名物です。

大洗サンビーチ海水浴場



大洗を代表する海水浴場

スポット

快水浴場百選にも選定され、澄んだ水と広いビーチが特徴の美しい遠浅の海岸。波がそれほど高くないので子どもと一緒にでも安心して泳ぐことができ、入込客数は県下第一を誇る。また、ユニバーサルビーチとして、障害を持った人でも安全に海水浴が楽しめるよう水陸両用の車いすの無料貸し出しや、専用駐車場、更衣室なども完備しています。

ひたちなかエネルギー・ロジテック大洗マリンタワー

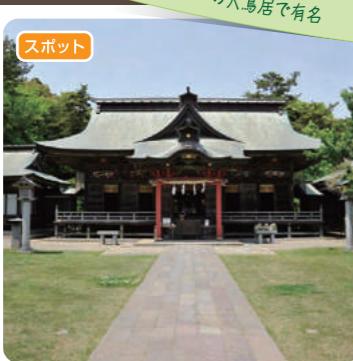


大洗のシンボルタワー

スポット

地上60mの大洗のシンボルタワー「大洗マリンタワー」。太平洋の一大パノラマが堪能でき、富士山、日光那須連山、筑波山を望むことができます。1階にはお土産館や観光案内所、2階には人気アニメ「ガールズ&パンツァー」とのコラボレーションカフェ「ガルパン喫茶Panzer vor」もあり、県外から多くの人が訪れています。

大洗磯前神社



関東一大鳥居で有名

スポット

古くから「大洗さま」と親しまれてきた神社。平安時代に創設され、難病治療、家内安全、商売繁盛など、人々に幸を授けてくれます。拝殿は入母屋造で茨城県の文化財に、随神門は大洗町の文化財にそれぞれ指定されています。また、併設する大洗海洋博物館には、古来より使用されてきた海具や漁場模型が展示されています。

神磯の鳥居



スポット

平安時代前期の齊衡3年(856年)、神が降り立ったと言われる地。鳥居から昇る日の出を拝もうと大勢の人が訪れます。また、徳川光圀公が景観を称えた場所でもあります。

大洗キャンプ場



スポット

「森林浴の森100選」に選ばれた美しい松林のなかにある大型キャンプ場。広大な敷地で、のびのびとサイトアレンジが楽しめます。

大洗サンビーチキャンプ場



波の音と潮風を味わう

スポット

大洗サンビーチ海水浴場に隣接した、太平洋を望む丘に広がるバリアフリー対応のキャンプ場。レンタルサービスも充実しており、初心者でも安心してキャンプを楽しめます。

大洗町商店街



様々なイベントを実施

TVアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台となった商店街には、各商店にキャラクターパネルや戦車パネルが設置されています。また、商店街に来た人がお店に入りやすいように店主のパネルを設置し、本日のおすすめメニューなどを掲載しています。

アクアワールド茨城県大洗水族館

スポット

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、サメの飼育種類数は約60種で日本一になります。人気は全天候型のオーシャンシアターで開催される「イルカ・アシカオーシャンライブ」。バックに大洗の海を臨めるホールで、愛嬌たっぷりのアシカやダイナミックなイルカの演技が繰り広げられます。また、日本一の大きさであるマンボウ専用水槽や世界最大級のマンボウ剥製、世界最大のウバザメ剥製なども見ることができます。そのほか水族館では日本最大級のキッズコーナーなどがあります。



サメの飼育種類数日本一!

商工感謝祭＆大洗あんこう祭

イベント

冬の味覚あんこうを堪能する毎年恒例のイベント。あんこうの吊るし切りやあんこう汁の販売など、あんこうにちなんだ催しものが盛りだくさん。地元の特産品や飲食店なども出店し、まさにグルメの祭典といった雰囲気です。



大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル



イベント

カジキ釣りの国際大会をはじめとして、ステージイベント、海上保安庁音楽隊や大洗高校マーチングバンド部のコンサート、ご当地グルメブース、体験コーナーなど、釣りファンはもちろん家族連れまで楽しめるイベントが実施されます。

大洗八朔祭



イベント

四海平穏、五穀豊穣を祈願するお祭りで、毎年8月下旬に開催。宵祭として山車が町内をまわり、本祭は大洗町商店街が歩行者天国となり、模擬店、山車巡業、神輿渡御などが行われます。

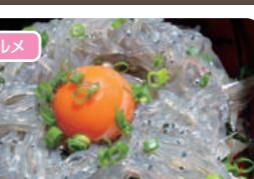
岩ガキ



グルメ

夏バテに即効力があるとして広く食べられている岩ガキは、冬ガキの2~3倍の大きさが特徴。特にこの時期は産卵を控えているため、旨味も栄養もたっぷりです。プリッとした触感とクリーミーなろけ具合が生食の魅力です。

生しらす丼



グルメ

生しらす丼といえば、大洗町漁協直営店「かあちゃんの店」。大洗港で水揚げされた旬の地魚を多くの人に気軽に楽しんでいただきたいという漁師の奥さんの想いからオープンしたお店です。

あんこう鍋



グルメ

「西のふぐ、東のあんこう」といわれるほど、「あんこう」はまさに茨城を代表する冬の味覚となっています。あんこうそのものは水分の多い白身で脂質は低く、魚介類の中でも非常にカロリーの低い食材です。身はやわらかく淡白で上品な味わいですが、皮、骨、卵巣、えら、ヒレなどは弾力性に富んだ食感が特徴で、鍋などにするときむほどの味が出ます。



冬の風物詩・あんこう

グルメ

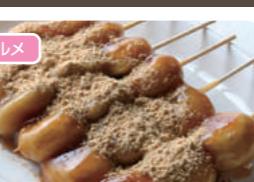
たらし



グルメ

もんじゃ焼きにも似た大洗のご当地グルメ。小麦粉を水でゆるく溶き、キャベツや切りイカ、卵、ネギなどお好みの具材を入れて醤油やソースで味付けしたシンプルな鉄板焼きです。

みつだんご



グルメ

小麦粉で作った団子を焼いて串に串し、砂糖や醤油、片栗粉などを混ぜた「みつ」を絡めさせ、きな粉をまぶした、大洗を代表するスイーツ。大正時代から続くこの土地のおやつです。

大洗ブランド認証品



お土産

大洗町のイメージ、特色ある地域資源を活用し、優れた農産物、水産物および加工品を大洗ブランドとして認証。これまで観光色の強かった本町に「食」のイメージを融合させ、更なるイメージアップと地域活性化を目的としています。大洗ブランド認証品となった紅あずま、大洗産冷凍生しらすなど令和5年3月現在で33品目になります。

城里町

SHIROSATO Town

■概要／人口：**17,489人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**426,700人**（令和3年）

■由来／当地域が水戸城の北に位置し、昔から「城北（しろきた）地区」と呼ばれていたことから「城」。各町村に「ふれあいの里」「うぐいすの里」「山びこの郷」があったことや、日本のふるさとのイメージがあることから「里」という字を使い「城里」と命名。

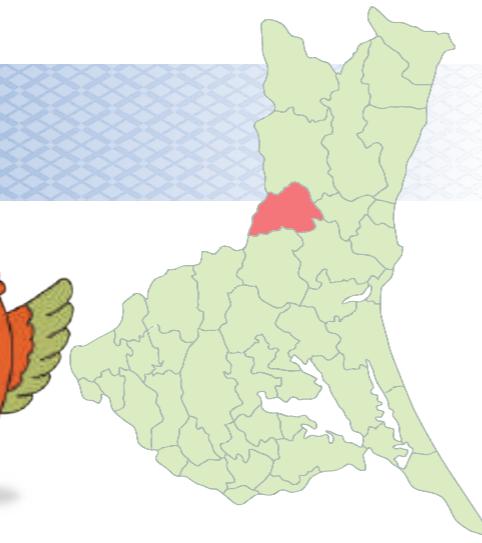
■町の花／山ゆり

木／スダジイ
鳥／うぐいす

県の北西部に位置し、那珂川・藤井川・皇都川などの豊かな水源と、肥沃な大地を利用した稻作や園芸作物の栽培が盛んに行われています。お米をはじめ、古内茶・赤ネギなどの特産品や伝統の漆工芸である「栗野春慶塗」も有名です。また、「桂の雛人形」は全国でも少なくなった手づくりの雛人形です。キャンプや釣りなどが楽しめるレジャー施設「ふれあいの里」や温泉施設「ホロルの湯」、町内に7つあるゴルフ場などには県内をはじめ首都圏から多くの方が訪れます。



ホロル



御前山(皇都川)

那珂川と織りなす景色は「関東の嵐山」と呼ばれています。標高156mで、子どもから大人まで気軽に登ることができます。昔、孝謙天皇が弓削道鏡を追い、密会していたという逸話が残っています。また、孝謙天皇がここに住んでいたということから、「御前」山の名前の由来になっています。皇都川は、御前山から那珂川に注ぐ川で、下流は伏流水で、見た目には枯れた川のように見えます。昔は洪水が頻繁に起き、これを弘法大師がお経を読んで、鎮めたため、水が流れていませんといわれています。



スポット

鶴足山

標高430.5m。弘法大師が修行した山といわれており、鶴石や護摩焚石などの逸話が残されています。鶴石は鶴の鶴冠のような形をしており、弘法大師が山中で鶴の鳴き声を聞いた際に石を見つけ、この石が鳴いたのだろうと考えたことが名前の由来と伝えられています。護摩焚石は、弘法大師が石の上で護摩を焚いて修行したという伝承からその名が付けられたとされています。



スポット

ホロルの湯



「ホロルの湯」の泉質は、身体にやさしい単純アルカリ性で、神經痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、打身、慢性消化器病などに効果があります。

ふれあいの里



水戸ICから車で10分。キャビンやオートキャンプ場、バーベキュー場があり日帰りでも宿泊でも身近に自然を楽しめるキャンプ場です。

古内茶



茨城県三大銘茶の一つ。一番茶のみの生産で、ゆたかな香りと渋み、甘みが特徴です。かの水戸光圀公もその味の良さに感嘆したといわれています。

レッドポアロー



茨城県三大伝統野菜。鮮やかな赤紫色が特徴の赤ネギです。白ネギに比べ甘みが強く、熱を通して甘みが増し柔らかくなり、葉まで食べられます。

ななかいの里コシヒカリ



七会地区は、古くから良質米の生産地として知られ、かつては水戸藩への献上米に選ばれていた米どころです。この土地で、昼夜の寒暖差やよい水、よい土を味方につけ、厳しい管理のもと作られたななかいの里コシヒカリは、平成23年に「お米日本一コンテスト」で最優秀賞に選ばれ、その後も毎年入賞を果たしているブランド米です。噛めば噛むほど味がふくらむ飽きのこないおいしさです。

桂の雛人形



茨城県伝統工芸品にも指定されている全国でも少なくなっている手作りの雛人形。素材を吟味し、伝統的な工法によって生み出された雛人形です。

栗野春慶塗



日本三春慶の一つに数えられる日本最古の春慶塗。春慶塗は器物に透明な漆を塗り、木目が美しく透けるように仕上げる漆塗りの技法です。（県伝統工芸品）

県央地域周遊コース



1 偕楽園 <水戸市>



2 しらす丼 <大洗町>



3 アクアワールド 茨城県大洗水族館 <大洗町>



4 国営ひたち海浜公園 <ひたちなか市>



ワン

茨城県の豆知識②



アクアワールド 茨城県大洗水族館 大洗町

サメの飼育種類数日本一の水族館

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、サメの飼育種類数（約60種）は日本一です。



牛久大仏 牛久市

ギネスブック認定、世界最大120mの立像大仏

青銅製の立像としては世界最大の高さを誇る牛久大仏（正式名称：牛久阿弥陀大佛）。阿弥陀如来は方便法身の大尊形として顕現されたもので、総重量は4,000トン、高さは阿弥陀如來の十二の光明にちなんで120mとされています。



茨城県立国民宿舎「鶴の岬」 日立市

宿泊利用率34年連続日本一を誇る絶景国民宿舎

「鶴の岬」は、昭和46年に開業した太平洋を臨むリゾート型の宿泊施設で、平成元年度以降34年連続で国民宿舎の宿泊利用率第1位に輝いています。「鶴の岬」が建つ約15haの伊勢浜国民休養地には、四季折々の美しい自然が広がります。



奥日立きららの里 日立市

気分爽快！
日本一長い滑り台

「奥日立きららの里のすべり台「わくわくスライダー」は、全長1,188メートル、877メートルの滑走部を滑り降りる日本一長い滑り台です。山頂からブレーキ付きのスレッド（ソリ）に乗って斜面を駆け抜ける、スリル満点の体験をすることができます。

鹿嶋市

KASHIMA City

■概要／人口: **65,378人** (令和5年1月時点)

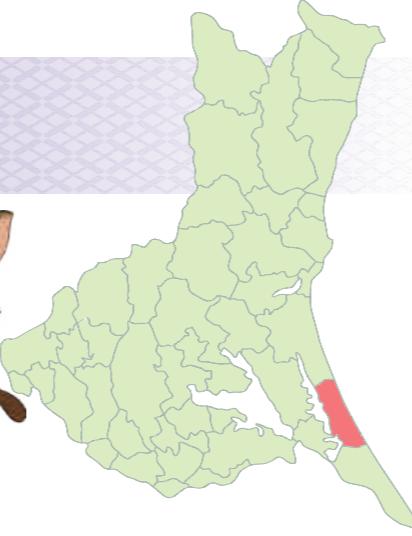
年間観光入込客数: **1,182,600人** (令和3年)

■由来／船をつなぐ杭を打った島、戯水島(かしま)が転訛して「鹿島」になったという説をはじめ、「常陸國風土記」に使用された「香島(かおるしま)」や、神に関する「神の島」「鹿の島」「龜の島」などを由来とする説など、諸説あります。平成7年、鹿島町と大野村の合併の際、佐賀県鹿島市が既に存在していたことから、「島」を「嶋」とし、鹿島市が誕生しました。

■市の花／はまなす 木／松 素／きじ



ぼくでん・ナスカちゃん



北浦と太平洋に挟まれた水と緑の自然が豊かな鹿島市は、サッカーリーグの鹿島アントラーズの本拠地として知られています。また、鹿島ハイツ、ト伝の郷運動公園、カシマスポーツセンターなどスポーツ施設の充実ぶりは目を見張るものがあります。また、鹿島市を代表するのは東国三社の一つの鹿島神宮です。皇紀元年(紀元前660)に創建され、武の神様として広く信仰を集め、塚原ト伝など剣聖を生んだ地として知られています。江戸時代には徳川家の崇拝を受け、国宝の直刀をはじめ、数多くの文化財があります。

観光カレンダー

3月9日	(平日の場合、祭頭祭、春 季祭は翌土曜日に実施)	祭頭祭
6月第2日曜日	古武道奉納演武大会	
8月下旬	鹿島市花火大会	
9月1日・2日	提灯まち・神幸祭	
9月2日	(12年に1度、午年に開催)	御船祭

鹿島アントラーズ

鹿島市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市を中心とする近隣地域をホームタウンとするサッカーチーム。チーム名の「アントラーズ(antler)」は英語で鹿の枝角を意味し、鹿島神宮の神鹿にちなみ、枝角は茨城県の茨をイメージしています。マスコットはシカをモチーフにした「しかお」「しかこ」「アントン」。



Jリーグの強豪クラブ



スポット



スポット

海水浴場



スポット

約4万人収容の鹿島アントラーズのホームスタジアム。併設のサッカーミュージアムでは、チームの歴史がわかる選手ユニフォームなどが展示されています。2002年日韓W杯及び東京2020夏季五輪の会場となりました。

大野潮騒はまなす公園

360度のパノラマが楽しめる「宇宙展望塔」や平成24年度に導入された最新のプラネタリウム、鹿島の暮らしの今昔を展示する郷土資料館がある公園。広大な園内には海に向かって滑り降りる全長154mの「ローラースライド」をはじめ、ザイルクライミングのある子ども広場、自然の沢を利用した渓流散策路、弁天池のある水と憩いのひろばなどがあります。



高さ77mの展望塔が目印



スポット



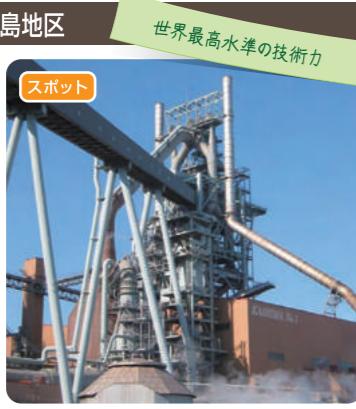
スポット

ヒラメや鹿島灘はまぐり、アワビなどの稚魚や稚貝の生産、放流を行っている施設。茨城県の栽培漁業などの取り組みについて、展示水槽やパネル、ビデオなどで紹介する展示施設もあります。

ファンとチームの交流の場となるカフェやショップ、夜間照明を完備した4面もの練習グラウンドやトレーニングルームを備えた施設。観客席からは選手の練習風景を見ることもできます。

日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区

昭和43年に操業開始、鹿島港に面した鹿島臨海工業地帯に立地。鋼板ならびに建材の製造拠点として、自動車・家電向けの薄板鋼板を中心に、厚板鋼板、鋼管、形鋼など、付加価値の高い製品を製造し、かつ世界トップレベルの生産性を併せ持つ銅・鉄一貫製鉄所です。また、生産面だけでなく、周辺の環境を大切にするクリーンな製鉄所を目指しています。



世界最高水準の技術力

地域最大級のこの花火大会では、北浦に立つ「西の一之鳥居」の背後に打ち上げられる約1万発の花火が鹿島の空を彩ります。湖畔の周辺には屋台も出店し、毎年たくさんの人が賑わいます。



約1万発の花火

鹿島神宮

日本建国・武道の神様である「武甕槌大神」を御祭神とする神社。現在の社殿は徳川二代将軍の秀忠により、また奥宮は徳川家康、楼門は水戸初代藩主徳川頼房により奉納されたもので、いずれも重要文化財となっています。息栖神社・香取神宮とともに東国三社と呼ばれ古くから信仰を集めており、東国三社巡りツアーも行われています。また、皇室や鎌倉幕府の源頼朝をはじめ、徳川幕府の徳川家康や、水戸藩の徳川光圀公などに崇拝されていました。人生を転換するターニングポイントの作用を持ち、邪魔するものをはねのけ進むパワーを持つ、勝利の武神・武甕槌大神のご神気が息づくスポットです。



スポット

塚原ト伝

宮本武蔵との「なべぶた試合」の講談で知られる塚原ト伝(1489年～1571年)は、鹿島新當流の開祖。將軍足利義輝や伊勢國司北畠具教(きたばたけどものり)らの指南役も勤めました。JR鹿島神宮駅の近くには、その偉大な功績を記した碑と銅像が建てられています。墓は須賀・梅香寺跡にあり、剣の道を志す人たちが今も多く訪れます。



鹿島新當流の開祖

要石



スポット

鹿島神宮、深い鎮守の社の最奥にひっそりと鎮座する、地震封じの「要石」(かなめいし)。ここは、太古から信仰の対象とされてきた場所でパワースポットとしても有名です。

祭頭祭



イベント

古武道奉納演武大会



イベント

御船祭



12年に1度の水上祭

鹿島神宮では數々の祭礼が催されます。中でも12年に一度、年にのみ行われるのが「御船祭」です。武甕槌大神の御分靈を祀った御神輿を載せた船団が、一の鳥居をくぐって千葉県香取市加藤洲まで水路にて向かい、水上にて同じく香取神宮の神職を乗せた船団に歓待を受けた後に鹿島へと戻ってくる、絢爛豪華な国内最大規模の水上祭です。



イベント

期間中は5台の山車が街中を練り歩きます。提灯まちは大きな青竹に無数の提灯を付け、その竹を推し立てながら、最後に鹿島神宮楼門前のかがり火に投げ入れるといへん勇壮な祭りです。

提灯まち・神幸祭



イベント

スタジアムグルメ



サッカー観戦のお供

カシマサッカースタジアム内で食べることのできるスタジアムグルメはどれも絶品。特に有名なのは、ハム焼きともつ煮。鹿島食肉事業協同組合のもつ煮はカシマサッカースタジアムの各グルメで競われた「サントリー モルツ ニューコンテスト」で優勝したこともあるほど。

海産物



グルメ

鹿島の豊かな海の幸

鹿島では、はまぐりや鹿島だこ、ヒラメといった海産物も豊富です。毎年12月には、鹿島灘はまぐり祭りが開催され、はまぐり料理を楽しむことが出来ます。栄養満点の鹿島の海で育ったたこやヒラメはどれも肉厚で地元の方にも好まれています。

「東国三社」の一つ

潮来市

ITAKO City

■概要／人口：**26,890人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**750,500人**（令和3年）

■由来／古くは伊多久（いたく）・板久と称し、天正18年（1590）

板久、元禄11年（1698）水戸藩第2代藩主の徳川光圀公の命名で潮来と改称。潮来としたのは、光圀公が鹿島に潮宮があり、常陸の方言で潮を「いた」と読むことに興を覚えたことによるもの。

■市の花／あやめ

木／ボプラ
鳥／よしきり

東の北浦、西に霞ヶ浦、南は外浪逆浦と、水に囲まれた潮来市は、水運の要所として発展しました。その風情ある面影が国内外の人々を魅了します。潮来に初夏の訪れを告げる「水郷潮来あやめまつり」。期間中は約500種100万株のあやめが咲き誇り、「嫁入り舟」など各種イベントが実施されます。また、潮来祇園祭や延方相撲などの伝統的な祭りも行われています。江戸時代から文人墨客たちがこの地を訪れ、その歴史を物語る酒蔵や長勝寺、潮音寺などの名所、見所も多く点在し、年間を通して多くの観光客が訪れます。



十二橋めぐり

天正7年（1579）、時の代官・吉田主馬亮の指揮により、新田開拓が始められ、現十二橋のある加藤洲は寛永3年（1626）に整地されました。隣家の往復のため設けられた橋が十二あるところから「十二橋」の名がつけられました。水戸黄門もこの地をよく訪れ、一説には「潮来出島のまごの中に、あやめ咲くとはしほらじや」の歌も水戸黄門の作といわれています。



十二の橋を舟で巡る



スポット

道の駅 いたこ

高さ13mのピラミッド型屋根がシンボルの道の駅。うるおい館『虹工房』では、お土産品や限定キャラクターグッズが豊富です。新鮮市場「伊太郎」では、新鮮野菜や畜産物及び加工品等を低価格で直売。その他、潮来産のお米や食材を使った手作り料理を楽しめます。



スポット

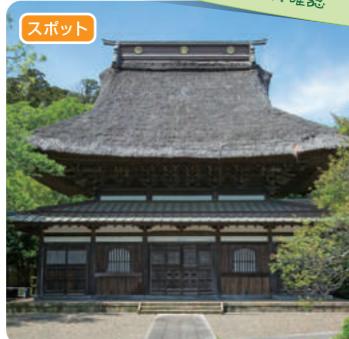
潮来の食が堪能できる

長勝寺

文治元年（1185）、源頼朝によって武運長久を祈願して創建された臨済宗の名刹です。その後、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が再建しました。また境内には松尾芭蕉が鹿島紀行での帰路に詠んだ「旅人とわが名よばれんはしぐれ」の句碑や、頼朝の菩提の為に寄進したといわれている銅鐘は国の重要文化財に指定されるなど、歴史の深さを感じることができます。



伝統的な美しさを再確認



スポット

あじさいの杜(二本松寺)

平安時代の初め天長年間（824～834）、慈覚大師円仁によって現在の潮来市茂木に創建されたと伝えられています。6月中旬～7月上旬にかけて、約100種1万本のあじさいが見事に咲き誇ります。



スポット

津軽河岸あと広場

江戸時代に津軽藩が物流拠点として使っていた津軽河岸跡を整備し、令和元年5月に完成した広場。船着き場、石蔵を活用した「カフェTsugaru」などが併設され、水郷情緒を味わえます。

水郷旧家磯山邸



明治32年建築の日本家屋を改築した古民家で、伝統的な佇まいを残しつつ、現代的な機能を持った施設へと生まれ変わりました。一棟貸しで宿泊でき、ゆったりとした時間の中で泊まることができます。



白鳥の里



毎年、白鳥の里（北浦湖岸）には白鳥が飛来します。昭和56年の初飛来以来、例年50羽ほどその羽を休めるために訪れます。飛来期間は毎年11月下旬から3月上旬までになります。

スポット

愛友酒造

創業は文化元年（1804）、歴史と伝統ある造り酒屋です。昔ながらの白壁が美しい店舗では、無料で酒蔵見学、試飲することができます。大吟醸酒から梅酒まで豊富なラインアップを揃えています。その他、利き酒や直売コーナーも充実。日本酒通にはもちろん、日本酒初心者にも優しい老舗酒造です。



スポット

歴史ある潮来の造り酒屋

水郷潮来あやめ園

約500種100万株の色とりどりのあやめ（花菖蒲）が植えられ、「水郷潮来あやめまつり」期間中には県内外から多くの観光客が訪れます。幕府の命によって行われた治水事業により、潮来は水運の要所として一気に栄えることになりました。そんな水の都潮来では荷物の積み下ろしをする河岸が発達し、その河岸を作るために運河が発達しました。今では川を舟で巡りながら楽しむ十二橋めぐりが名物となっています。まつり開催期間中は「嫁入り舟」や「あやめ踊り」などのイベントも盛りだくさんです。また、手漕ぎの「舟」も運航し、あやめの花とともに、情緒豊かな水の街・潮来を心ゆくまで楽しめます。

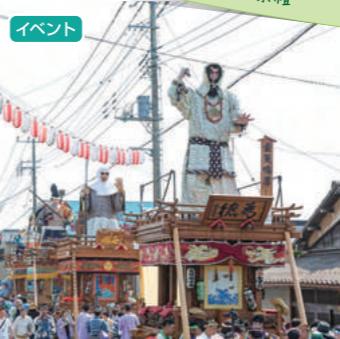


スポット



潮来祇園祭禮

素鶯熊野（そぐくまの）神社の例大祭で、八百有余年の歴史と伝統があります。毎年8月の第一金曜日から日曜日までの3日間行われ、初日から最終日までさまざまな伝統行事が行われます。獅子舞をはじめ、山車によって行われる壮大な「曲曳き」、県指定無形民俗文化財に指定されている潮来ばやしなど、充実の内容で見所満載です。

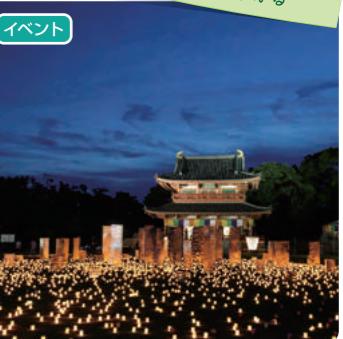


イベント

歴史と伝統の祭禮

万燈会

潮音寺にて、毎年8月のお盆期間に行われる夏の風物詩、万燈会。先祖への感謝や世界平和を祈念して、宗派・宗教の枠にとらわれず誰でも参加することができます。期間中約1万灯の献燈がともされ、夕闇に沈む境内は、無数の光に彩られ、一瞬で幽玄な世界に。また、地元の子供たちによる「万燈アート」も見ごたえがあります。



イベント

昔ながらの郷土料理



グルメ

延方相撲(鹿嶋吉田神社祭礼)

茨城県無形民俗文化財にも指定されている延方相撲。その昔、周囲の土地を巡った権利争いが、幕府の評定によって、延方村（水戸藩領）有利に解決したことを受け、感謝の意を込め、延方村鎮守である鹿嶋吉田神社に相撲祭を奉納したことから始まりました。江戸勧進相撲の格式をもって今日に伝えられ、古式の取り組み48番がとり納められます。



イベント

江戸時代から続く相撲祭

鯉のうま煮

利根川など豊かな水産資源によって、魚介類が豊富に採れる潮来では、昔から川魚料理も好まれてきました。特に鯉をじっくり煮込んだ甘煮「鯉のうま煮」は昔から潮来名物として親しまれてきました。鯉の輪切りを、濃い口醤油、酒、砂糖で味をつけ、アグを取りながら煮込む料理です。くせのない味で食べやすく、市内の各所で味わうことができます。



グルメ

漬物



グルメ

農産物を生かした発酵食品も豊富。ごぼう漬けや黒蜜らっきょう、てっぽう漬け（白瓜の中に紫蘇で巻いた青トウガラシを入れ漬けたもの）など、地元の特色を生かした漬物が有名です。

手焼きせんべい



グルメ

手作りのせんべいにごはんをのせるのが特徴です。おもにごはんと一緒に食べますが、おやつやおつまみとしても人気があります。

虹どら



お土産

保存料一切不使用のどら焼き。米どころ潮来市の米粉を使用し、しっとり上品な甘さが特徴的です。味はおぐら、さつまいも、くり、こしあんななど豊富に取り揃えています。

手作りヨーグルト



お土産

「道の駅 いたこ」で販売している地元の牛乳を使ったオリジナル商品。コクがあり、後味がとてもすっきりしているのが特徴です。

潮来を代表する景勝地

神栖市

KAMISU City

■概要／人口：**94,710人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**141,900人**（令和3年）

■由来／昭和30年、軽野村と息栖村が合併し神栖村が誕生しました。

その時の村名の候補は14ほどあがったとありますが、

息栖神社と神之池にちなんで

神栖村と決定しました。

■市の花／センリョウ

木／マキ

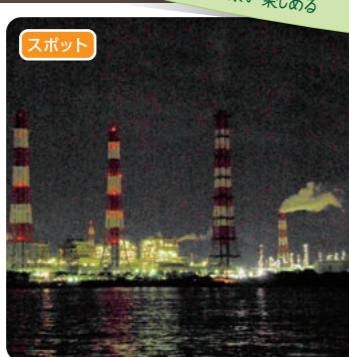
鳥／ウグイス

県の東南端に位置し、東の太平洋に開けた長い海岸線には、散策が楽しめるスポットが点在しています。夏には日川浜・波崎の海水浴場が開設され、花火や御輿、よさこいなど、祭りやイベントが盛んなまちです。市の北部には鹿島港と鹿島臨海工業地帯があり、製造品出荷額は県内1位。近年は工場夜景スポットとしても人気を博しています。農業では、温暖な気候を生かしたピーマンがブランド品として高い評価を受け、日本一の生産量を誇っています。



港公園(工場夜景)

広い園内には、8000本もの樹木が植えられ、一年中緑に包まれています。港公園のシンボルは、高さ52mの展望塔。園内からは鹿島港を中心とした、鹿島臨海工業地帯とその先に広がる太平洋のパノラマが楽しめます。工場夜景の人気スポットです。（※展望塔は利用休止中）



工場の夜景が楽しめる

息栖神社

鹿島神宮（鹿嶋市）、香取神宮（千葉県香取市）とともに「東国三社」として名高い神社です。参道の途中には、俳人・松尾芭蕉の句碑が立っています。湧き出る清水は日本三靈泉の一つに数えられ、パワースポットとして注目を集めています。



観光カレンダー

4月上旬～中旬	かみす桜まつり
7月下旬	みなど祭り
8月上旬	七夕まつり
8月下旬	きらっせ祭り
9月中旬	かみす舞っちゃげ祭り
9月中旬	神栖花火大会

歴史民俗資料館



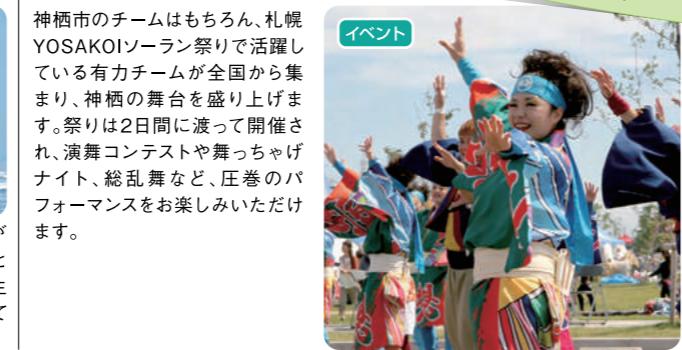
神栖市の歴史・民俗等に関する資料を収集・保管し、展示。「水と人々のくらし」をテーマとして、水との関わりの中で育まれてきた様子を実物資料や模型、映像などで紹介しています。

風力発電



市内の海岸線には、約40基の風車が立ち並び、近未来的な景色を望むことができます。神栖市特有の浜風を生かしたクリーンエネルギーを発電しています。

かみす舞っちゃげ祭り



よさこい演舞の祭典

神栖防災アリーナ

アリーナ、プール、トレーニングルームがあり、様々な競技種目、競技レベルの方々がスポーツを楽しむことができます。各種プロリーグの会場としても利用されました。



2019年6月オープン！

神栖市産ピーマンソフト



ピーマンの作付面積日本一の神栖市でピーマンが美味しいスイーツになりました。すっきりとした甘さとピーマンの美味しさが楽しめる一品です。

海水浴場



環境省選定の「快水浴場百選」に選ばれた波崎海水浴場と、立ち並ぶ風車と広い砂浜の眺めの良さが人気の日川浜海水浴場があります。

行方市

NAMEGATA City

■概要／人口：**30,830人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**311,100人**（令和3年）

■由来／行方市は、麻生町、北浦町、玉造町が、平成17年9月

2日に合併して誕生した市です。行方の由来は、

ヤマタケルノミコトが本市の水辺と

台地の入り組んだ様子を「行細し

（なめくわし）」という表現をしたことが

始まりといわれています。

■市の花／ヤマユリ 木／イチヨウ

鳥／シラサギ



観光カレンダー

5月4・5日	大宮神社例大祭
7月下旬	馬出しまつり
8月上旬	サンセッテフェスタin天王崎
8月25日	化蘇沼稻荷神社例大祭
9月上旬～12月上旬	観光帆引き船

霞ヶ浦ふれあいランド

高さ60m、霞ヶ浦360°の筑波山を望む絶景が人気の虹の塔展望台をはじめボルダリングなど親子で楽しめる施設です。サイクリングロードも充実しており、レンタサイクルもご利用いただけます。



行方市を一望

行方市観光物産館こいこい

霞ヶ浦湖畔の好立地にあり、眺めが最高の直売所。行方市の雄大な土地と霞ヶ浦・北浦の恵みから生まれた安心・安全・新鮮な野菜を毎朝生産者の方が届けてくれます。他にも、ここでしか買うことのできない水産物・加工物・季節限定の産物もあります。ご当地限定名物である「行方バーガー」は、こちらで食べることができます。



行方台地の美味しいモノが集合

なめがたファーマーズヴィレッジ

日本初のさつまいもテーマパーク

廃校になった小学校の跡地を利用し、平成27年10月にオープンした体験型テーマパーク。さつまいもの加工工場ややきいもミュージアムだけでなく、新鮮な地元野菜が購入できるマルシェや野菜たっぷりのヘルシーな料理が楽しめるビュッフェレストランなどもあります。四季おりおりのイベントも開催しており、大人から子どもまでおいしく楽しめる施設です。



西蓮寺



天台宗の西蓮寺は、延暦元年(782)に創設したと伝えられる古刹で、国指定重要文化財の「仁王門」や「相輪櫓」をはじめとする、数多くの文化財を持っています。秋には「常行三昧会」が行われます。



化蘇沼稻荷神社

御際神倉稲荷命を祀り文明10年(1478)、武田の守護神として大掾氏が創祀し、天文3年(1534)、武田氏によつて再建されました。夏の例大祭には、「奉納相撲」や「巫女舞」が披露されます。

行方バーガー



行方名物「なめバッケン」はパティにアメリカナマズの肉を使った行方バーガーです。ナマズのパティはチキンのようなあっさりとした仕上がりで、臭みもないためとても食べやすい一品です。

鯉料理



行方市の郷土料理といえば鯉料理。代表的な食べ方として「鯉のあらい」や「うま煮」が親しまれています。

行方かんしょ

地理的表示(GI)に登録されている「行方かんしょ」は茨城県内の他産地と比較し、糖化して甘味に変化するデンプン含量が多く、更に長期貯蔵することから糖度が高く甘みが強い良食味のさつまいもです。時節で美味しい品種を選び、リレー出荷しています。秋には掘り立て美味しい品種を、冬から夏にかけては決められた条件で貯蔵し熟成させた甘くしつとした品種を、1年を通して美味しいさつまいもを消費者に届けています。



甘くじっくりした味わい

鉾田市

HOKOTA City

■概要／人口:47,181人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:850,900人(令和3年)

■由来／鉾田の名は、16世紀にこの地におかれた神社に由来。鉾神社の周囲に田んぼが広がっていたことから鉾田と名づけたといわれています。

■市の花／ヒマワリ
木／サクラ
鳥／ウグイス



茨城県東部、太平洋に面し、北に涸沼、西に北浦と豊富な水資源に囲まれ豊かな自然が自慢の鉾田市。水はけの良い肥沃な大地と温暖な気候で育まれた野菜や果物が特産品で、なかでもメロンは日本一の生産量を誇ります。キャンプ場やゴルフ場が数多く立地し、温泉や果物狩りも楽しめます。都心から約2時間で、ほっこりした田舎の空気を味わうことができます。

観光カレンダー

1月21日・8月21日 塔ヶ崎十一面觀世音大縁日

GW期間中 大竹海岸ハマグリまつり

8月下旬 鉾神社御例大祭(鉾田の夏祭り)



市内直売所

メロンをはじめとし、いちごやさつまいもなど、たくさんの新鮮な野菜や果物が店頭に並びます。5月頃から10月頃にかけては、様々な品種のメロンを楽しむことができます。人気の高い干しいも(冬期)など、鉾田市ならではの加工品も手に入れることができます。



・さんで旬菜館
TEL:0291-34-5500



・もがた市場(鹿島灘海浜公園内売店)
TEL:0291-34-1010



・サングリーン旭(JA茨城旭村)
TEL:0291-37-4147



・ファーマーズマーケットなだう(JA hokota)
TEL:0291-34-8888

鹿行地域周遊コース



1 観光帆引き船 <行方市>



2 行方バーガー[†] <行方市>



3 水郷潮来あやめ園 <潮来市>



4 鹿島神宮 <鹿嶋市>



茨城県の豆知識③

『豊富な農林水産物』



◆全国に誇る主要農林水産物(品目別産出額)

全国第1位

鶏卵、メロン、ピーマン、芝、レンコン、ほしいも、みず菜、チングンサイ、こまつな、切り枝、かんしょ、くり、セリ

まいわし、さば類、うなぎ(内水面)、こい養殖(内水面)

全国第2位

レタス、梨、はくさい、みつば、落花生

あゆ(内水面)、しらうお(内水面)、えび類(内水面)

全国第3位

ねぎ、にら、スイートコーン、そらまめ、こんにゃくいも、もやし、しそ、マッシュルーム、ほうれんそう、みょうが

じじみ(内水面)、こい(内水面)、はぜ類(内水面)

*農産物(令和3年)
**水産物は漁獲量で比較(令和3年)

◆茨城のメロン

全国シェア約25%を誇る日本一のメロン産地。春から初夏にかけてのアンデスやクインシー、夏から秋にかけてのアールスなど様々な種類のメロンを楽しむことができます。

◆茨城のほしいも

茨城県は国内のほしいも生産のシェア9割を占めます。砂糖や添加物を一切使用していないため、自然の甘さを感じることができます。

※令和3年産時点

※令和3年産時点

土浦市

TSUCHIURA City

■概要／人口:141,986人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:672,900人(令和3年)

■由来／土浦村(現在の稻敷郡美浦村に吸収合併)からそのまま借りたという説、土屋藩の「土」と十一の「浦」の合成地名という説や、「津々浦々」からの転訛などの説があります。

■市の花／サクラ
木／ケヤキ、ボプラ
鳥／ウグイス、ヨシキリ



全国第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦のほとりに位置する土浦市は、江戸時代から県南の中心都市として発展し、まちなかには見世蔵や古い商家が点在するほか、土浦城址は亀城公園として堀や櫓門が残されています。秋には、約2万発の花火が夜空を彩る土浦全国花火競技大会、食の祭典カレーフェスティバルが開催されます。レンコンは、日本一の生産量を誇ります。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、りんりんスクエア土浦やりんりんポート土浦などが整備され、快適なサイクリングが楽しめます。

観光カレンダー

4月中旬	かすみがうらマラソン 兼国際ブラインドマラソン
7月下旬~10月中旬	観光帆曳船
8月上旬	土浦キララまつり
11月第一土曜日	土浦全国花火競技大会
11月下旬	土浦カレーフェスティバル

霞ヶ浦

霞ヶ浦は、国内第2位の面積を持つ湖で、7月下旬から10月中旬の土日と祝日には、霞ヶ浦の夏の風物詩である観光帆曳船が運航されます。観光遊覧船のホワイトアイリス号に乗船すれば、観光帆曳船を間近で見学することができます。霞ヶ浦湖畔の霞ヶ浦総合公園には、体育館をはじめ、レストラン、ネイチャーセンターなど施設が充実しています。



小町の館

平安時代の歌人で絶世の美女とうたわれた小野小町伝説が残る地域にある直径7mの水車がシンボルの小町の館では、小野小町に関する資料などを展示しているほか、常陸秋そばが味わえます。小町の館体験館ではそば打ち体験等も行われています。また、周囲には懐かしい田園風景が広がり、気軽に楽しめるハイキングコースも整備され、週末には多くの方でぎわいます。



りんりんスクエア土浦



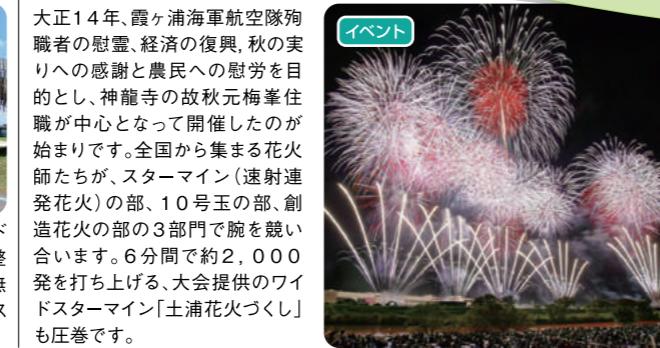
つくば霞ヶ浦りんりんロードの中心に位置する駅直結型サイクリング拠点。シャワー、コインロッカー等を備え、レンタサイクルも行っており、気軽にサイクリングへ出かけられます。

りんりんポート土浦



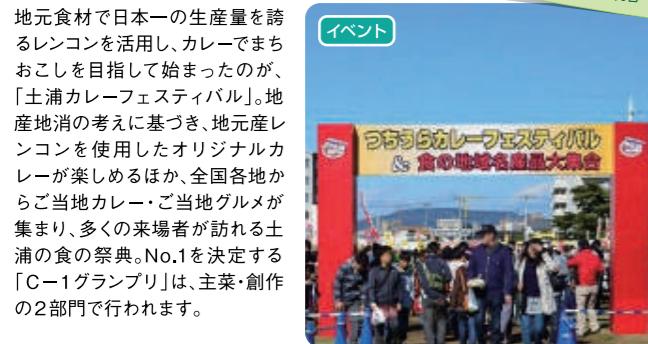
霞ヶ浦湖畔のつくば霞ヶ浦りんりんロード沿いに整備されたサイクリング拠点。整備・休憩スペース、シャワー、100台分の無料駐車場や緑の広場も備え、屋上テラスからは霞ヶ浦を見渡せます。

土浦全国花火競技大会



大正14年、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰靈、経済の復興、秋の実りへの感謝と農民への慰労を目的とし、神龍寺の故秋元梅峯住職が中心となって開催したのが始まりです。全国から集まる花火師たちが、スマーマイン(速射連発花火)の部、10号玉の部、創造花火の部の3部門で腕を競います。6分間に約2,000発を打ち上げる、大会提供のワイドスマーマイン「土浦花火づくし」も圧巻です。

土浦カレーフェスティバル



地元食材で日本一の生産量を誇るレンコンを活用し、カレーでまちおこしを目指して始まったのが、「土浦カレーフェスティバル」。地産地消の考えに基づき、地元産レンコンを使用したオリジナルカレーが楽しめるほか、全国各地からご当地カレー・ご当地グルメが集まり、多くの来場者が訪れる土浦の食の祭典。No.1を決定する「C-1グランプリ」は、主菜・創作の2部門で行われます。

レンコン



土浦市は日本一のレンコンの産地です。市内では品質の良いレンコンを使った料理や加工したお菓子を販売しています。夏には、レンコン畑に蓮の花が鮮やかに咲きます。

亀城公園



土浦城の本丸と二の丸の一部を整備した公園で東櫓と西櫓が復元されています。櫓門は当時のまま、本丸にある櫓門としては関東で唯一現存するものです。

石岡市

ISHIOKA City

■概要／人口:71,812人(令和5年1月時点)

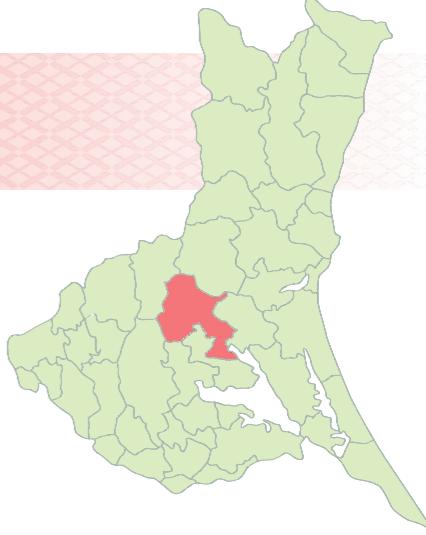
年間観光入込客数:655,200人(令和3年)

■由来／もともと13世紀末の常陸国衙の在庁官人の

「仮名」に由来する石岡。それが「城名」→「藩名」→「町名」をへて現在の「市名」となっている呼称といわれていますが、正確には定かではないともいわれています。

■市の花／ゆり

木／椎
鳥／ひばり



観光カレンダー

3月下旬から4月中旬	常陸風土記の丘 さくらまつり
5月上旬	いばらきフラワーパーク 春バラ見ごろ
7月下旬	柿岡のおまつり
9月中旬	石岡のおまつり

古くは常陸国の中心地として栄え、商業都市として発展してきた石岡市は、霞ヶ浦と筑波山麓を有する歴史と自然を楽しめるまちです。その自然を生かしたナシ、カキ、クリ、ブドウ、ミカン、イチゴ、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛んで、シーズン中はたくさんの方が果物狩りに訪れます。また9月に行われる石岡のおまつりは、関東三大祭りに数えられるお祭りです。山域ではハンググライダーやパラグライダーのスカイスポーツを楽しむことができ、いばらきフラワーパークでは世界のバラ900品種9,000本が咲き誇ります。

いばらきフラワーパーク

見るから感じるフラワーパークに2021年4月にリニューアルオープン。900品種9000株のバラが五感で楽しめ、たくさんのアクティビティを体験することができます。また、自然の恵みを味わうレストランやカフェも充実。



看板建築

看板建築とは、主に東京や関東周辺で関東大震災後に商店などに用いられた建築様式です。具体的には、木造2階建ての店舗兼住宅で、建物の前面を垂直に立ちあげ、モルタルや銅板、タイルなどで洋風のデザイン装飾を施した建物のことと言います。無名の職人たちが、在来の技術や技能によって新たに創り上げた庶民の建築様式です。



まち蔵 藍



江戸時代末期に建てられた木造2階建ての商家建築(染物店)で、石岡の大震を免れた貴重な建物。大火前からある土蔵も残されています。現在では観光施設まち蔵「藍」として営業中。

朝日里山学校



木造校舎の元小学校を活用した体験型の観光施設。地元食材を使用したピザ作りやそば打ち、田植えや野菜の収穫など自然を生かした色々な体験メニューが楽しめます。

石岡のおまつり

正式には「常陸國總社宮例大祭」といい、石岡にある常陸國總社宮の最も重要なおまつりです。初日には、格式高い大神輿と40台を超える幌獅子や山車が市内を練り歩きます。中日には、各所で多くの行事が行われ、中でも駅前の御幸通りでは、幌獅子や山車のパレードが盛大に行われます。最終日には、再び大神輿が市内を練り歩いて大きな盛り上がりを見せ、おまつり期間中には、50万を超える見物客で市街地は大賑わいします。



しし鍋



古くは江戸時代、しし肉は「山鯨」と称され、冬の栄養補給食として、この地で親しまれてきました。そんなしし鍋を名物として市内の飲食店で提供しています。

いしおかサンド



石岡市内の菓子店が地元の農産物で作ったオリジナルスイーツ。ルールは「市産品を使用」「サンドしている」「各店舗の創造性」の3つだけ。名店の個性豊かな各店自慢の味を楽しめます。

石岡セレクト認定商品



自信を持っておすすめ

龍ヶ崎市

RYUGASAKI City

■概要／人口：**75,813人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**98,200人**（令和3年）

■由来／市名の由来にはいくつかの説があります。

ひとつは「竜巻が多い土地柄だったから」。他にも「龍が降ってきた地の先にあるという伝説から」。または江戸時代の学者の「町の形が龍を思わせるから」という説もあります。最後に「鎌倉時代に龍崎氏がこの地を治めていたから」といろいろな説があります。

■市の花／ききょう 木／松 鳥／白鳥



市の西側に自然豊かな牛久沼があり、名物ウナギのほか近年ではブラックバス釣りのメッカとして都内を中心に関東近県から多くの釣り人で賑わいをみせます。全国の防災ヘリの訓練拠点で小型飛行機専用の竜ヶ崎飛行場や、歴史的には仙台・伊達藩の所領として繁栄した由来があり、国の重要文化財である来迎院多宝塔や国選別・県指定無形民俗文化財の撞舞など珍しいお祭りもあります。コロッケでまちを盛り上げようと、商工会女性部が中心となって作り上げた「龍ヶ崎コロッケ」は、B級グルメの定番として大人気です。

カガミクリスタル

日本初のクリスタルガラス工場で、すべてが熟練した職人技術での作業です。ドイツ留学した各務鑑三（かがみこうぞう）が、クリスタルガラスの美しさとグラヴィール（彫刻）など、本格的な技術を日本に紹介しました。（県伝統工芸品）



竜ヶ崎飛行場

都心からアクセス2時間の飛行場です。小型機・遊覧飛行などをしています。遊覧飛行は飛行場一周から東京一周まで17コース程あります。また、軽飛行機の拠点でもあり、パイロット操縦訓練が盛んに行われています。



観光カレンダー

- 7月下旬 八坂神社祇園祭
7月下旬 撞舞
毎月第一日曜日 まいんバザール



取手市

TORIDE City

■概要／人口：**106,011人**（令和5年1月時点）

■由来／江戸時代の頃から利根川水運の拠点として栄えた取手宿。その由来となる取手は、一説には平将門がこの地に砦を築いたことに端を発したという説もあります。

■市の花／ツツジ、フジ

木／モクセイ、ゲッケイジュ
鳥／フクロウ、カワセミ



本県の南の玄関口として江戸時代から水運、陸運の要所となった取手市は、今でもJR常磐線、国道6号など交通の要として重要な役割を果たしています。なんといっても最大の魅力は、雄大な利根川の流れ。四季を通じて野鳥の観察ができ、河川敷を利用した緑地運動公園やゴルフ場など市民の憩いの場として、利根川と人々との関わりの深さを感じさせます。歴史にまつわる史跡なども多く残り、旧取手宿本陣、竜禅寺三仏堂、長禅寺三世堂などの見所もあります。

観光カレンダー

- 8月上旬 八坂神社例大祭
8月中旬 とりで利根川大花火
1月中旬 とりで利根川たこあげ大会
1月中旬 とりで利根川どんどまつり

キリンビール工場見学

キリンビールの旨さを実感できる見学ツアーを体験できます。麦芽の試食や実際にビールの製造過程で造られる一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲など工場ならではの体験をした後は、工場直送の美味しいビールを試飲することができます。ビール工場限定のお土産も販売しています。



旧取手宿本陣

寛政7年（1795）に建築され、水戸街道に残る本陣建築では最も古・最大的ものです。歴代の水戸藩主との深いつながりを示す品々や、多くの古文書が伝えられています。茨城県の有形文化財として指定されています。



たつのこやま



龍ヶ岡地区のシンボル「たつのこやま（標高41m）」がある公園。晴れた日は、筑波山から東京スカイツリー、富士山まで一望でき、360度ひらけた関東平野ならではの景色を楽しめます。

龍ヶ崎森林公園



キノコ型のキャビンハウス20棟、ログハウス大小7棟、バーベキュー用かまど32基が完備されたキャンプ場です。アスレチックや遊具も充実しており、バードウォッチング・スポットとしても人気があります。「うな丼」発祥の地。

牛久沼水辺公園



牛久沼のはとりにあり、沼の自然に触れることができる親水公園。白鳥や水辺に暮らす多くの野鳥を観察できるため、バードウォッチング・スポットとしても人気があります。「うな丼」発祥の地。

商業まつり いがっぺ市



薬師市と産業まつり、商業まつりを一つに合わせてできたイベント。約2kmある商店街通りを商店会加盟店やおなじみの龍ヶ崎コロッケの出店などで埋め尽くされます。

小堀の渡し



大正3年より運航開始。平成11年に取手市営のバスが運行するまで、小中学生や住民の足として活躍し、現在は小堀の住民だけでなく、誰でも乗船できる観光船になっています。

岡堰



江戸時代の初めに伊奈半十郎忠治により築かれ、相馬二万石の用水となりました。関東三大堰の一つに数えられ、茨城百景にも選定されています。

「たいけん美じゅつ場」愛称 VIVA(ビバ)



撞舞(国選択・県指定無形民俗文化財)



450年以上の歴史をもつ伝統芸能。中国伝来の散楽を起源とし、軽業が変化したものではないかといわれています。高さ14mの柱を龍の背中に見立て、蛙が龍の背中をよじ登る様子を表わしています。蛙に扮した舞男といわれる男性が、その柱の上で逆立ちしたり、寝そべったりと妙技の限りを尽くします。雨乞いや豊穣祈願、または疫病よけの意味があるといわれています。

龍ヶ崎コロッケ



龍ヶ崎市商工会女性部有志によりスタートされた、まちおこし「コロッケ」・十余年の活動が結実し、「YAHOO!ご当地メシ決定戦2014」において、見事優勝しました。まちおこし「コロッケ」の取り組みに賛同した市内飲食店や精肉店により、平成15年1月にコロッケクラブ龍ヶ崎が設立され、令和5年6月時点で、18店舗が加盟しています。

とりで利根川たこあげ大会・どんどまつり



自作鳳の出来栄え・揚がり方を競う自作品たこあげコンクールや、手ぶらで参加できる「たこ作り教室」も開催します。新春の伝統文化を体験できる行事です。

とりで本舗



取手のいいものを全国どこへでもお届けする、インターネットショップとりで本舗。名産品である奈良漬を始めとして、漬物やお煎餅など数多くの商品を取り扱っております。

奈良漬・漬物



元々奈良県が発祥の奈良漬ですが、江戸時代に取手に伝わりました。利根川が運んでくれる養分豊かな水と、水はけの良い土壌が育んでくれるみずみずしい野菜、その旨さをそのまま封じ込める伝統の製法で作られています。新六本店（奈良漬）・山中屋（奈良漬）・戸祭貞次郎商店（漬物）など100年以上続く名店がその名を連ねます。

牛久市

USHIKU City

■概要／人口：**84,293人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**698,200人**（令和3年）

■由来／龍ヶ崎市の金龍寺に「急け者の小僧が

牛になってしまい、沼に身投げをしました。

そこから『牛を沼が食った』『牛食う沼』と変わり、
その沼が牛久沼と呼ばれるようになった」という
昔話が伝わっており、沼の名の由来・地名の由来
となっているという説があります。

■市の花／菊 木／金木犀 鳥／鶯



牛久市は茨城県の南部に位置し、首都東京から50kmの距離にあります。JR常磐線、国道6号、圏央道とアクセスする立地条件の良さから、首都圏のなかの新しい衛星都市として宅地の開発が進み、飛躍的な発展を遂げています。また、穏やかな水面が広がる牛久沼や里山などの自然があふれる景観、国の重要文化財に指定されている日本初の本格的なワイン醸造場である牛久シャトー、ギネスブックに認定されている牛久大仏など、観光スポットも多く、国内外から多くの観光客が訪れています。

観光カレンダー

5月3日	うしく鯉まつり
7月下旬頃	うしくかっぱ祭り
11月上旬～中旬	うしく菊まつり
11月3日	うしくWai'ワイまつり
12月～2月	ブリアントヴィルうしく

牛久大仏

台座を含めた高さが120mあり、青銅製立像では世界一の高さを誇る牛久大仏。胎内は拝観することができます。地上85mの胸の位置にある展望台からは外を眺めることができます。また、園内には四季折々の花が咲く庭園や、小動物公園もあります。



牛久シャトー

明治期の洋風建築の趣きが残る赤レンガ造りのシャトーカミヤは、明治36年に完成しました。当時は、ブドウ栽培から醸造、瓶詰めまで一貫して行った日本初の本格的ワイン醸造場であり、日本のワイン発祥地の一つとして知られています。平成20年には国の重要文化財に指定されています。



牛久市観光アヤメ園

牛久市観光アヤメ園は昭和61年に開園しました。毎年6月には、約200品種2万本のアヤメや花菖蒲など色とりどりに咲く花が楽しめます。また、春には土手沿いの桜が、秋には園路沿いのヒガンバナが楽しめます。



長沼りんご園

秋にはりんご狩り、夏はブルーベリー摘みが楽しめる、エコファーマー認定農園です。自然な香りと甘さがあふれる果実が楽しめます。



小川芋錢記念館(雲魚亭)

小川芋錢はカッパを題材にした独特な境地の幻想画で知られています。「雲魚亭」は、小川芋錢の住まいを兼ねたアトリエを公開したもので、複製画等の展示があります。

ヤマイチ味噌



地元の米・大豆を原料に杉の大槽で天然醸造の味噌を造る味噌蔵です。工場直売所では量り売りもできます。定期的に開催している味噌造り教室も人気です。

うしくかっぱ祭り



昭和56年に始まったうしくかっぱ祭り。夕方から始まる「かっぱ離子踊りパレード」は、延べ1万人を超える踊り手が参加して祭りを盛り上げます。

とこしえ味噌かりんとう



味噌蔵ヤマイチ味噌の濃厚な赤みを使用し、市内のかりんとう専門店コルカリーノが旨味深いかりんとうに仕上げました。

落花生



豊かな牛久の土に抱かれて育った自慢の落花生。厳選された地元産の豆を使い、生産から加工までを一貫して行っています。

守谷市

MORIYA City

■概要／人口：**70,414人**（令和5年1月時点）

■由来／平将門がこの地に城を築いたとき、丘高く谷深くして守るに易き地ということから、守るに易き谷、転じて「守谷」となったという説があります。

■市の花／山百合

木／松

鳥／小綏鷦



守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から約40km圏内にあります。常磐道やつくばエクスプレスにより、都心部とも直結、めざましい発展を遂げています。新しいまちのイメージを持ちながらも、歴史も古く、平将門にまつわる「平将門と7人の影武者の墓」や徳川家康ゆかりの長龍寺、家康水のみ井戸跡などの名跡も残されています。さらに、日本を代表する企業立地も多く、アサヒビール(株)や(株)明治の工場見学をすることができます。

観光カレンダー

2月下旬	守谷ハーフマラソン
5月上旬	MOCOフェスタ
7月下旬	八坂神社祇園祭
9月下旬	守谷市商工まつり
11月下旬～	もりや
12月下旬	クリスマスファンタジー

スーパークリー ミュージアム



スーパークリーの世界観を五感で体感できる体験型施設。ミュージアム体験最後に向かう「スーパークリーホール」では、試飲が可能。工場できたてのうまさを味わえます。(試飲時間は20分間。一人2杯まで。)ビール以外にも、ノンアルコールのアサヒドライゼロや三ツ矢サイダーなどのソフトドリンクも用意しています。

明治なるほどファクトリー守谷



乳製品でお馴染みの明治製品の工場見学ができます。牛乳・乳製品のことや、乳酸菌の働きなどを楽しみながら学ぶことができ、いろいろなヨーグルトの製造ラインを見学できます。工場で作られたヨーグルトの試食やお土産付きで小さなお子様にも人気です。

四季の里公園



園内の池周辺に植えられた約38,800株のアヤメやハナショウブが観賞できます。毎年5月上旬から6月中旬にかけて順に見頃を迎え、写真撮影・写生スポットとして、市内外から多くの観光客が訪れます。

守谷野鳥のみち



利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた静かな林間と明るい湿地草原を含む総延長4キロの歩道です。ごみの持ち帰りなど案内板に書かれているルールを守り、野鳥の声や守谷の自然をお楽しみください。

アーカスプロジェクト



国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、子どもから大人までを対象としたワークショップ等を定期的に実施し地域の活性化を図っています。

守谷市商工まつり



9月下旬開催の市内最大級の守谷駅前イベントです。市内中学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーラン踊りなどのステージパフォーマンスのほか、地場グルメなどのブースが集結します。

八坂神社祇園祭



夏に流行る疫病を祓おうということから、夏の始まりに行われるといわれています。山車がグルグルと回る姿は他の祇園祭には見られない守谷特有のものです。

守谷SA やさい村



「守谷SAやさい村」は、常磐自動車道上り線サービスエリア「Pasa(パーサー)守谷」内にある、守谷市の生産者が運営する生鮮野菜等の直売所です。守谷市の畑で収穫された採れたて野菜などを生産者が直接販売しています。

ミルク工房もりや



大八洲拓農業協同組合を中心となって設立した小さな工房ですが、乳製品に対するこだわりと情熱はたっぷりです。地元産の乳製品をぜひ味わってください。

つくば市

TSUKUBA City

■概要／人口: **252,286人**(令和5年1月時点)

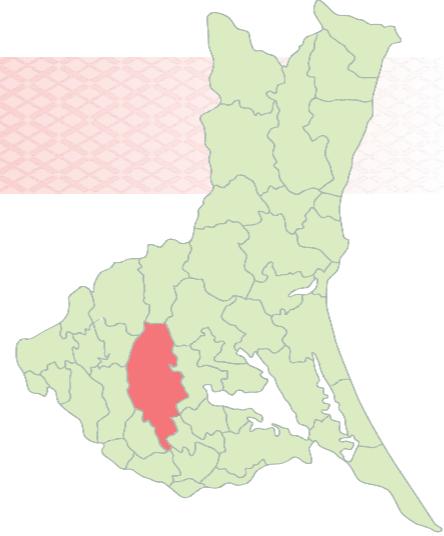
年間観光入込客数: **2,425,700人**(令和3年)

■由来／市のシンボル的存在である筑波山にちなんだ名称。

■市の花／ホシザキユキノシタ

木／ケヤキ

鳥／フクロウ



つくばエクスプレスの運行により、つくば—秋葉原間を最速45分で直結。都市基盤整備も整い、沿線には住宅立地が進んでいます。観光拠点の筑波山は万葉の時代から人々に親しまれ、筑波山神社の参拝客や登山客が通年途絶えることがありません。また平沢官衙遺跡、小田城跡など史跡をはじめ神社・仏閣も多く見所も豊富。さらにJAXA筑波宇宙センター、つくばエキスポセンター、産業技術総合研究所などの研究施設やノバホール、つくば美術館など文化施設も充実。歴史と科学の調和したつくば市は将来性も抜群の都市です。

観光カレンダー

2月中旬～3月下旬	筑波山梅まつり
5月中旬	つくばフェスティバル
8月下旬	まつりつくば
10月下旬～11月上旬	筑波山麓秋祭り
11月上旬～下旬	筑波山もみじまつり

筑波山神社

筑波山を御神体とする筑波山神社。西峰の男体山頂に筑波山大神・伊弉諾尊(いざなぎのみこと)を、東峰の女体山頂に筑波山女大神・伊弉冉尊(いざなみのみこと)の二神を祀っています。また、伊弉諾尊と伊弉冉尊が結婚し神々を産み、国産みをされたことから、縁結び、夫婦和合、家内安全、子授けなどの御神徳があるとされています。



日本屈指のパワースポット

スポット

JAXA 筑波宇宙センター



スポット

筑波実験植物園



スポット

国立科学博物館の植物研究施設で、日本をはじめ世界の様々な植物およそ3,000種類が見られます。広く一般に公開されており、温室では熱帯や乾燥地の珍しい植物なども楽しめます。

フォレストアドベンチャー・つくば



森の中を空中散歩

スポット

平沢官衙遺跡



スポット

筑波山温泉郷



スポット

筑波山の中腹には、筑波温泉・筑波山温泉「双神の湯」の二つの源泉があります。アルカリ性の強いアルカリ性単純温泉で肌がすべすべになります。「美肌の湯」ともいわれています。

小田城跡

中世とよばれる鎌倉時代から戦国時代に、常陸の国(現在の茨城県)南部に勢力をもった小田氏の居城跡です。小田城跡は、その歴史的重要性及び良好な遺存状況から昭和10年に国の史跡指定を受けました。



スポット

つくばサイエンスツアーア

一つの市内で多様な分野の世界最先端、世界唯一の研究開発の成果を直に見学・体感できる「つくばサイエンスツアーア」は、「科学の街・つくば」ならではの魅力です。「つくばサイエンスツアーバス」は、常設展示施設を持つ市内の6研究施設を巡る1日乗り放題のバス。また土曜日にはスタッフガイド同行コースも運行しています。



イベント

筑波山

朝夕に山肌の色を変えるところから「紫峰」と呼ばれている筑波山。男体山、女体山の二峰を持つことから、生産のシンボル、神の住む山として、古くから多くの人々に信仰されてきました。また「西の富士、東の筑波」と並び称されてきた優美な姿は、多くの歌人を魅了し、「万葉集」や「小倉百人一首」などに数多く歌われています。山頂に向かうハイキングコースには、奇岩、怪岩を巡るコースや自然研究路があり、標高871mの男体山へはケーブルカーで、標高877mの女体山へはロープウェイでも気軽に登ることができます。2016年には筑波山地域がジオパークに認定されました。

スポット



茨城県のシンボル

筑波山梅まつり

筑波山中腹、標高約250m付近に位置し、約1,000本の梅が咲き誇る筑波山梅林で約1ヶ月に渡り開催。期間中は梅茶の無料サービスのほか、筑波山名物ガマの油売り口上披露、野点茶会、つくば観光大使によるお出迎えなど様々なイベントもあります。梅まつり限定、美味しい梅を使った料理「梅(うめ)食」も人気です。

イベント



約1,000本の梅が咲き乱れる

まつりつくば

2日間で約46万人が訪れる、歴史や科学など多様な文化の融合が織りなすつくばならではのイベントです。土浦学園線を通行止めにして開催される「大パレード」は、日本最大級の大きさを誇る「万灯神輿」や「ねぶた」の競演など、見どころ満載です。



つくばを代表するお祭り

つくばラーメン激戦区

つくば市内には200を超えるラーメン店があり、東京ラーメンショーでグランプリに輝いた店や、専門サイトで常に上位にランキングされる有名店など、全国的にもレベルが高い数多くのラーメンが軒を連ね、各店が凌ぎを削る群雄割拠のラーメン激戦区となっています。また、北関東最大級のラーメンイベント「つくばラーメンフェスタ」や、筑波山麓特産「福来みかん」を使用したラーメンを期間限定で店舗提供する「福来らーメン紀行」など、ラーメン激戦区ならではのイベントも開催されています。

グルメ



ラーメンの街つくば

つくばうどん



グルメ

筑波北条米



お土産

筑波山南西側山麓一帯の水田は、関東で最も良質な米として知られており、つくばうどんはこのけんちんうどんの一種。具材は筑波地鶏の「つくね」、地元産「黒野菜」、茨城県産銘柄豚の「バラ肉」の頭文字をとった名付けられました。

つくばコレクション

「つくばコレクション」は、つくば市を代表する優れたお土産商品として、市が認証した商品です。お酒、お菓子、食肉製品、調味料など、おすすめのものばかりです。つくばのお土産は、ぜひ、右のマークを目印にお選びください。

お土産



つくばの優れたお土産



Farm to Table つくば



スポット

つくば市は2017年12月に、国から構造改革特区「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受けました。以降、市内に複数のワイナリーが誕生し、新たなワインの名産地として期待されています。



スポット

稻敷市

INASHIKI City

■概要／人口：**38,377人**（令和5年1月時点）
年間観光入込客数：**265,100人**（令和3年）

■由来／大地に稲穂がそよぐ風景がより強く
イメージできるなどの理由により
「稻敷市」と決定しました。

■市の花／きく
木／さくら
鳥／うぐいす



稻敷市は稻敷台地と広大な水田地帯からなり、霞ヶ浦、利根川、新利根川、小野川などの豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、水運と農業を主として発展した地域です。観光スポットはここで紹介する施設のほかにもゴルフ場や釣り場、自然を生かした公園など数多くあります。圏央道（稻敷IC、稻敷東IC）が開通し、東京都からのアクセスも容易となり、つくば市や成田市など周辺都市との連携もますます期待されます。

観光カレンダー

4月上旬	稻敷チューリップまつり
6月8日	寝釈迦の花まつり
6月上旬	ふな釣り大会
6月中下旬	江戸崎かぼちゃフェア
8月下旬	いなしキ夏まつり花火大会

大杉神社

大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、正月の初詣や2月3日の節分祭には多くの参拝客が訪れ、年間の参拝者は約33万人を数えます。古くから「あんばさま」の呼び名で親しまれ、神護景雲（じんごけいうん）元年（767年）、勝道上人によって創設されたといわれています。境内にそびえ立つ2本の大杉を海や川の守り神とし、漁業関係者から信仰を集めています。また疱瘡除けの神様としても有名です。



横利根閘門

横利根閘門（よことねこうもん）は大正3年から約7年の大工事の末、大正10年に完成し、現在も利用されている我が国最大級の規模を持つ煉瓦造複閘式閘門です。

笑遊館

地域の人たちの交流の場として、また、まちに訪れた方のための休憩所や観光案内所として、平成16年にオープンしました。この施設は、古くからある鈴木屋旅館を改装したもので

こもれび森のイバライド

動物にさわる。自分でつくる。思いっきりカラダを使って遊ぶ。「こもれび森のイバライド」は、茨城の自然の中でたくさんの思い出を手作りできる体験型テーマパークです。東京から車で約90分のスムーズなアクセスも魅力です。

寝釈迦の花まつり

毎年6月8日に行われる祭りで、「腰巻おがみ」の名で広く知られています。この日には、茨城県指定有形文化財の像長約2mの珍しい寝釈迦像（釈迦如来涅槃像）も開帳されます。

いなしキ夏まつり花火大会

毎年8月に行われる「いなしキ夏まつり」（市町村合併前は「えどさき夏まつり」）は、平成8年からスタートしたお祭りです。昼はステージイベント、夜は「花火大会」を中心開催されます。花火大会は、茨城県内有数の打ち上げ数を誇り、観客の皆さんを魅了しています。なかでもフィナーレを飾るスターインは圧巻で、稻敷の夜空を彩ります。

江戸崎かぼちゃフェア

稻敷自慢のおいしさがたっぷり詰まった江戸崎かぼちゃ。約50年にわたる生産の歴史で培われた栽培方法と厳格な検査体制を継承し、完熟収穫を徹底しています。江戸崎かぼちゃフェアでは、参加店による「江戸崎かぼちゃ」を使ったお菓子、料理などを期間限定で販売します。

甘さ栄養価も抜群のかぼちゃ



稻敷チューリップまつり

会場には20種類10万本以上のチューリップが咲き誇ります。模擬店、動物ふれあい広場が設置されたり、特設ステージでは、郷土芸能発表や歌謡ショーなど豪華絢爛です。

稻しきのあげもち

一口にあげ餅といっても、「つき方」、「干し方」、「揚げ方」は、作る人や家庭によって種類は千差万別。「稻しきのあげ餅」とは、稻敷自慢の米を、稻敷の人が、それぞれの作り方で作ったあげ餅の総称です。

かすみがうら市

KASUMIGAURA City

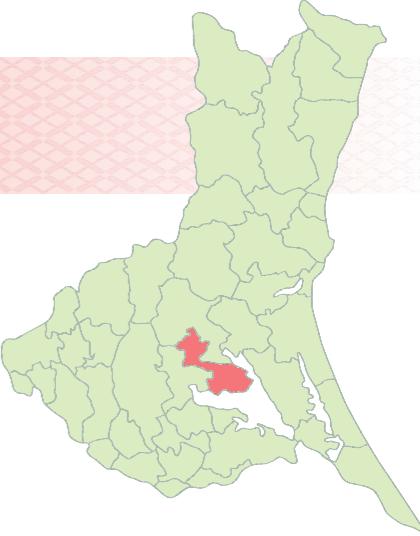
■概要／人口：**40,541人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**165,000人**（令和3年）

■由来／湖の「霞ヶ浦」。合併後にひらがな表記になりました。

■市の花／あじさい

木／くり
鳥／うぐいす



観光カレンダー

5月3日、4日	かすみがうらフェスタ
8月16日	あゆみ祭り
7月下旬～11月下旬	観光帆引き船
10月中旬	自転車レースイベント
11月3日	かすみがうら祭

西に雪入山、東に霞ヶ浦を持ち、山と湖の大自然に囲まれた美しいまちです。温暖な気候に恵まれ、梨・ぶどう・栗・柿・イチゴなどの観光果樹園が盛んで果物狩りにたくさんの方々が訪れます。明治13年に折本良平氏が考案した風力による漁船「帆引き船」発祥の地でもあります。さらに水郷筑波国定公園内である景勝「歩崎」の地では、自転車レースのイベントをはじめ、カヌーやSUPなどの湖上アクティビティも盛んです。

帆引き船

霞ヶ浦のシンボルである帆引き船を使った漁法は、かすみがうら市（旧：佐賀村）に生まれた折本良平氏によって明治13年に考案されました。霞ヶ浦漁業の歴史を知上で極めて重要な文化遺産であることから、霞ヶ浦で昭和46年に初めて観光帆引き船として復活しました。また、平成30年3月に「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定されました。



果物狩り

かすみがうら市の果樹園では、一年を通して果物狩りができます。6月～8月にはブルーベリー、8月～10月にかけては梨・ぶどう。9月～11月にかけては栗・柿。12月～5月はいちごが楽しめます。



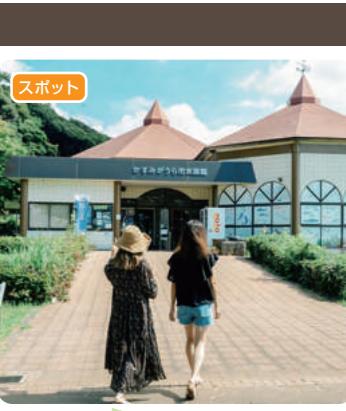
かすみがうら市歴史博物館

開館30周年を迎えた郷土資料館が、平成29年1月1日をもって歴史博物館として新たに生まれ変わりました。この博物館は昭和62年の霞ヶ浦大橋の開通に合わせて開館し、地域の歴史と文化を守り続けてきたほか、観光拠点としても市のシンボルとなっています。



かすみがうら市水族館

平成元年に開館し、トンガリ屋根がトレードマーク。霞ヶ浦に生息する魚を中心に多種類の淡水魚を飼育しています。



雪入ふれあいの里公園

平成9年に採石場の跡地を利用し建設された公園で、雪入山周辺の豊かな自然や、多様な動植物の生態を間近に観察、学習できる施設です。遊歩道からは、市全体を望めます。



あゆみ庵

数寄屋造りの建物で茶室と座敷広間があり、ボランティアグループによるお茶のサービスでおもてなしをします。日本庭園には、なだらかな緑の階段をぬって流れる滝や、ひょうたん池があり、静寂の世界へと誘います。



つくばみらい市

TSUKUBAMIRAI City

■概要／人口:53,004人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:14,000人(令和3年)

■由来／平成18年、伊奈町と谷和原村が合併・市制施行し発足。

市内全域が筑波郡であったこと、つくばエクスプレスの駅名「みらい平」に由来。日本一文字数の多い市名のひとつです。

■市の花／なのはな

木／さくら
鳥／ひばり



緑と水の豊かな自然に恵まれた環境にあり、市の中央には小貝川、西部には鬼怒川が流れています。小貝川と福岡堰から流れる用水路の間の堤及びその周辺には、約450本の桜が1.8kmにわたって延び、開花期には見事な景観をつくることから茨城観光100選・茨城百景にも選定され、県内でも有数の桜の名所となっています。また、つくばエクスプレスの開通などにより宅地化が進んでいますが、国の重要無形民俗文化財に指定されている綱火や、江戸時代の冒険家、間宮林蔵の生家など、歴史を物語る文化や史跡なども数多く残っています。

観光カレンダー

1月1日～3日	初詣(板橋不動尊)
4月上旬	福岡堰さくらまつり
8月上旬	みらいフェスタ
8月下旬	綱火
11月	米コンテスト・商工感謝祭

福岡堰

現在の福岡堰は昭和46年に完成したもので、岡堰(取手市)、豊田堰(龍ヶ崎市)とともに関東三大堰の一つに数えられます。堰周辺は桜の名所として知られ、桜並木が続く堤は、遊歩道や多目的広場が整備され、散策や釣りを楽しむ人々の憩いの場となっています。堰の東側には、水辺に親しみことなどを目的とした福岡堰さくら公園が整備されています。



関東三大堰の一つ

スポット

ワープステーション江戸

時代劇オープンセットが建ち並ぶ、国内でも数少ない野外型ロケ施設。時代設定は、江戸時代はもちろんのこと、戦国から昭和までを幅広くカバーしており、NHKの大河ドラマや著名な映画などにも度々登場しています。施設の一般公開は行っていませんが、時折入場可能なイベントを市や観光協会が開催することがあります。



国内でも数少ない野外型ロケ施設

スポット

綱火

国の重要無形民俗文化財にも指定されている綱火は、からくり人形と仕掛け花火を結合し、空中に張りめぐらされた綱を操作し、雌子に合わせて人形を操る伝統芸能です。別名「三本綱」からくり人形仕掛け花火」とも称し、つくばみらい市には小張松下流と高岡流の二流派が伝わっています。毎年8月下旬に豊年満作と火難除けを祈願して奉納されます。からくり人形と仕掛け花火が夏の夜空を華やかに彩ります。



人形を操る伝統芸能

イベント

小張松下流(綱火)

高岡流(綱火)

不動院(板橋不動尊)

関東三大不動尊の一つで、正式名称は「清安山不動院願成寺」。国の重要文化財に指定されている本尊不動明王が安置されている大本堂や楼門、三重塔は茨城県指定有形文化財です。

みらいっ娘

「大地の香り、食べる喜び届けます」をキャッチフレーズに「安全・安心」「地場産」にこだわり、JA茨城みなみ管内(つくばみらい市・取手市・守谷市)を中心に生産された新鮮な野菜・米・加工品などを販売している農産物直売所です。

間宮林蔵記念館

「間宮海峡」で有名な、江戸時代に活躍した大探險家・測量家である「間宮林蔵」を顕彰するために建設された記念館。全国各地から収集した貴重な資料や史跡などを時代に沿って紹介しています。



世界地図に名を残した唯一の日本人

スポット



トマト

小貝川沿いの地域を中心に、多くのトマトが生産されています。大玉・中玉・ミニなど生産者の栽培のこだわりと熱い想いが詰まったトマトは味が濃くてとてもおいしいと評判です。



お米

市内を流れる小貝川沿いに「谷原三万石」と呼ばれる広大な水田地帯があり、6月の豊富な降水量や7・8月の晴天率の高さなど、栽培に適した気候で美味しいお米が育てられています。

美浦村

MIHO Village

■概要／人口:14,605人(令和5年1月時点)

年間観光入込客数:87,900人(令和3年)

■由来／昭和30年に木原村と安中村と舟島村の一部が合併し、霞ヶ浦に誕生したのですが、即日美浦村に改称。霞ヶ浦を意味する「浦」と、牧歌的で美しい風光明媚な景観を讀えて「浦」の前に「美」を足し、美浦としました。

■村の花／やまとり
木／やまとくら



茨城県内に残る2つの村のうちのひとつ美浦村。首都圏から70Km圏内と近く、茨城県南部に位置し、北部と東部が霞ヶ浦に面しています。国史跡に指定されている縄文遺跡「陸平貝塚」がある「歴史のまち」としても有名です。県内では高品質の米や野菜を生産する「農業のまち」としても有名で、オリジナルブランド米「光一点」や「美浦そだち」など独自の銘柄米を出しています。また、マッシュルームやパプリカの一大生産地としても有名です。そして日本中央競馬会のトレーニング・センターがある「トレセンのまち」としても知られています。

JRA美浦トレーニングセンター

昭和53年4月に開設された美浦トレーニング・センターは、約224万m²(東京ドーム約48個分)の広大な敷地を有し、その中に南北2つのトラック型調教コース、1,200mの坂路調教馬場、競走馬スイミングプール、そして森林馬道といった様々な調教施設があります。常時2,000頭を超える競走馬が、毎日トレーニングを行っています。広報会館「ターフプラザ」は土曜、日曜開館です。



競馬ファン必見の施設

スポット

美浦村文化財センター

国史跡陸平貝塚(おかだいらかいづか)のある陸平貝塚公園の入り口にあり、展示室では陸平貝塚はじめ美浦村内の遺跡や歴史を紹介しています。縄文土器作りや縄文クッキー作りなどの体験事業もおこなっています。陸平貝塚をでることで守り活用していくこうと活動するボランティアグループ「陸平をヨイショする会」の活動拠点にもなっています。



陸平研究所とも呼ばれる

スポット

みほふれ愛プラザ

農業の振興と農村コミュニティ向上のため、村民相互のふれあいの場として平成29年にオープン。特産品を販売する地域産品直売所や子育て支援センター、多世代が自由に楽しめる交流サロン・ホールを備えています。施設内にある「かあさんの台所」は地元食材を使ったお惣菜や他市町村とのコラボ商品も販売しております、イートイン利用も可能です。



地域交流館

スポット

みほふれ愛プラザ

かあさんの台所

陸平縄文ムラまつり

毎年5月の連休や夏休みなどに陸平貝塚公園で開催する縄文イベント。体験イベントや陸平をヨイショする会主催の「縄文の森コンサート」がおこなわれています。



イベント

イベント

かあさんの台所

かあさんの台所

大山湖畔公園

昭和13年に開墾した水上機の練習航空隊施設跡地。戦後は東京医科歯科大学霞ヶ浦分院となりましたが平成9年に閉院となりました。近年、「他に類を見ない景観」が高く評価され、映画やドラマ、MVの舞台として数多く使用されています。今年7月22日に一般公開する観光施設です。



国内随一の戦後跡地

スポット

株まちづくり美浦

「子ども達に素晴らしい地域をのこしたい」そんな思いで若手経営者らが集まり【株まちづくり美浦】が誕生しました。第1弾として美浦村特産のマッシュルームやパプリカを使った【カレー】や【スープ】、【アヒージョ】など「みほふれ愛プラザ 地域産品直売所」で販売しています。「美浦村をもっと楽しく、もっと笑顔にするために!」



美浦村6次化産品

お土産

MIHO美浦村特選局

阿見町

AMI Town

■概要／人口：**49,161人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**2,914,600人**（令和3年）

■由来／この地に和銅元年（708）に建立された阿彌神社に

由来するという説が一般的。常陸國風土記に記される
「皇祖の天下を經營せらるるや阿彌普都、
實に能く天業を補強せり、其神功成るに及びて
天に還りしと、蓋し是地に於てするや」に
由来するといわれています。

■町の花／キク 木／サクラ 鳥／ウグイス



あみっぺ



霞ヶ浦の南岸に位置し、土浦市、牛久市、稻敷市、美浦村に隣接しています。町の大部分は平坦な洪積台地で、霞ヶ浦を望む台地には、町の天然記念物にも指定されている巨樹・巨木が多くあります。静かな農村地帯というイメージも大正11年に霞ヶ浦海軍航空隊が開設されることにより一変し、第2次世界大戦では、海軍の町として全国的に知られる存在でした。その跡地は陸上自衛隊武器学校、東京医科大学、茨城大学農学部、県立ろう学校などに利用されており、現在は文教都市として発展しました。

観光カレンダー

4月上旬	あみさくらまつり
8月上旬	まい・あみ・まつり
10月下旬	さわやかフェア
10月下旬	商工まつり

予科練平和記念館

昭和14年に、海軍飛行予科練習部いわゆる「予科練」が神奈川県横須賀から阿見に移転、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心的な役割を担うこととなりました。「予科練平和記念館」では、貴重な予科練の歴史や町の戦争の記録を保存・展示し、命の尊さや平和の大切さを伝えています。



あみプレミアム・アウトレット

国内外の著名ブランド約160店舗が軒を連ねるアウトレットセンターです。いつでもお値打ち価格が嬉しいショッピングエリアに加えて、和洋中様々な名店が揃っている飲食エリアも人気。圏央道「阿見東IC」に直結した交通の便の良さ、そして、牛久大仏が見えるアウトレットというロケーションも人気です。



雄翔館・雄翔園



予科練出身者により設立された記念館。予科練戦没者の遺影・遺書・遺品約1,000点を収蔵、展示しています。雄翔園には予科練之碑・歌碑等があります。

雪印メグミルク工場見学



プロセスチーズやマーガリンを製造する阿見工場。見学コースからの製造工程の見学やVR（ヴァーチャルリアリティ）の技術を活用した視覚体験、チーズの試食などができます。

桜の名所



春には、町の木にもなっている桜が町内各所で咲き誇ります。茨城大学農学部や県立医療大学前の通りは、最盛期はまさに桜のトンネルのようです。

まい・あみ・まつり



平成2年に始まったお祭りです。町民総参加による町民同士のふれあいの輪を広める交流の場として、毎年夏の風物詩として開催されています。

阿見町産常陸秋そば

産学官連携で栽培が始まった阿見町の常陸秋そば。年々栽培面積を拡大し、品質の高いそばの生産地として認められました。町内各所の飲食店で阿見町産のおそばを楽しむことができます。お土産には、常陸秋そばを使用した二八そばの乾麺がおすすめです。



全国そば優良生産表彰

二八そば
石臼挽き常陸秋そば粉使用
水郷うば等内阿見町産

阿見グリーンメロンスイーツフェア

商工会が主催し、町内の菓子店やベーカリー、産直所が参加。阿見町の特産品である阿見グリーンメロンを使用したメロンパンや、メロンの果肉をたっぷり使用したスイーツなどの商品の開発&提供を期間限定で実施。毎年初夏にフェアを開催しています。



河内町

KAWACHI Town

■概要／人口：**8,140人**（令和5年1月時点）

■由来／河内の名は、河内郡に属し、利根川と新利根川に挟まれた沃地であることから、公募により選ばされました。

■町の花／あじさい

木／けやき
鳥／ひばり



かわち丸



河内町は茨城県の最南端に位置し、都心に50km圏、筑波研究学園都市に30km、成田国際空港までは20kmの距離にあります。また、南に利根川、北に新利根川が流れ、突き抜ける青空の中に筑波山が、夕焼けの彼方に富士山を望むことができる緑豊かな美しいまちです。観光は体験型として利根川沿いにある堤防を活かしたサイクリングや利根川河川敷にある大利根飛行場の体験搭乗、グルメスポットとしては町の長竿地区にある築100年以上となる旧家をリノベーションした町の小さな拠点「長竿亭」が人気を博しています。令和4年に河内町の産業と観光の拠点となる施設「かわち夢楽」がオープンし、ますます盛り上がりを見せてています。

長竿亭

築100年以上となる旧家をリノベーションした町の小さな拠点です。立派な梁や蔵を見るだけでも一見の価値あり。敷地内では手打ち蕎麦や本格コーヒー等が堪能できます。



かわち水と緑のふれあい公園



不動免沼をぐるりと囲んだ水と緑が豊富な公園です。八重桜、さつき、クチナシなどの花が楽しめ、四季折々の風景を見ることができますので、散策にはぴったりの公園です。

純米吟醸酒「星空の舞」



河内町の肥沃な大地で育てられた酒造好適米（五百万石）を原料として水戸市の吉久保酒造により作られた純米吟醸酒です。女性からも好まれるフルーティな香りに仕上がっています。

かわちイルミネーション

河内町の新たな風物詩として、2018年から行われているイベントです。開催期間中はかわち水と緑のふれあい公園全体が最大約45万球のイルミネーションと音楽で、テーマパーク化します。毎年大勢の観光客でにぎわい、茨城県内でも有数なイルミネーションとしてSNS等において紹介されています。



産業観光交流拠点施設 かわち夢楽

河内町の新たな施設として令和4年にオープン。農産物等直売所、サイクルステーションを併設しており、町内・町外の方との交流の拠点となっています。また、2階にはカフェがあり、そこから見える田園風景には一見の価値あり。



かわちドリームフェスティバル

毎年、11月上旬に開催される河内町の一大イベントです。お昼は芸能人歌謡ショー、夜はイルミネーション点灯式など一日を通して大きな盛り上がりをみせます。また、安く美味しい食べ物や自慢の一品を販売する模擬店、町内団体による文化発表などイベント内容はバラエティに富んでいます。



利根町

TONE Town

■概要／人口: 15,409人(令和5年1月時点)

■由来／昭和30年(1955)1月1日、布川町、文村、文間村、東文間村の一町三村が合併した際、利根川に隣接する町であることから利根川にちなみ、「利根町」としました。

■町の花／カンナ

木／サクラ
鳥／ヨシキリ



利根町は茨城県の最南部、千葉県との県境に位置し、都心からも40km圏内という立地から都心通勤者のベッドタウンとして栄えました。その名の通り日本一の流域面積を誇る大河「利根川」の流れとともに生きてきた水辺のまちです。町内全域には平坦な田園風景が広がり、四季折々で移り変わる自然風景が町を彩り、随所で歴史ある社寺仏閣や文化史跡にも出会える、自然と歴史に包まれた静かなまちです。主幹産業は農業で、お米を中心に、いちご、アスパラガス、花卉などを生産しています。

蛭ヶ原神社

東西に「奥の宮」と「門の宮」の社から成り、約2300年前に水神である弥因象女大神(みつのはのめのおおかみ)を現在の門の宮の場所に祀ったのが始まりとされています。門の宮の鳥居は、映画「君の名は。」に登場する宮水神社の鳥居のモチーフとなった隠れた“聖地”。奥の宮の境内は厳かな雰囲気が漂う利根町屈指のパワースポットで、御朱印やオリジナルナリティ溢れるお守りも人気。



利根町民納涼花火大会

利根町の夏を彩る納涼花火大会は、規模は小さいながらも、地元や近隣住民に愛される町の一大イベント。メイン会場では盆踊りをはじめとするアトラクションや、灯ろう流しがおこなわれます。利根川の川面を流れる灯ろうと花火が織りなすノスタルジックな光と水の共演は、かつて水運として栄えた利根町ならでは。



布川神社臨時大祭

御輿と6町6基の山車が祭壇子の軽快な音とともに町内を練り歩きます。3年に一度だけお目見えする御輿は、若衆が神社の77段の石段を7往復しながら水を浴びる「禊(みそぎ)」の儀式を皮切りに、波にもまれるように担ぎ手から担ぎ手へと渡ってゆきます。迫力の熱い夏は必見。



自社温室栽培の世界最北限といわれるオリジナルコーヒー豆「とねビーンズ」や、厳選した輸入豆を自社焙煎したこだわりのコーヒーをサイフォンでゆっくりと味わえます。メディア取材多数。

県南地域周遊コース



1 牛久大仏 <牛久市>



2 龍ヶ崎コロッケ <龍ヶ崎市>



3 JAXA つくば宇宙センター <つくば市>



4 筑波山神社 <つくば市>



茨城県の豆知識④

茨城空港

令和5年7月時点の情報です。最新の運行情報・キャンペーン等は茨城空港HPをご確認ください。
<https://www.ibaraki-airport.net/>



◇就航路線(直行便)

<国内線>

茨城 ⇄ 札幌 毎日2往復
茨城 ⇄ 神戸 每日3往復
茨城 ⇄ 福岡 每日1往復
茨城 ⇄ 那霸 每日1往復



<国際線>

茨城 ⇄ 上海 月・木・金・日曜日
茨城 ⇄ 西安 火・木・土・日曜日
茨城 ⇄ 台北(桃園) 木・木曜日

※国際線・定期チャーター便等の運航状況については、空港HPをご確認ください。

◇駐車場

最大3,600台分の無料駐車場を完備。
何日停めても無料です。(14日以上は要届出)



◇1,000円レンタカーキャンペーン

茨城空港を利用し、県内の宿泊施設を1泊以上利用される場合に、レンタカーの基本料金がキャンペーン価格で利用できます。(2024年3月31日まで)

車両クラス	利用人数	利用料金	
		国内線	国際線
エコノミー(C)	1名	2,000円	車両クラスに応じた通常料金が加算
	2名以上	1,000円	
スタンダード(C3)	3名以上	2,000円	
ワゴン(W1,W2)	4名以上	3,000円	

◇各方面からの連絡バス

※すべて片道・現金運賃、()内は所要時間

茨城空港 ⇄ 東京駅	大人1,650円(約100~150分)
茨城空港 ⇄ 常陸太田市高速BT	大人1,650円(約130分)
茨城空港 ⇄ つくばセンター	大人1,100円(R2.4~運休中)
茨城空港 ⇄ 水戸駅	高速:大人1,100円(約40分) 一般:大人1,160円(約65分)
茨城空港 ⇄ 石岡駅	大人630円(約30~35分)
茨城空港 ⇄ 新鉢田駅	大人630円(約35分)



◇乗合タクシー(事前予約制)

茨城空港発着の航空機を利用する場合、航空ダイヤに合わせたバスが運行されていない地域でもお得に利用ができます。
※全てのルート片道料金 ※乗車人数により料金が異なります。(下記は全て3人以上利用時)

茨城空港 ⇄ つくば市	2,000円/人~
茨城空港 ⇄ 埼玉市・かすみがうら市	1,500円/人~
茨城空港 ⇄ 神栖市・鹿嶋市	2,000円/人~
茨城空港 ⇄ 潮来市	1,500円/人~

古河市

KOGA City

■概要／人口：**140,959人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**1,550,500人**（令和3年）

■由来／万葉集で歌われた「麻久良我の許我の渡りのから楫の音高しもな寝なへ児ゆゑに」の「許我」（こが）に由来。

■市の花／ハナモモ

木／ケヤキ
魚／フナ
鳥／カワセミ

県の最西端に位置し、栃木県、埼玉県と境を接し、「関東のドマンナカ」を自称する古河市。渡良瀬川、利根川が流れ、水との関わりの深い土地柄でもあります。市の北西に広がる渡良瀬遊水地は自然の宝庫で、ヨシの茂みや湿地が多く、野鳥やトンボ、チョウなどの格好の生息地となっています。そして桃の花などが咲き誇る古河公方公園（古河総合公園）は、自然景観を生かした公園として日本で初めてユネスコの「メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞しました。また、古河城出城跡にある歴史博物館や古河文学館、街角美術館などの施設も点在し、散策に訪れる観光客も多く見られます。



鷹見泉石記念館

藩主土井利位に仕えた古河藩士、そして蘭学者である鷹見泉石（たかみせんせき）の晩年の住まいです。古河城の余材を使って建てたと伝えられている建物を改修して、平成2年に「鷹見泉石記念館」として開館されました。江戸時代に作られたものとして唯一のヨーロッパ図「新訛和蘭国全図」など、数々の研究に没頭した住居です。



古河公方公園(古河総合公園)

25haにおよぶ広大な自然の中に、四季折々に咲く、美しい花々が訪れる人を和ませてくれる公園。毎年3月下旬から4月上旬にかけて「古河桃まつり」が開催され、多くの観光客が訪れます。平成15年には、ユネスコとギリシャが主催する「文化景観の保護と管理に関するメリナ・メルクーリ国際賞」を日本で初めて受賞しました。



ネーブルパーク

「ネーブル」とは、「へそ」や「中心」という意味で、公園が関東平野のほぼ中央に位置することから名付けられたそうです。自然と親しみふれあい型のテーマパークとして、園内には、アスレチック広場、ボニー牧場、地下迷路の遊びが楽しめます。また、工芸館では、陶芸用の絵付けをしたり、粘土から成形する本格的な陶芸を体験することもできます。



道の駅「まくらがの里こが」

直売所の野菜を使用したフードコート、地元食材を使って焼き上げたパンなどが楽しめる道の駅。道路情報や季節折々の観光情報などを提供しています。



お休み処「坂長」

歴史的な価値を有する街の財産として、国の登録有形文化財にも指定。敷地内には歴史を学べるミニギャラリーやホール、資料室、地元の特産品やお土産が買えるお店などがあります。

古河歴史博物館

古河城出城跡（諫訪曲輪）に平成2年に開館。平成4年の日本建築学会賞、平成8年の公共建築賞を受賞しています。古河藩主である土井利位が雪の結晶の研究を著した「雪華図説」をはじめ、家老鷹見泉石が収集、研究した蘭学資料などを展示しています。また、ホールにはオランダの楽器ストリートオルガンがあり、異国の音色を楽しむことができます。



古河文学館

直木賞作家で歴史小説家の「永井路子」をはじめとする古河ゆかりの作家の作品や、児童文学史に大きな足跡を残した絵雑誌「コドモノクニ」の原画など、数々の貴重な資料を展示します。



篆刻美術館

平成3年に日本初の篆刻専門の美術館として開館。館内には、古河出身の生井子華の遺作をはじめ、小林斗盦、梅舒適など日本を代表する現代作家の作品を常時展示しています。

古河桃まつり

古河を代表するまつりの一つ。江戸時代初期に古河藩主の土井利勝が江戸で家臣の子どもたちに拾い集めさせた桃の種を古河に送り、農民に育てさせたことに由来します。古河公方公園（古河総合公園）の開園を機に、園内に花桃を植樹し、桃林を復活させました。園内には、「矢口・源平・菊桃・寿星桃・寒白」の5種類の花桃が約1,600本あり、期間中は鮮やかなピンク色で染まります。また、まつり期間中は園内では飲食の出店、郷土土産品の販売、野点などもあり、さらにステージなどで様々なイベントが開催され、毎日古河桃むすめが来場者を出迎えてくれます。



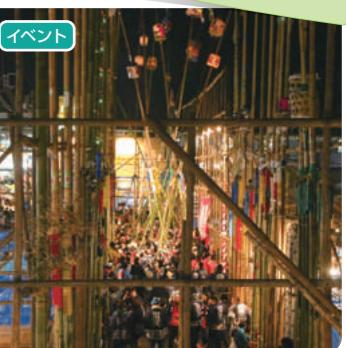
古河花火大会

打ち上げ数2万発で、関東では最大級の花火大会です。直径約90cmの大玉を打ち上げる三尺玉のほか、ワイドスター・マイン、メロディー付きスター・マイン等の花火は見所満載。河川敷のゴルフ場で打ち上げられるため、堤防から鑑賞することができます。また、ゴルフ場の奥にはラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地の雄大な自然が広がっています。



古河提灯竿もみまつり

市内の参加団体が20m近い竹竿の先につけた提灯を激しく揉み合いながら、相手の提灯の火を消し合う祭りで「関東の奇祭」といわれています。昔から参加者は、「今夜ベえだ、今夜ベえだ」という掛け声で、祭りに参加しました。「楽しみ羽目をはずしても今夜だけ」という意味です。現在は、古河の冬の風物詩として開催されています。



鮒の甘露煮



川沿いの古河の伝統的な料理で、カルシウムなどの栄養も豊富な「鮒の甘露煮」。食文化として、古くから古河市民には親しまれてきた味で、古河ブランドにも認定されています。

常陸秋そば



古河市にある「森ファーム」の常陸秋そばは、そば打ち名人の高橋邦弘氏が太鼓判を押すほど。新そばは、11月の秋そばに加え、7月の春そばと年2回の栽培・収穫が行われます。

古河ブランド

市内の商品の中で、特に優れたもの、安心・安全・高品質な商品を「古河ブランド」として認証しています。渡良瀬遊水地に飛来する白さぎの卵をイメージした、ほんのりミルク風味の「しら玉」。こだわりの手焼きで焼き上げ、古河市出身の篆刻家の生井子華の篆刻文字「許我」の焼き印を一つ一つ手押しした「許我どら焼き」など計24品目あります。



バラ

県内有数のバラの産地であり、ロックウール（水耕栽培）の導入により通年出荷を行うとともに、多品種構成により高品質なバラを生産しています。令和元年に開催された「第62回日本ばら切り花品評会」において、古河市の生産者が出品したエンジェルキス（プラス）がグランプリとなる農林水産大臣賞を受賞し、令和2年2月の天皇誕生日に、受賞したバラを献上しました。



古河の和菓子



城下町古河には、古くから和菓子の店が多くあります。クリームをサンドした風味ある薄焼きせんべい「渡良瀬八犬伝」をはじめ、「古河ブランド」にも3店舗が登録されています。



地酒



古河市唯一の酒蔵青木酒造が作る清酒「御慶事」。三代目当主が「最高のよろこびごと」という意味で「御慶事」と命名。古河で唯一の地酒として地元をはじめ、広く愛飲されています。

結城市

YUKI City

■概要／人口：**50,349人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**377,200人**（令和3年）

■由来／昭和29年、結城町に絹川村、

上山川村、山川村、江川村の4村が編入して市制を施行。古くからこの地に、木綿（ゆう）と呼ばれる樹皮から繊維を得ることができる木が多く生えていたことが地名の由来。

■市の花／ユリ

木／桑

県の西部に位置し、ほとんどが平坦な土地で、北側、西側は栃木県です。東は鬼怒川によって、筑西市と隔てられており、独自の発展を遂げました。結城紬や桐たんすなど独特的伝統工芸品が有名。結城紬は、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。また、平地林を開いた田畠では、白菜やレタス等農作物の生産に恵まれています。関東でも有数の歴史を誇る城下町で、神社や仏閣が集中し、見世蔵など歴史的な蔵造りの街並みは、貴重な文化遺産となっています。



つむぎの館

ユネスコ無形文化遺産に登録された本場結城紬の総合ミュージアム。総合案内や紬小物販売の「結の見世」、染め折り体験ができる「織場館」などが併設されています。



結城紬が身近に感じられる総合施設

スポット

見世蔵の街並み

結城市北部市街地には、結城市を代表する建築物「見世蔵」などの蔵造りを見ることができます。明治初期から大正期に建設された蔵造りの建物が、現在も紬問屋や老舗の商店などで利用されています。最近は蔵をイノベーションしたカフェも営業しています。



伝統的な工法の建築物

スポット

結城蔵美館



本市の新たな芸術文化を創造・発信するスポット。天下三名槍の一つ「御手杵の槍」のレプリカを展示。2023年には結城秀康展を開催し、刀剣乱舞ONLINEとコラボレーションし、話題となりました。

きもの day 結城



イベント

ゆうき物産まつり



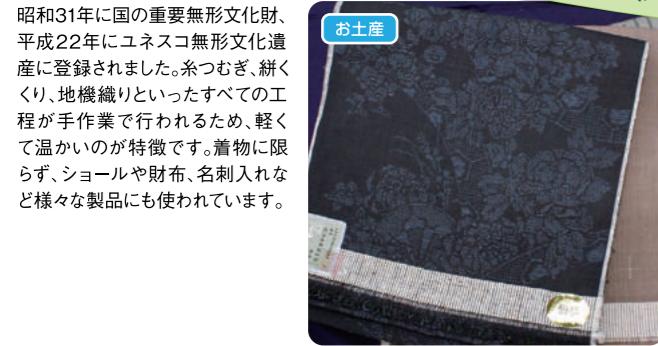
イベント

祭りゆうき



市内外から様々なジャンルの踊りの団体が集結して行われる市内最大のお祭りです。主に味噌づくりやキムチづくり、まゆ工芸製作や手織り体験を行っています。

本場結城紬



ユネスコ無形文化遺産に登録

お土産

ゆでまんじゅう



お土産

観光カレンダー	
2月下旬	ゆうき物産まつり
4月上旬	結城さくらめぐり
7月中旬	結城夏祭り
10月下旬	祭りゆうき
11月中旬	きものday結城

下妻市

SHIMOTsuma City

■概要／人口：**41,768人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**1,348,200人**（令和3年）

■由来／地名の由来には諸説あるようですが、承平5年（935）の『和名抄』に歴史上はじめて「しもつま」と記されました。現在の市名「下妻」と漢字になったのは、鎌倉時代以降といわれています。

■市の花／菊
木／松

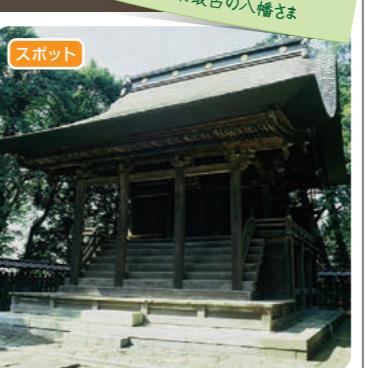


東に小貝川、西に鬼怒川が流れ、その間に市街地は北から伸びる洪積台地の末端となっています。小貝川沿岸の低地は「万葉集」に読まれた鳥羽の淡海跡で、水田地帯となっています。主な観光スポットは、茨城百景に選定されている「砂沼」や関東最古の八幡さまの大宝八幡宮などがあります。また、鬼怒川や小貝川沿いでは水辺に親しむイベントが開催され、水と緑に親しむ環境が整っています。そして、下妻市は県内有数の梨の产地。若手有志が生み出した品種には、甘くてみずみずしい「甘熟梨」などがあります。

観光カレンダー

4月上旬	多賀谷時代まつり
5月中旬	花とれあいまつり/鬼怒川流域交流Eボート大会
5月下旬	小貝川フラワーフェスティバル
8月上旬	下妻まつり(千人おどり・砂沼の花火大会)
10月中旬	下妻砂沼フェスティバル

大宝八幡宮



関東最古の八幡さま

大宝元年(701)、藤原時忠公が筑紫(つくし)の宇佐神宮を勧請創建したのが始まりです。天台宗の古い経文の奥書に「治承三年(1179)己亥七月二十二日の未時書了於常陸州下津間八幡宮書了兼智」とあるため、平安末期にはすでに八幡信仰が盛行していたことが分かります。「吾妻鏡(あづまかがみ)」に下妻宮(しもつまのみや)と記され、文治5年(1189)、奥州征伐達成の際、源頼朝公が鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請し摂社若宮八幡宮を創建されました。

さん歩の駅サン・SUNさぬま



砂沼の景観を活かした観光拠点

スポット

ビアスパークしもつま



小島草庵跡



スポット

親鸞聖人が越後流罪と滞留7年の後、建保2年(1214)、妻子を伴って常陸国に入り最初に居住したのが、小島草庵といわれています。草庵跡には「四体仏」と呼ぶ五輪塔と「稻田恋しの銀杏」の大樹があります。

江連用水旧溝「宮裏両樋」



スポット

鬼怒川流域交流Eボート大会



下妻甘熟梨



県内有数の梨の产地である下妻市のオリジナルブランド梨。地元若手生産者が土づくりから圃場を見直し、梨づくりを再構築。通常115日前後で収穫するところを125日前後まで樹熟させてから収穫します。梨は高血圧や便秘にも効果があることに着目。健康にも良いことをPRし、規格外の梨で関連商品として「梨のリキュール」や「下妻甘熟梨のフィナンシェ」といったお菓子にも加工販売されています。

下妻市のオリジナルブランド梨



WaiWai Dome Shimoizumi is a multi-purpose sports and recreation facility, featuring a skateboard park, roller skating, and other facilities, available for various uses.

県北エリア

県央エリア

県南エリア

県西エリア

74

75

常総市

JOSO City

■概要／人口：**59,711人**（令和5年1月時点）

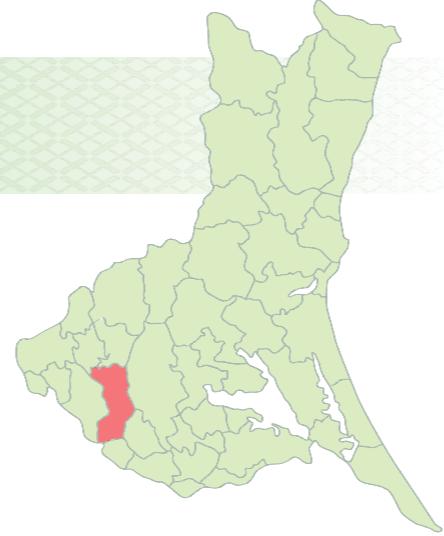
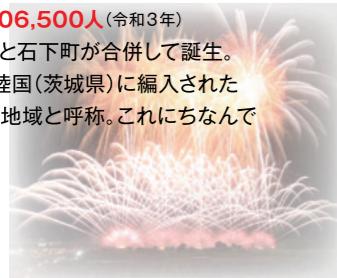
年間観光入込客数：**106,500人**（令和3年）

■由来／平成18年に水海道市と石下町が合併して誕生。旧下総国の北部が常陸国（茨城県）に編入された地域であるため、常総地域と呼称。これにちなんで常総市と命名。

■市の花／サクラ

木／カシ

鳥／ウグイス



茨城県の南西部、都心から55km圏内に位置しており、東はつくば市・つくばみらい市、西は坂東市、南は守谷市、北は八千代町・下妻市にそれぞれ接しています。気候は太平洋型の気候であり、四季を通じて穏やかです。中央部を貫流する鬼怒川が市のシンボルで、江戸時代を通してその水運により発展した地域です。カシなどの照葉樹が自然林を形成し、屋敷林として防風・防災のために生垣として利用されている光景がみられます。

観光カレンダー

5月中旬	常総千姫まつり
8月15日	常総将門まつり
9月中旬	大塙戸のからくり綱火
10月中旬	常総きぬ川花火大会
未定	常総ふるさとまつり

弘経寺

徳川家康の孫「千姫(天樹院)」の菩提寺として有名。遺骨を納めた墓をはじめ、姿絵や袈裟など愛用の品々が保存されています。花の寺としても有名で春は桜、秋は曼珠沙華(ヒガンバナ)が境内を彩ります。



千姫の遺愛の品々を保存

水海道風土博物館 坂野家住宅



スポット

豊田城(地域交流センター)



スポット

主屋と表門(薬医門)が国の重要文化財に指定されています。主屋の離れとして造られた書院(月波楼)は、大正期の近代和風建築として貴重です。平成13年から水海道風土博物館として一般公開しています。

長塚節の生家



長塚節は、正岡子規の門下生アラギ派の代表歌人で、農民文学の不朽の名作小説「土」の作者です。生家は、茨城県の史跡に指定されており、書院のみ見学ができます。

常総きぬ川花火大会



常総市の夏の風物詩として市民から長年親しまれています。平成20年から名称を現在の「常総きぬ川花火大会」と改称し開催しています。1万発の花火は圧巻です。

常総千姫まつり



常総市の心意気をまつりという手段で広く県内外にアピールし、地域の活性化を目的に始まりました。千姫のお墓が常総市の弘経寺にあることから、水海道千姫まつりと同日に弘経寺では天樹祭を開催。観光大使千姫さまが墓参りに訪れます。時代衣装に身を包んだ女性主体の一歩がまつり会場内を回遊します。

地酒



常総市の日本酒

お土産

せんべい



お土産

煎餅店も数多くあり、桜井煎餅店は、天日乾燥した生地を丹念に焼き上げており、しょう油の香ばしさがたまらないシンプルな一品。本橋煎餅は、せんべい一筋80年。米の仕入れから製粉、生地づくり、焼き上げまで一貫して行い、店先で一枚一枚丁寧に炭火で焼き上げています。お店によって味が違うので、それぞれの味が楽しめます。

筑西市

CHIKUSEI City

■概要／人口：**98,967人**（令和5年1月時点）

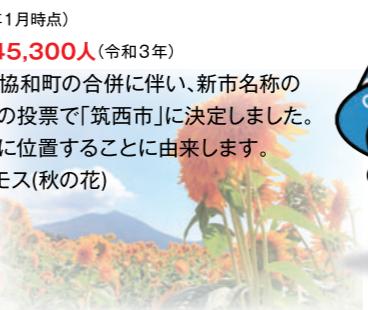
年間観光入込客数：**1,145,300人**（令和3年）

■由来／下館市・関城町・明野町・協和町の合併に伴い、新市名称の公募を実施し、協議会での投票で「筑西市」に決定しました。「筑西」は、筑波山の西側に位置することに由来します。

■市の花／梨の花(春の花)、コスモス(秋の花)

木／さくら

鳥／つばめ



茨城県の南西部に位置し、北は栃木県と接しています。鬼怒川・小貝川・勤行川が南北に流れる肥沃な田園地帯が広がり、稲作のほかに、梨、こだますいか、トマト、いちご、常陸秋そばなどの栽培も盛んです。また、JR東日本、真岡鐵道、関東鐵道の3鉄道が走る交通の要衝として栄え、下館駅周辺には日本近代陶芸の祖である板谷波山の生家や蔵造りの商家など数々の史跡や歴史が残されています。

観光カレンダー

2月14日前後	ダイヤモンド筑波
7月下旬	下館祇園まつり
8月下旬～9月上旬	あけのひまわりフェスティバル
8月下旬または9月上旬	どすこいペア
10月中旬	ちくせい花火大会
10月28日前後	ダイヤモンド筑波
12月上旬	小栗判官まつり

道の駅グランテラス筑西



2019年7月、茨城県内14か所目の道の駅としてオープン。北関東最大級の広さを誇り、複合型「ハイブリッド道の駅」として3世代で楽しめる施設。BBQ施設やドッグラン、カフェにグルメに直売所のはかキッズスペースなども充実しています。また、屋外ステージや芝生広場では様々なイベントを実施。開放的なスペースで筑波山を望みながらみんなが楽しめる道の駅です。

板谷波山記念館



スポット

日本近代陶芸の祖である板谷波山の足跡を伝える記念館。東京都田端の工房で実際に使われていた窯やロクロ台、様々な道具など貴重な展示品を見ることができます。

母子島遊水地



スポット

「筑波山ベストビューポイント」に選定された人気のスポット。2月中旬と10月下旬の年2回、筑波山山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を見ることができます、多くの写真爱好者が集まります。

下館祇園まつり



羽黒神社と下館駅前を中心に、4日間に渡って行われる茨城県内屈指の夏祭りです。100年以上もの歴史を持つ明治神輿、相殿神・玉依姫の女子神輿、毎年担ぎ出される神輿としては日本最大級の重量を誇る平成神輿の他、30数基の子供神輿の渡御が行われます。最終日の早朝には、明治神輿を川に担ぎ入れる「川渡御」の勇壮な光景も楽しめます。

どすこいペア



イベント

大相撲土俵で間近で見ることができる貴重なイベント。会場にはたくさんのお店がならび、朝から晩まで様々な催しが行われます。オリジナル梨カレー・ちゃんこ等の販売もあります。

小栗判官まつり



イベント

中世の「小栗判官伝説」を再現する平成元年に始まった祭り。華麗な戦国絵巻を思わせる武者行列で、馬にまたがった小栗判官が総勢約200名の武者を引き連れ新治駅前を練り歩きます。

ちくせい花火大会



令和4年からはじまった秋のビックイベント。全編音楽付き、様々な趣向を凝らした演出に合わせ、約2万発の花火が打ち上がる圧倒的花火エンターテイメントです！見通しが良く、360度どこからも圧巻の花火を見るることができます。

あけのひまわりフェスティバル



イベント

名峰・筑波山をバックに「東北八重ひまわり」約100万本が咲き誇ります。この品種は種の部分まで花びらで覆われた珍しいもので、ゴッホの「ひまわり」を彷彿とさせます。ひまわり色に染まる絶景をぜひご覧ください。

坂東市

BANDO City

■概要／人口：**52,639人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**277,100人**（令和3年）

■由来／新市名称を公募したところ、新市名称候補10点の中から「坂東市」と命名。市に沿って流れる利根川の愛称・坂東太郎に由来します。

■市の花／チャノハナ

木／ケヤキ
鳥／ウグイス



将門くん

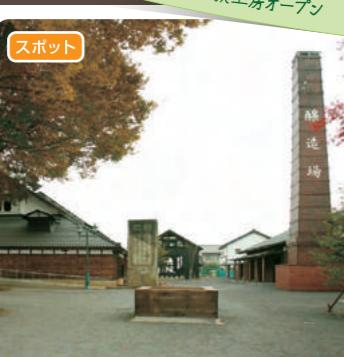


茨城県の南西部に位置し、総面積は県土の約2.0%を占めており、区域は東西約12kmで、市全域が首都圏近郊整備地帯に指定されています。自然環境は、南西に利根川、南側に飯沼川、東側に西仁連川などの河川が流れています。また、菅生沼があり、野鳥や昆虫などが生息する貴重な水辺が残されています。また、ねぎやレタス、トマト、白菜などが特産品としてあげられます。江戸時代初期から栽培が始まった「さしま茶」は香り豊かなコクのある銘茶として全国に知られています。

観光カレンダー

4月上旬	坂東市逆井城まつり
7月第4金・土曜日	岩井の夏まつり
8月第1土曜日	さしまの夏まつり
11月第2日曜日	坂東市将門まつり

観光交流センター「秀緑」



旧酒造の大塚酒造を改修し、平成28年11月にグランドオープンしました。施設内には、ガラス・工芸・木工の工房があり、製作体験をしながら学ぶことができます。本蔵・母屋が国の文化財に指定されています。

坂東市に体験工房オープン

スポット

ミュージアムパーク 茨城県自然博物館



生命の誕生から地元茨城の環境、宇宙の進化まで、自然の成り立ちが分かりやすく体験できる見どころ満載の博物館。隕石や恐竜化石などの実験標本や、ジオラマを映像によりわかりやすく展示しています。平成29年3月18日には、動く恐竜がリニューアルされ、最新の情報を盛り込んだ新しい展示を楽しめます。野外施設にも自然が多く、体験しながら自然との共生を学べる施設です。

動く恐竜リニューアルオープン!

スポット

平将門



今から1100年前、坂東は未開の地でした。その荒地に農民たちが取り組んだのが平将門公であったと伝えられています。延命院には、胴塚があり、顕彰碑と東京大手町の首塚より送られた石塔婆が建てられています。

平将門めかりの地のひとつ

スポット

菅生沼



県内最大級の自然環境保護区域に指定されている沼。冬季には約300羽のコハクチョウが飛来し、冬を越すために過ごします。

コハクチョウが飛来する姿は圧巻

スポット

逆井城跡公園



スポット

坂東市将門まつり



イベント

坂東市逆井城まつり



イベント

さしま茶



グルメ

逆井城は今から400年以上前の戦国時代末期に後北条氏の関東進出拠点として築城されました。現在もその外堀と土塁が残り、櫓門、橋、堀、主殿、二層櫓は復元され公園になっています。

将門まつりは、郷土の英雄「平将門公」の勇姿をよみがえらせようと、昭和47年に始まりました。國王神社の杉並木を、総勢100名の武者が神田明神将門太鼓の勇壮な響きのなか進みます。

猿島ばやし(県指定無形民俗文化財)などの郷土芸能の演奏、伝承に基づいた「出陣式」や迫力満点の「火縄錆演武」など、様々な催しが逆井城跡公園にて行われます。

桜川市

SAKURAGAWA City

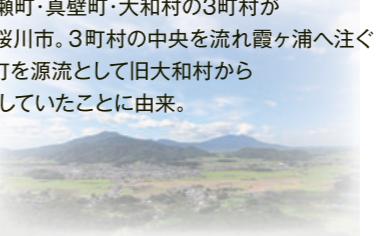
■概要／人口：**37,428人**（令和5年1月時点）

年間観光動員数：**146,400人**（令和3年）

■由来／平成17年に、旧岩瀬町・真壁町・大和村の3町村が合併して誕生した桜川市。3町村の中央を流れ霞ヶ浦へ注ぐ「桜川」が、旧岩瀬町を源流として旧大和村から旧真壁町へと南下していたことに由来。

■市の花／ヤマユリ

木／サクラ
鳥／ウグイス



真壁・大和地区を南北に連なる筑波、足尾、加波山の山塊と、北に栃木県との境を接する高峯、雨巻、富谷山を背景に、山の景色と里山の光景が織りなす自然があふれる地勢が魅力となっています。地域で採出されるみかげ石を利用した石材業も発展。古くから山岳信仰の対象となった山々があり、行基を開基とした富谷観音、マダラ鬼神祭が行われる雨引山樂法寺、禪定の山・加波山神社、椎尾山の中腹にある薬王院などのように国などの重要文化財に指定されている建造物も多く残されています。

観光カレンダー

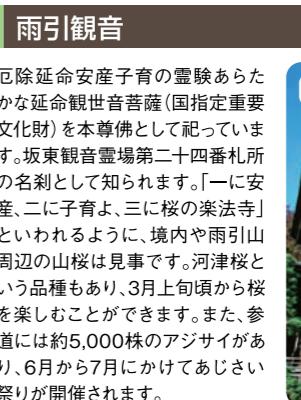
2月4日～3月3日	真壁ひなまつり
3月上旬～4月下旬	桜川の桜まつり
6月上旬	大和の石まつり
6月10日～7月20日	あじさい祭
7月23日～26日	真壁祇園祭

桜川のサクラ



世阿弥の謡曲「桜川」の舞台にもなった地。11種類の山桜が固有種となっています。その一部が名勝指定区域になっている機部桜川公園では、約700本の山桜やソメイヨシノが見られます。参道が名勝指定区域の桜川機部稻村神社では、地元のボランティアによる桜の案内が行われています。また、この神社には紀貫之の詠んだ歌碑があります。

雨引観音



厄除延命安産子育の靈験あらたかな延命觀世音菩薩(国指定重要文化財)を本尊として祀っています。坂東觀音靈場第二十四番札所の名刹として知られます。「一に安産、二に予育よ、三に桜の樂法寺」といわれるよう、境内や雨引山周辺の山桜は見事です。河津桜という品種もあり、3月上旬頃から桜を楽しむことができます。また、参道には約5,000株のアジサイがあり、6月から7月にかけてあじさい祭りが開催されます。



安産子育での靈場として広く知られる

スポット

真壁の町並み



真壁の町割りは、戦国時代末期の真壁氏時代に形成され、江戸時代初期の浅野氏時代に完成したといわれています。現在も約三百数十棟の見世蔵や土蔵、門などの歴史的建築物がその町割りとともに息づいています。



高峯の山桜

市内の里山には約55万本の山桜が自生しており、特に北部の高峯は層別の群生地として注目を集めています。野生の桜は一本一本違子が違うため、花の色や形、新芽の色、咲く時期が異なります。こうした多様な山桜の花や新芽の色が、落葉広葉樹の新緑とともに作り出す美しい景観が、桜川市の春を彩ります。



真壁石

関東の名山、筑波・加波・足尾の三山は良質な花崗岩を産出し、そのふもとにある真壁地区や大和地区の一帯は昔から石材の産地として知られてきました。その良質な花崗岩が真壁石です。



地酒

良質な水と米を使い、各酒蔵がそれぞれこだわりを持って酒造りを行っています。どの蔵でも試飲が可能で、飲み比べをすることもできるのが嬉しいポイント。小売店も多いのも特徴です。

真壁のひなまつり



「寒い中、真壁に来てくれる人をもてなそう」という住民の声から始まった真壁のひなまつり。開催当時にひな人形を飾っていたのは21軒でしたが、現在は160軒ほどの民家や商家がお雛様を飾ります。見世蔵、土蔵、門などが軒を連ねる真壁の町並みと、その歴史ある建物の中に代々伝わるお雛様が飾られる風景は懐かしいぬくもりに溢れています。



こだますいか

桜川市は、冬から春先にかけて豊富な日照量をいかした「こだますいか」の産地です。県の銘柄産地に指定されている「こだますいか」は、甘くて美味しいと高い評価を受けています。



酒寄みかん

桜川市は、温州みかんの北限地。霜が降ることが少ないといわれる温暖な筑波山の斜面を利用して、10月下旬から12月に酒寄地区でみかん園がオープンします。コクのある甘酸っぱい味をお楽しみください。

県北エリア

県央エリア

県西エリア

県北エリア

県西エリア

県央エリア

県西エリア

八千代町

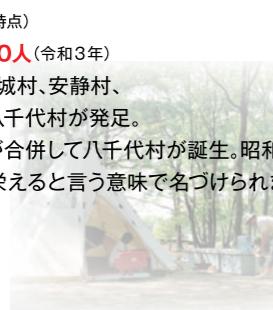
YACHIYO Town

■概要／人口：**21,187人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**33,200人**（令和3年）

■由来／昭和30年に西豊田村、中結城村、安静村、下結城村、川西村が合併し八千代村が発足。このとき5村と三和村成田が合併して八千代村が誕生。昭和47年町制施行。千代に八千代に栄えると言う意味で名づけられました。

■町の花／菊
木／けやき
鳥／ひばり



ハナマル(はなまる)



関東平野のほぼ中央に位置し、町域全体はほとんどが平坦地です。東に下妻市との境となる鬼怒川が流れ、中央に山川が流れ、町の東半分は水田、西側は畠地が広がっています。県内でも有数の園芸産地であり、中でも白菜は全国第1位の生産量を誇ります。メロンの栽培も盛んで、梨は県の銘柄産地指定を受けています。自然林を生かし、樹木と親しめる八千代グリーンビレッジ憩遊館などの観光施設があります。

観光カレンダー

4月上旬	桜まつり
7月下旬	八千代町夏まつり
11月下旬	八千代の秋まつり

八千代グリーンビレッジ

八千代グリーンビレッジは、自然林を活かした約8haの敷地を持つ農村公園で、公園内には天然温泉「やちよ乃湯」、農産物直売所、レストランが併設された「憩遊館」や、宿泊コテージや常設のバーベキュー場を擁するキャンプ場、芝と林間2種類のコースを持つグラウンドゴルフ場があります。特に天然温泉「やちよ乃湯」は、神経痛、切り傷、やけど、慢性婦人病などに効果があると、大変評判が良い温泉です。



大自然を満喫できる施設



鹿嶋神社



鹿嶋神社の創建は大同元年(806)、藤原音麿が鹿島神宮の分靈を勧請したのが始まりと伝えられています。建物全体に精巧な彫刻が施され、当時の神社建築のすばらしさを見るることができます。町指定有形文化財。



尾崎前山遺跡製鉄炉跡地

製鉄炉等が発見された台地南斜面の部分292m²の範囲が指定され、現地には、古代の製鉄炉が復元されています。町指定史跡。

旬菜やちよ



地元で採れた新鮮野菜、果物、米、卵、加工品などが並んでいます。メロン・すいか・梨祭り、そして米祭りなどを開催して地元農産物をPRして、消費拡大をしています。

新長谷寺(八町観音)



貞永元年(1232)に結城朝光によって創建されたといわれています。観音堂に安置される木造十一面觀音立像は、茨城県の有形文化財に指定されています。

佛性寺



栗山の古堂と呼ばれる地にあったものが、江戸時代に現在地に移建されたと伝えられています。観音堂に安置される木心乾漆如来形坐像は茨城県の有形文化財に指定されています。

八千代町夏まつり



町内各所から集まる山車と神輿の響演をはじめ、ソーラン踊り、ひょっこ、フラダンス、阿波踊り、八千代おどりなど、全世代の町民が一つになって盛り上げます。

東落田天満社



約200m続く桜並木は必見



学業成就・子育て・無病息災の神である菅原道真公を祀っており、境内は自然豊かで、県の緑地環境保全地域に指定されています。裏参道には約200m、40本の桜が立ち並び、桜のトンネルとなっています。

筑波流源湖



水面積が1万坪を超える茨城県で最大のヘラブナ管理釣り場です。浅瀬から深場まで変化に富んだ釣りがお楽しみいただけます。お好みの場所を見つけていただき、ごゆっくりとお楽しみください。

五霞町

GOKA Town

■概要／人口：**8,112人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**610,900人**（令和3年）

■由来／江戸時代に5つの集落があり、5カ所の村と呼ばれたことから五霞となったといわれており、また、5本の川が流れおり、霞が出たことに由来するともいわれています。

■町の花／ばら
木／梅
鳥／ひばり



五霞町は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端に位置し、首都圏から約50km圏内にあります。東は江戸川を隔てて千葉県。西は、権現堂川および中川を隔てて埼玉県。北東部に流れる利根川を挟んで古河市・境町に接し、四方を河川に囲まれた水と緑豊かな街です。町内のはば中央には新4号国道が縦断し、圏央道(五霞IC)が開設され、利便性が高きました。川にまつわる歴史や縄文時代に端を発する文化財、自然風景や五霞町産の食材などにふれ、ゆっくり五霞町の魅力を満喫してみてください。

観光カレンダー

3月下旬~4月上旬	桜(茨城県ヘルスロード)
3月下旬~4月上旬	OHANAMIごかマルシェ
6月~7月	ハクレンのジャンプ
9月中旬	ごかマルシェ(利根川大花火大会)
11月上旬	五霞ふれあい祭り(五霞町健康福祉まつり)
12月下旬	クリスマスマイベ

Street sports park GOKA



令和4年10月にリニューアル

道の駅ごかの北側にある調整池内に整備されたスケートボードエリア、スラックラインエリア、バスケットボールエリア(3×3)が誰でも無料で利用できます。



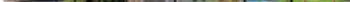
工場見学

キューピー(株)五霞工場/マヨネーズのヒミツについての説明、マヨネーズ・ドレッシングの製造ラインや割卵の工程を案内してくれます。



(株)ヤクルト本社茨城工場/小さなお子さまから大人の方までヤクルトのおいしさや体にいい秘密、ヤクルトの歴史などを工場見学をとおして楽しみながら学べます。

(株)染めQテクノロジイ/会社見学や「染めQエアゾール」による作品作り体験をとおして、「不思議・ワクワク・感動」を体験できます。



ラジコンパーク Goka



誰でも無料で利用できる屋外のラジコンコースとなっています。初心者コース、オフロードカー用コース、ドリフトコース、オンロードコースの4つがあります。



利根川のハクレンジャンプ



ハクレンは中国原産のコイ科の淡水魚で、ハクレンの仲間にはソウギョ・オアオウ・コクレンがいます。この4種の魚は、いずれも体長が1mほどになり、毎年産卵期の6月～7月頃に見られる、巨大な魚体が何十何百と競うように飛び跳ねる様は圧巻です。日本でハクレンの自然繁殖が確認できるのは唯一、利根川だけといわれています。

五霞ふれあい祭り・五霞町健康福祉まつり



「食・健康・福祉」をテーマに、見て・食べて・楽しめる参加体験型のお祭りで、住民相互のふれあいと地域活性化を目的として毎年秋に開催しているイベントです。



五霞米みそ



五霞町産食材を使用したジェラートをカップに詰めました。現在8種類(かぼちゃ・コシヒカリ・さつまいも・はちみつレモン・どうもろこし・ミルク・あずきミルク・にんじん)を道の駅ごかで販売しています。五霞町産食材にこだわり、旬の時々に製造しているジェラートは、カップのためお持ち帰りやお土産にもおすすめです。



ジェラート

五霞町産食材を使用したジェラートをカップに詰めました。現在8種類(かぼちゃ・コシヒカリ・さつまいも・はちみつレモン・どうもろこし・ミルク・あずきミルク・にんじん)を道の駅ごかで販売しています。五霞町産食材にこだわり、旬の時々に製造しているジェラートは、カップのためお持ち帰りやお土産にもおすすめです。



境町

SAKAI Town

■概要／人口：**23,930人**（令和5年1月時点）

年間観光入込客数：**398,400人**（令和3年）

■由来／江戸時代に誕生。境界線を意味する境を町名に使用。

■町の花／カナン

木／もくせい



五霞町、千葉県野田市と利根川を挟んで相対し、水と緑の豊かな田園都市の景観を誇っています。雄大な利根川沿いには堤防を利用した利根渡良瀬サイクリングコースが設けられ、サイクリングやジョギング、ウォーキングなどを楽しむことができます。境河岸から見る富士山は、国土交通省の「関東の富士見百景」にも選定されています。町内には縄文時代などの古墳や貝塚などの古代の遺跡も多く残されており、歴史民俗資料館では、町の歴史や風習などを知ることができます。

観光カレンダー

1月上旬	境達磨市
4月中旬	さかい河岸フェスティバル
7月下旬	歩行者天国祭り
8月	利根川いかだレース選手権
9月中旬	利根川大花火大会

利根川大花火大会

打ち上げ数約30,000発と日本最大級の花火大会です。4大花火師による尺玉やスターイン、音楽花火は感動です。



モンテネグロ会館



隈研吾氏が設計した本館は、1937年にアルゼンチンのモンテネグロ臨時大使の援助により建設。2019年に建替えをし、チャレンジショップなどで活用しています。

沖縄県国頭村公設市場



「道の駅さかい」が友好交流協定を締結している沖縄県国頭村「道の駅ゆいゆい国頭」のアンテナショップ「沖縄県国頭村公設市場」がオープン。

S-start up



チャレンジキッチン2店舗、シェアオフィス2部屋を備えた、境町創業支援センター「S-start up」。創業第1号店は、鶴そば「山田屋」。

S-gallery



境町にゆかりのある日本画家「肅粲寶（しゅくさんぽう）」の作品などを展示する美術館。設計は隈研吾建築都市設計事務所。

さかいサンド



境町産の小麦粉「ゆめかおり」や地元産野菜等を使用し、境町の美味しいものを丸ごとサンドしました。具だくさんのボリューム満点サンドは毎朝手づくり。なくなり次第終了なのでお早めに！

富士見百景



利根川河川敷にある境河岸は、「富士山と城と川」を撮影できる場所として、関東の富士見百景の一つとして指定を受けた絶好の撮影ポイントです。

観光情報発信施設



町と株式会社坂東太郎の連携により「8代葵カフェハワイ境店」が出店。店内には地場産品の直売所やハワイ産品の直売所、移住定住情報などを提供する街の魅力PRブースも備えています。

道の駅さかい SHED



厳選された食料品や調味料、調理器具などを販売しています。こだわりを形にした空間で、お食事やお買い物をお楽しみください。

SAKATEPPAN by Wolfgang Zwiener



北関東初！ウルフギャングが境町に出店！地元で採れた新鮮野菜はもちろん、厳選された食材を贅沢に使用。一口食べれば思わず笑みが溢れるような、鮮烈なメニューをご用意しています。

県西地域周遊コース



1 ミュージアムパーク 茨城県自然博物館

<坂東市>



2 古河の七福カレーめん <古河市>



3 鷹見泉石記念館 <古河市>



4 つむぎの館 <結城市>



茨城県の豆知識⑤

茨城の地酒



茨城には個性ある地酒が豊富にあり、35の酒蔵を有する関東屈指の酒どころです。茨城の酒造用水は、5つの水系に分類できます。八溝山麓を源に日立市で太平洋に注ぐ久慈川水系、那須岳を源にひたちなか市と大洗町の間で太平洋に注ぐ那珂川水系。筑波山を中心として笠間・岩瀬盆地以南の筑波山水系。県南部の利根川水系。さらに、利根川の支流ながら、県西の酒造り地域をめぐる鬼怒川水系の5つです。

独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催による「令和4酒造年度 全国新酒鑑評会」において、茨城県では右表のとおり10点が入賞酒に選ばれ、うち4点が金賞を獲得しました。

☆=金賞酒

酒造場名	銘柄	市町村名
(資)浦里酒造店	☆霧筑波	つくば市
稲葉酒造	すてら	つくば市
青木酒造(株)	☆御慶事	古河市
(株)武勇	武勇	結城市
明利酒類(株)	☆副將軍	水戸市
木内酒造(資)	菊盛	那珂市
(資)廣瀬商店	☆白菊	石岡市
(資)椎名酒造店	富久心	日立市
森島酒造(株)	富士大觀	日立市
野村醸造(株)	紬美人	常総市

(※令和5年5月現在)

おもてなし レベルアップに向けて 宿泊施設紹介

いばらき観光マイスター・同S級がいる宿泊施設を紹介します。(p.88~89では、茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合に加盟している宿泊施設を一覧で紹介しています。)

①うのしまヴィラ

「海辺のセカンドハウス」がキャッチフレーズ。「日本の小宿2018」10選の宿。美しい日の出とプライベートビーチながらの海岸が自慢です。地元食材を大切にしたからだにやさしいお料理とともに、観光マイスターS級の館主がお出迎えいたします。

■住所／日立市東滑川町5-10-1
■TEL／0294-42-4404
<https://www.unoshima-villa.com/>



②ホテル テラス ザ スクエア日立

海と山、水と緑、美しい自然に恵まれた日立。JR日立駅から徒歩2分。ワンランク上のおもてなしを実現するために設えた素敵な空間は、ビジネスユースはもちろん、日立エリアの観光拠点にも最適です。

■住所／日立市幸町1-20-3
■TEL／0294-22-5531
<https://www.square-hitachi.jp/>



③ホテル天地閣

創業90年の歴史と伝統を持つ老舗。駅近く、幸せ近くホテル天地閣です。日立駅前で太平洋を臨む客室は、まさに好立地のリゾート都市ホテルです。和洋中の料理、地場産の料理を提供、ご満足いただいてます。婚礼や宴会、宿泊等隨時承ります。

■住所／日立市旭町2-6-13
■TEL／0294-22-0188
<http://www.tenchikaku.co.jp/>



④ひたち湯海の宿 はぎ屋

創業140年。雄大な日の出と潮騒、180度に広がる太平洋のパノラマ。地魚、地野菜、常陸牛など茨城の「美味しい」にこだわった料理。海の恵みと太古のロマンがたっぷり詰まった「カンブリアの湯」に浸かって湯ったり滞在してください。

■住所／日立市水木町1-1-15
■TEL／0294-52-2522
<https://www.hagi-ya.com/>



⑤茨城県立国民宿舎「鵜の岬」

美しい砂浜と豊かな緑に囲まれた伊勢崎国民休養地内にある公共の宿です。太平洋を一望できる展望温泉旬の素材を使ったこだわりの料理をお楽しみください。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

■住所／日立市十王町伊師640
■TEL／0294-39-2202
<https://www.unomisaki.com/>



⑥銚子屋旅館

創業230年。佐竹氏460年の旧城下町、水戸光圀公が隠居所とした西山御殿のある常陸太田ずっと旅館を営んでおりまます。和風建築の温かさを感じて頂き、心も身体も存分に癒して頂ける「おもてなし」とノスタルジックな街並みには日本の心を感じることが出来るでしょう。

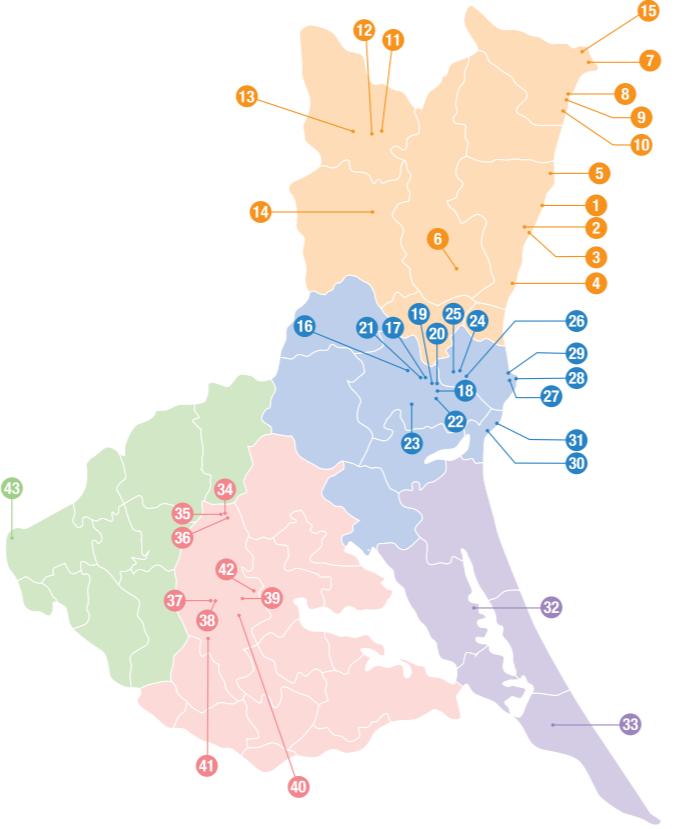
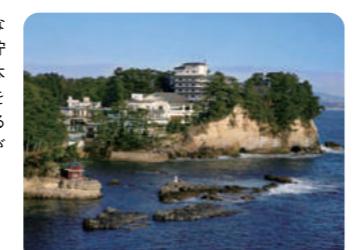
■住所／常陸太田市西一町2339
■TEL／0294-72-0030
<https://cyoshiya.com/>



⑦五浦観光ホテル

天心が想い大觀が描いた五浦海岸。今なお芸術家を魅了する日本美術の聖地に併む横山大観記念館併設の宿。一幅の日本画のような海の景色に溶け込む一体感を満喫できる露天風呂は評論家も絶賛する源泉かけ流し天然温泉。冬期は鮫鱈鍋が絶品。

■住所／北茨城市大津町722
■TEL／0293-46-1111
<https://www.izura.net/>



⑧二ッ島観光ホテル

目の前の太平洋とシンボル「二ッ島」を全室から眺めることができるオーシャンビューと常磐沖の魚介を使用した海鮮料理の宿。ライトアップされた二ッ島の幻想的な景色を展望露天風呂からお楽しみください。

■住所／北茨城市磯原町磯原2552
■TEL／0293-42-0183
<https://www.futatsushima.com/>



⑨としまや月浜の湯

海を感じながら湯を楽しむ贅沢。広い空間で過ごす特別な休日。笑顔でお越し頂き、笑顔でお帰り頂けるよう、「優しさと思いやりの溢れる旅館造り」を目指とし、これまで以上にご支持いただける宿を目指して参ります。

■住所／北茨城市磯原町磯原200-3
■TEL／0293-43-1311
<https://www.tukihama.co.jp/>



⑩割烹旅館さらしな

御旅行やビジネスに便利なアクセスで楽しいレジャーの拠点などとして御利用下さい。新鮮な海の幸を中心としたお料理と温かなおもてなしは短期のお泊りの方、長期のお泊りの方にもご満足いただけます。

■住所／北茨城市磯原町本町3-3-22
■TEL／0293-42-1159
<https://kitaiba-sarashina.jp/>



⑪滝味の宿 豊年万作

袋田の滝に最も近いホテルのひとつ。茨城の奥座敷と称される大子町・袋田の豊かな自然の下、人情味あふれるあたたかなおもてなしをモットーに、旅の楽しみをお手伝いします。温泉と共に羽をのばしてのんびりと…。

■住所／大子町袋田169-3
■TEL／0295-72-3011
<http://www.fukuroda.co.jp/>



⑫袋田温泉 思い出浪漫館

平安時代から続く名湯袋田温泉の源泉を引く当館。女性に喜ばれる美肌の湯として有名。また、奥久慈の美味しさを詰め込んだ料理も自慢。スタッフ全員がお客様の心に寄り添い、「人と人との絆」を大切にしています。

■住所／大子町袋田978
■TEL／0570-200-418
<https://www.roman-kan.jp/>



⑬丘の上のゲストハウス「Daigo house」

大子町中心商店街が一望できる丘の上にあるゲストハウスです。ファミリールーム～シングルと、様々な用途に使えるお部屋をご用意しており、JR水郡線からのアクセスも良く、ビジネスはもちろん旅の寄り道としてもご利用ください。

■住所／大子町北田町577-5
■TEL／0295-76-8443
<https://daigohouse.com/>



⑭ホテル鮎亭

清流久慈川と奥久慈の山々に囲まれた閑静な宿。鮎の里ならではの鮎料理をぜひ堪能ください。

■住所／常陸大宮市小賀4-2
■TEL／0295-57-2341
<https://ayutei.net/>



⑮まるたか観光旅館

風光明媚な平潟港まで徒歩5分。鮮魚仲買「まるたか産」を経営しており、冬の味覚あんこう鍋をはじめ、四季折々の旬の磯料理を楽しめます。総合体育館、武道館、卓球場等スポーツ施設も充実。社会人や学生の研修・スポーツ合宿も可能です。

■住所／北茨城市平潟町243
■TEL／0293-46-0527
<https://marutaka-kanko.com/>



⑯ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸

水戸駅よりバスで15分、大工町バス停目の前にございます。偕楽園までは徒歩圏内で朝の散策もおすすめです。水戸市民会館までは徒歩10分程度ですのでイベントにお越しの際にも便利です。館内には宴会場・チャペル・レストランを備え、あらゆるシーンで活用出来ます。(リッチモンドホテルズ提携ホテル)

■住所／水戸市大工町1-2-1
■TEL／029-303-5111
<https://westhills-mito.jp/>



⑰水戸京成ホテル

JR水戸駅から徒歩3分の抜群のロケーション。旅館と受け継がれてきた老舗ならではのおもてなしの心。都市型ホテルに求められる機能性を満たした空間とデュベスタイルの客室で至福の時間をお過ごしください。

■住所／水戸市三の丸1-4-73
■TEL／029-226-3111
<https://www.mito-keiseihotel.com/>



⑱ホテル テラス ザ ガーデン水戸

JR水戸駅南口より直結。ビジネスや観光拠点に便利な都市型総合ホテル。洗練されたバンケットルーム、広めの客室に全室シモンズベッド、宿泊者専用大浴場完備。洗練されたサービスが快適なホテルライフをお約束します。

■住所／水戸市宮町1-7-20
■TEL／029-300-2500
<https://www.hotel-terrace.com/>



⑲水戸三の丸ホテル

JR水戸駅北口より徒歩約2分。50年以上にわたりこの地に根差した当ホテルは2021年にリニューアルオープン。落ち着きの中にも新しさを感じる空間に進化、さらに水戸の魅力に触れることができるホテルへと生まれ変わりました。

■住所／水戸市三の丸2-1-1
■TEL／029-221-3011
<https://www.rio-hotels.co.jp/mito/>



20 ビジネスホテルかもした

水戸駅北口、徒歩3分の利便性の高い立地。ビジネスや観光の拠点に是非ご利用ください。朝食無料サービスをはじめ、コストパフォーマンスで大変にご好評をいただいております。

■住所／水戸市三の丸2-1-29
■TEL／029-231-3900
<https://www.kamoshita.net/>



26 ホテルクリスタルパレス

国営ひたち海浜公園まで車で約15分の距離にあるホテル。レジャーからビジネスまで幅広いお客様のニーズにお応えする快適なご滞在と、笑顔で最高のおもてなしをお届けします。

■住所／ひたちなか市大平町1-22-1
■TEL／029-273-7711
<https://www.hotel-crystal.co.jp/>



21 みまつホテル

水戸駅北口より徒歩4分。ご家族連れでもおひとり様でもOKのT.P.O HOTEL! Wi-Fi全室完備。洋風酒場「ジンジャー」・旬菜しゃぶ処「和亭美菜」の二つのレストランと大宴会場「備楽」和室宴会場「西山」二つの宴会場を併設し、ビジネスにはもちろん観光の拠点としても対応いたしております。

■住所／水戸市宮町2-4-26
■TEL／029-224-3005
<http://www.mimatsu-hotel.co.jp/>



22 プレジデントホテル水戸

水戸市南口徒歩5分の好立地で、観光やショッピング、出張の拠点に最適です。全館無線LAN(Wi-Fi)無料・全室加湿機能付き空気清浄機完備で充実の館内設備と、シングルでも23平米の広々としたお部屋で快適なご滞在を。

■住所／水戸市城南2-2-2
■TEL／029-300-1100
<http://www.president-hotel-mito.co.jp/>



23 水戸プラザホテル

森の中を抜け、エントランスに一歩足を踏み入れた瞬間から、心やすらぐひと時が始まります。一流インテリアデザイナー「J・D・エジソン」の類い稀な感性が創りだした贅沢な空間と調度品の数々が、くつろぎの時間を演出します。

■住所／水戸市千波町2078-1
■TEL／029-305-8111
<https://www.mitoplaza.jp/>



24 テラスイン勝田

JR勝田駅東口すぐ立地する最新設備を備えたスマートホテルです。お客様の声にお応えする20の扉サービスでお迎えします。例えば、ベッドサイズにジュエリーボックス等それともなく気遣いをしました。日頃のやすらぎを提供します。

■住所／ひたちなか市勝田中央1-3
■TEL／029-219-7211
<https://www.terrace-inn.com/>



30 リゾート大洗まつもと

大洗温泉の宿、美しい遠浅の海岸、大洗サンビーチ海水浴場を前に潮風薫る海辺の宿、料理は鹿島灘の地魚を中心に旬・鮮・味にこだわり、冬季のあんこう鍋は美味しいと好評を得ています。温泉はナトリウム塩化物泉なので体の芯まで温まり日々の疲れをリフレッシュして下さい。

■住所／大洗町大賀町64-83
■TEL／029-266-0555
<http://oarai-matsumoto.jp/>



25 ライフイン勝田駅西

勝田駅西口より徒歩1分。ゆったりとした空間のプライベートルームで、快適なひとときをお過ごしいただけます。スタッフ一同“おもてなしの心”でお迎え。ビジネス・レジャーに快適なご宿泊をご提供いたします。

■住所／ひたちなか市武田1118-3
■TEL／029-270-0333
<https://breezbay-group.com/hl-katsuta/>



31 大洗ホテル

雄大な太平洋に抱かれる海辺のリゾートホテル。四季折々で表情を変える、大洗の海が見渡せる大パノラマ。季節に合わせたお料理をご用意いたします。感謝の気持ちとお客様をおもてなしする海辺の休日をお楽しみください。

■住所／大洗町磯浜町6881
■TEL／0570-200-418
<https://www.oarai-hotel.co.jp/>



32 北浦宝来温泉つるるんの湯宿北浦湖畔荘

「心を癒す自然」「地元の豊かな食」「寛ぎの温泉」をご提供しております。地のものをシンプルにした鯉料理を含む郷土料理の品々と「つるるんの湯」&「琥珀色の自家源泉」のpH9.0の良質自家源泉で素敵なお旅時間をお楽しみください。

■住所／行方市山田3969
■TEL／0291-35-0123
<https://kitaura-houraionsen.com/>



33 ホテルマークワンつくば研究学園

TX研究学園駅より徒歩2分。私たちは、ホテルマークワンをご利用いただくすべてのお客様に、安全で清潔な空間を提供し、快適で安らぎのある時間を過ごしていただくため、お客様本位のサービスをご提供いたします。

■住所／つくば市研究学園5-13-5
■TEL／029-875-7272
<http://www.mark-1.jp>



21 みまつホテル

水戸駅北口より徒歩4分。ご家族連れでもおひとり様でもOKのT.P.O HOTEL! Wi-Fi全室完備。洋風酒場「ジンジャー」・旬菜しゃぶ処「和亭美菜」の二つのレストランと大宴会場「備楽」和室宴会場「西山」二つの宴会場を併設し、ビジネスにはもちろん観光の拠点としても対応いたしております。

■住所／水戸市宮町2-4-26
■TEL／029-224-3005
<http://www.mimatsu-hotel.co.jp/>



27 Co-Living & Guesthouse マンシュウヤ

海辺の街、阿字ヶ浦にたたずむ小さなゲストハウス。人と自然と街に出会い、心が豊かになっていきます。

■住所／ひたちなか市磯崎町4625-2
■TEL／029-265-8151
<https://www.chillnn.com/1880e26d0f4337>



22 プレジデントホテル水戸

水戸市南口徒歩5分の好立地で、観光やショッピング、出張の拠点に最適です。全館無線LAN(Wi-Fi)無料・全室加湿機能付き空気清浄機完備で充実の館内設備と、シングルでも23平米の広々としたお部屋で快適なご滞在を。

■住所／水戸市城南2-2-2
■TEL／029-300-1100
<http://www.president-hotel-mito.co.jp/>



28 オーシャンフロント お宿 浜田館

大切な方と海を眺め波の音をゆっくりと聞いて寛ぎたいそんなお客様におすすめです。お食事は 地元漁師、農家から頂く大切な食材を心を込めて調理しご用意致します。カニのスープ・季節のお刺身・あんこう鍋がおすすめです。季節の花々が楽しめる国営ひたち海浜公園より車で5分

■住所／ひたちなか市阿字ヶ浦町4
■TEL／029-265-7211
<http://www.hitachinaka.co.jp/hamadakan/>



23 水戸プラザホテル

森の中を抜け、エントランスに一歩足を踏み入れた瞬間から、心やすらぐひと時が始まります。一流インテリアデザイナー「J・D・エジソン」の類い稀な感性が創りだした贅沢な空間と調度品の数々が、くつろぎの時間を演出します。

■住所／水戸市千波町2078-1
■TEL／029-305-8111
<https://www.mitoplaza.jp/>



29 つるやホテル

当館は太平洋を見渡せる絶好のロケーション。郷土食豊かな活魚料理でおもてなし。冬はあんこう鍋がおすすめ。潮風を感じながらバーベキューもお楽しみいただけます。

■住所／ひたちなか市阿字ヶ浦町2229-20
■TEL／029-265-8322
<https://www.tsuruyahotel.com/>



34 筑波山江戸屋

筑波山の中腹に位置し、筑波山登山やつくば市内研究施設の見学帰りに便利です。江戸時代初期に創業以来、敷地内から湧き出る「杉の水」は、ラウンジでご賞味いただけます。最上階客室は2016年5月に全面リニューアルを行い、幅広い年齢層のお客様に快適に過ごせる宿泊プランを提供します。

■住所／つくば市筑波728
■TEL／029-866-0321
<http://www.tsukubasan.co.jp/>



35 筑波山ホテル 青木屋

眼下に広がる関東平野の絶景が自慢の宿。客室も露天風呂付や、夜景を楽しめる部屋も用意。また、板前が腕を搖るう姿を見ながら食事を楽しめるショーキッチンのある和ダイニングも人気。全社員が笑顔と真心のおもてなしでお迎えします。

■住所／つくば市筑波753-1
■TEL／029-866-0311
<https://aokiya-hotel.com/>



36 筑波山温泉 ホテル一望

鳥のさえずりが心地よい自然豊かな筑波山中腹に立地しております当ホテルで、癒しのひと時をお過ごし下さい。筑波山温泉と料理長が吟味する県産食材を使用した洋風創作会席をお楽しみいただける気取らないカジュアルなホテルです。また、温泉は日帰りでも楽しめる「つくばの湯」を併設しております。

■住所／つくば市筑波64-2
■TEL／029-866-2222
<https://www.ichibou.com/>



37 ホテルルートつくば

明治中期より営業を始め、昭和54年に現在の場所に移りました。つくばの我が家をコンセプトにアットホームな雰囲気でお客様をおもてなしします。地元の旬な食材を使用した手作りのお料理とゆったりとした空間でのんびりお過ごしください。

■住所／つくば市谷田部5650-1
■TEL／029-838-0311
<https://ryokan-umeya.com/>



38 ホテルマークワンつくば研究学園

つくば駅より徒歩2分。私たちは、ホテルマークワンをご利用いただくすべてのお客様に、安全で清潔な空間を提供し、快適で安らぎのある時間を過ごしていただくため、お客様本位のサービスをご提供いたします。

■住所／つくば市研究学園5-13-5
■TEL／029-875-7272
<http://www.mark-1.jp>



39 ホテル日航つくば

つくばエクスプレス「つくば駅」から徒歩2分。ビジネス・観光の拠点としてアクセスに便利なホテルです。地元食材をふんだんに使ったレストランがあり、宴会場では、ディナーショーをはじめ様々なイベントが行われます。

■住所／つくば市吾妻1-1364-1
■TEL／029-852-1112
<https://www.nikko-tsukuba.com>



40 ホテル JAL シティつくば

つくば駅から徒歩8分、つくば国際会議場に隣接したホテルです。シングルを中心とする186室の客室は、ビジネスや出張、国際会議場での宿泊に便利です。

■住所／つくば市竹園2-20-1
■TEL／029-860-7700
<https://www.tsukuba.hoteljalcity.com>



41 旅館梅屋

露天風呂では季節のお楽しみ湯をご用意しております。月替りの自然素材をお風呂に浮かべおり、効能や香りをお楽しみいただけます。

■住所／つくば市花室1145-3
■TEL／029-860-2111
<https://www.route-tsukuba.jp/>



42 ホテル山水

当館は城下町の名残を残す街並みにあり、大正時代初期に造られた日本庭園があるビジネスホテル。栃木、茨城、群馬、埼玉の県境の工業団地へのアクセスも良く、ビジネスの拠点として最適です。また老舗割烹も併設しています。

■住所／古河市中央町1-8-32
■TEL／0280-22-0226
<https://hotelsansui.co.jp/>



茨城県内の宿泊施設

(茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合員)

エリア	旅館・ホテル名	電話
常陸大宮市	ビジネスホテル大みか	0294-53-1221
日立市	日立ホテルクレイン	0294-54-0711
常陸太田市	旅館須賀屋	0294-52-2008
大子町	久慈サンビア日立	0294-53-8000
ひたちなか市	ひたち湯海の宿はざ屋	0294-52-2522
水戸市	多賀ステーションホテル	0294-33-0019
高萩市	ビジネス旅館朝日館	0294-33-0320
北茨城市	ホテル三幸園	0294-33-1357
常陸太田市	旅館千鳥屋	0294-33-0566
大子町	シーサイドホテル東館	0294-33-0030
ひたちなか市	旅館鈴木屋	0294-33-0028
水戸市	旅館東洋館	0294-33-0220
常陸太田市	ホテル永野屋	0294-33-0428
ひたちなか市	いりぼし旅館	0294-33-0023
大子町	民宿第二常作	0294-36-0234
筑西市	ホテル天地閣	0294-22-0188
常陸太田市	ホテルウイングインターナショナル日立	0294-23-2111
ひたちなか市	ホテルテラス ザ スクエア日立	0294-22-5531
常陸太田市	東横イン日立駅前	0294-89-1045
大子町	ホテル日立プラザ	0294-21-7111
ひたちなか市	ホテル日立ヒルズ	0294-26-8244
常陸太田市	ホテル網元	0294-23-3456
水戸市	うのしまヴィラ	0294-42-4404
常陸太田市	葉湯旅館 長寿の湯	0294-24-4126
高萩市	お城の民宿花ぐるま	0294-42-2184
常陸太田市	ホテルノド日立	0294-33-6123
高萩市	民宿魚一	0294-42-6588
茨城県立国民宿舎鶴の岬	0294-39-2202	
常陸太田市	まんらじ旅館	0294-72-0454
水戸市	銚子屋旅館	0294-72-0030
高萩市	旅館東京庵	0294-72-7222
北茨城市	ホテル金萬	0294-72-1188
常陸太田市	ビジネスホテルたかくら	0294-72-2511
水戸市	ビジネスホテル塩原	0294-80-2225
常陸太田市	温泉旅館宝来館	0294-85-0114
高萩市	水府ふるさとセンター 竜ちゃん乃湯	0294-87-0543
北茨城市	近江屋旅館	0294-82-2007
常陸太田市	巴屋旅館	0294-82-3330
水戸市	横川温泉元湯山田屋旅館	0294-82-2236
高萩市	更級館	0293-22-2249
常陸太田市	松島館	0293-22-2353
高萩市	白木屋旅館	0293-22-2020
北茨城市	高萩山の湯	0293-23-0126
常陸太田市	高萩ホテルクレスト	0293-24-1414
水戸市	割烹旅館さらしな	0293-42-1159
常陸太田市	ホテルエリアン北茨城	0293-24-8200
高萩市	としまや月浜の湯	0293-43-1311
北茨城市	磯原シーサイドホテル	0293-42-0213
常陸太田市	ニッ島観光ホテル	0293-42-0183
高萩市	五浦觀光ホテル	0293-46-1111
北茨城市	観浦荘	0293-46-1155
常陸太田市	旅館長浜荘	0293-46-2665
高萩市	民宿五浦	0293-46-1165
北茨城市	砥上屋旅館	0293-46-0418
常陸太田市	あんこうの宿まるみつ	0293-46-0569
高萩市	まるたか観光旅館	0293-46-0527
北茨城市	やまに郷作	0293-46-1178
常陸太田市	鉱泉旅館友の湯	0293-46-0551
高萩市	旅館静海亭	0293-46-0408
北茨城市	グリーンパークホテル	0293-46-4111
常陸太田市	湯の網温泉鹿の湯松屋	0293-46-1086
高萩市	ビジネスホテル岡崎	0295-52-0296
常陸太田市	坂井屋旅館	0295-52-0031
常陸太田市	小林旅館	0295-52-0009
常陸太田市	ホテル駄亭	0295-57-2341
常陸太田市	梅屋山荘	0295-57-4480
常陸太田市	梅屋旅館	0295-57-2244
常陸太田市	割烹旅館かめや	0295-57-2409
常陸太田市	ホテルカーメヤ	0295-53-8882
常陸太田市	湯の沢鉱泉	0295-57-3794
那珂市	割烹旅館満喜葉	029-296-0201
常陸太田市	沼田屋旅館	029-282-2139
常陸太田市	梅原屋旅館	029-282-2104
常陸太田市	さくら屋旅館	029-282-2028
常陸太田市	ホテルエリアン東海	029-212-3366
常陸太田市	ビジネスホテル東海	029-283-0831
常陸太田市	栄屋旅館	0295-72-2215
常陸太田市	袋田温泉思い出漫館	0570-200-418
常陸太田市	滝味の宿豊年万作	0295-72-3011
常陸太田市	北條館別館	0295-72-3511
常陸太田市	悠久の宿滙美館	0295-72-4181
常陸太田市	ログテラス鶴ヶ渕	0295-74-1387
常陸太田市	玉屋旅館	0295-72-0123
常陸太田市	大子温泉やみぞホテル	0295-72-1511
常陸太田市	旅館本田屋	0295-72-0012
常陸太田市	鈴木屋旅館	0295-72-0458
常陸太田市	民宿芋の里	0295-74-0123
常陸太田市	川*一ドア 奥久慈福寿荘	0295-72-0580
常陸太田市	水戸三の丸ホテル	029-221-3011
常陸太田市	水戸京成ホテル	029-226-3111
常陸太田市	ビジネスホテルかもした	029-231-3900
常陸太田市	ホテルメツツ水戸	029-222-3100
常陸太田市	ホテルレイクビューウ戸	029-224-2727
常陸太田市	ホテルテラス ザ ガーデン水戸	029-300-2500
常陸太田市	ダイワロイネットホテル水戸	029-303-3311
常陸太田市	ホテル水戸シルバーハイ	029-225-0011
常陸太田市	みまつホテル	029-224-3005
常陸太田市	みまつアネックス	029-231-8110
常陸太田市	ホテルメツツ水戸	029-222-3100
常陸太田市	ホテルレインボウ水戸	029-224-2727
常陸太田市	ホテルテラス ザ ガーデン水戸	029-300-2500
常陸太田市	ダイワロイネットホテル水戸	029-303-3311
常陸太田市	ホテル水戸シルバーハイ	029-225-0011
常陸太田市	みまつホテル	029-224-3005
常陸太田市	みまつアネックス	029-231-8110
常陸太田市	アパホテル<水戸駅北>	029-225-8811
常陸太田市	ホテル亀屋	029-227-2611
常陸太田市	ホテルサトーワ戸	029-228-2811
常陸太田市	アーバンビジネスホテル	029-221-3360
常陸太田市	ホテルいづみ屋	029-231-2295
常陸太田市	スーパー旅館水戸天然温泉「梅里の湯」	029-231-9000
常陸太田市	ホテル ザ ウエストヒルズ水戸	029-303-5111
常陸太田市	ホテルニュー清香	029-221-3221
常陸太田市	あけぼの旅館	029-251-1144
常陸太田市	アパホテル<水戸駅前>	029-231-3151
常陸太田市	スマイルホテル水戸	029-233-2511
常陸太田市	ホテルリーズン	029-227-0008
常陸太田市	水戸プリンスホテル	029-227-4111
常陸太田市	東横イン水戸駅南口	029-221-1045
常陸太田市	プレジデントホテル水戸	029-300-1100
常陸太田市	AC LIFESTYLE SPACE&HOTEL	029-228-0333
常陸太田市	旅館梅本	029-227-5611
常陸太田市	水戸プラザホテル	029-305-8111
常陸太田市	ホテルシーラックパル水戸	029-241-1486
常陸太田市	山城屋旅館	029-221-4308
常陸太田市	内原鉱泉湯泉荘	029-259-2020
常陸太田市	割烹旅館城山	0296-72-0861
常陸太田市	旅館小松館	0296-72-0668
常陸太田市	料亭旅館春山荘	0296-72-0201
常陸太田市	旅館海老惣	0296-72-0145
常陸太田市	グリーンパークホテル	0293-46-4111
常陸太田市	湯の網温泉鹿の湯松屋	0293-46-1086
常陸太田市	ビジネスホテル岡崎	0295-52-0296
常陸太田市	坂井屋旅館	0295-52-0031
大洗町	大洗温泉とびた荘	029-267-3597
大洗町	大洗山口楼	029-267-3566
大洗町	大洗パークホテル	029-267-2171
大洗町	入船旅館	029-267-3220
大洗町	旅館さわや	029-267-2418
大洗町	リゾート大洗まつもと	029-266-0555
城里町	ホテル大山城	029-289-2511
鹿嶋市	藤屋ホテル	029-262-4141
鹿嶋市	磯料理とワインの宿春日ホテル	029-262-3164
鹿嶋市	みなど観光ホテル	029-262-4118
鹿嶋市	平磯館	029-262-2706
鹿嶋市	シーサイド原屋	029-262-4351
鹿嶋市	コースト イン シャローム	029-262-5111
鹿嶋市	湯の沢鉱泉	029-265-3794
土浦市	割烹旅館満喜葉	029-296-0201
土浦市	沼田屋旅館	029-282-2139
土浦市	梅屋旅館	029-282-2104
土浦市	割烹旅館かめや	0295-57-2409
土浦市	ホテルカーメヤ	0295-53-8882
土浦市	湯の沢鉱泉	029-265-3794
土浦市	年間民宿 黒勢館	029-265-8415
土浦市	旅荘松風	029-265-8332
土浦市	潮騒の宿丸徳旅館	029-265-7006
土浦市	ホテルニュー白亜紀	029-265-7185
土浦市	松本旅館	029-265-8113
土浦市	満州屋	029-265-8151
土浦市	網元の宿えびのや	029-265-8140
土浦市	旅館千葉屋	029-265-8416
土浦市	とらや旅館	029-265-8222
土浦市	滝味の宿豊年万作	0295-72-3011
土浦市	北條館別館	0295-72-3511
土浦市	オーシャンフロントお宿浜田館	029-265-7211
土浦市	悠久の宿滙美館	0295-72-4181
土浦市	ログテラス鶴ヶ渕	0295-74-1387
土浦市	玉屋旅館	0295-72-0123
土浦市	大子温泉やみぞホテル	0295-72-1511
土浦市	旅館本田屋	0295-72-0012
土浦市	鈴木屋旅館	0295-72-0458
土浦市	民宿芋の里	0295-74-0123
土浦市	川*一ドア 奥久慈福寿荘	0295-72-0580
土浦市	水戸三の丸ホテル	029-221-3011
土浦市	水戸京成ホテル	029-226-3111
土浦市	ビジネスホテルかもした	029-231-3900
土浦市	ホテルメツツ水戸	029-222-3100
土浦市	ホテルレイクビューウ戸	029

タクシー 編

おもてなし向上のためには、必ず注意しなくてはならない基本的要素といくつかの応用的要素があります。身だしなみや接客などは基本的要素に入り、お客様本位のサービスは応用的要素にあたります。例えば、安全かつ快適な運転で目的地までお客様を運ぶことは基本的要素にあたりますが、お客様の手荷物の扱いや車内での会話が応用的要素にあたります。また、普段から勤務地の飲食店情報誌や観光パンフレットを車中に常備して、必要なお客様に渡して差し上げるのもおもてなしの一つかもしれません。



タクシーに求められる「おもてなし」

①身だしなみ

常に清潔で好印象を持たれることが大事です。

チェックポイント

- 服装は規定を守りましょう。(白い手袋、靴や靴下、ベルト等、細部にも注意しましょう。)
- 清潔感のあるヘアスタイルにしましょう。
- 髪は伸ばさず、清潔感を心がけましょう。
- 長く伸びた鼻毛、耳毛に注意しましょう。
- 口臭、体臭には十分に注意しましょう。
- ピアスやブレスレット、派手な指輪の着用は避けましょう。安全上サンガラスをつける時には、お客様に「まぶしいのでサンガラスをつけておりますがご容赦願います。」と言いましょう。礼儀正しい人は好感を持たれます。

②接客対応

「おもてなし」は最初と最後が特に重要です。

チェックポイント

- お客様の方へ体をひねるように向かって笑顔で頭を下げて、心からの歓迎の気持ちを持って、さわやかに挨拶をしましょう。
- 体の不自由な方や高齢者の方には、乗降時の安全に特に注意し、積極的に援助しましょう。
- 大きな荷物をお持ちのお客様が乗車する時には、運転席から出で、「お荷物をトランクにお入れしましょうか?」と積極的に提案しましょう。
- お客様同士の会話を割り込むのは厳禁です。

【基本的な挨拶例】

- [乗車時] 「ありがとうございます。○○タクシーの○○でございます。」
 [目的地確認時] 「どちらまで参りますか?」「はい、○○ですね。かしこまりました。」「ご指定のコースはございますか?」「はい、○○通りですね。かしこまりました。」
 [発車時] 「恐れ入りますが、安全のためシートベルトをご用ください。ありがとうございます。」
 [精算時] 「○○円になります。」「○○円お預かりいたします。」「○○円のお返しでございます。」
 [降車時] 「お忘れ物はございませんか?本日はご利用くださり、誠にありがとうございました。」

③車内の整理

車内外とも常に清潔に保ちましょう。

チェックポイント

- 車体をきれいに保ち、汚れに速やかに対応し、車内座席の汚れを常にチェックしましょう。
- お客様の残り香(食べ物・香水・タバコ等)が車内に残らないように換気・消臭しましょう。
- お客様は臭いに敏感です。休憩時に車外で(車内は避ける)喫煙する際には、自分の衣服や頭髪にタバコの臭いがつき、車内にタバコの臭いを持ち込まないように十分注意しましょう。
- 私物はバック等にまとめてトランク内に保管しましょう。トランク内はお客様の荷物を積むことを考えて、常に整理しておきましょう。
- お客様が余裕をもって座れるように、助手席を前に出す等、スペース確保に努めましょう。

④観光案内

おすすめの観光施設やお食事処などを聞かれた時のために、営業エリア内をはじめ県内の最新情報を常にチェックしておきましょう。

チェックポイント

- お客様の反応をみながら話しましょう。
- 「おすすめの場所は特に無い」など、ネガティブな発言はお客様をがっかりさせてしましますので、地元ならではのグルメが食べられるお食事処やお客様のニーズに合わせた場所が紹介できるように努めましょう。
- その場所の詳しい説明やガイドブックに掲載されていないような豆知識やエピソード等が紹介できるとお客様に大変喜んでいただけます。ただし、長い話や自慢話をしないように十分に気をつけましょう。

宿泊施設 編

「おもてなし」といえば宿泊施設を思い浮かべる方が多いでしょう。「寛ぎ」や「快適」を求める観光目的のお客様の接客にはワンランク上のおもてなしを求められます。特に色々な観光地を訪れ、旅慣れしているお客様ならなおさらのこと…。「おもてなし」とは「表裏なし」を語源の一つとしています。つまり、表裏のない心でお客様をお迎えすることを表しています。そのためには、常日頃からお客様の気持ちを考える時間を持つことが重要です。日々の業務の中で時間を作り、お客様の喜ぶことを考えたり、知識を蓄えたりすることもおもてなしの準備ととらえましょう。



宿泊施設に求められる「おもてなし」

①予約の受付

予約をしていただいたことに対する感謝の気持ちを言葉で表し、お客様に伝えましょう。絶対に予約漏れが起きない管理をしましょう。

チェックポイント

- 電話での受け答えは丁寧に行い、予約内容は必ず復唱し確認しておきましょう。

ホームページは見やすく、お客様が欲しい情報がすぐに分かるように作りましょう。

チェックポイント

- 部屋別、サービス別で宿泊料金が異なる場合には、一覧にまとめておきましょう。サービス内容等は別途詳細が確認できるようリンク貼付けをしておくと親切です。
- ホームページ予約システムはお客様が入力しやすいような様式を用いて、入力完了後に自動で確認メールが届くようなシステムを構築しておきましょう。
- リンク切れや古い情報の掲載がないか定期的に確認して、常に最新情報を掲載しましょう。

③施設内の設備状況

隅々まで清掃が行き届いているか、備品は揃っているかで施設の印象が変わります。

チェックポイント

- 就寝衣、タオル等、客室備品は正確に人数分揃っているか、清潔なものか確認しましょう。
- お客様の残り香(食べ物・香水・タバコ等)が消えるように換気・消臭を行いましょう。
- 破損している設備がないか目を配りましょう。
- お客様から見える場所に業務用品(清掃用具等)を置かないように注意しましょう。
- 緊急時にに関する案内をはじめ、館内施設案内は、見やすく、分かりやすい表示にしましょう。
- 違和感があるもの、理にかなわないもの、迷うもの等々、お客様が混乱してしまうものがあれば見直して改善するか、排除しましょう。

②接客対応

「おもてなし」とは、的確な状況判断に基づく個別的な対応力を磨くことで「またあなたに会いたい」と思っていただくことです。

お出迎え・チェックイン時の対応

- お客様に警戒心を与えないような笑顔で歓迎の気持ちを持って挨拶をしましょう。チェックイン時には予約条件の確認も行い、お客様を待たせないようにスムーズな対応を心がけましょう。

館内での対応

- 館内施設の説明は丁寧に行い、客室へご案内する際はお客様の歩く速さに合わせましょう。また、お客様の荷物は率先して持ちましょう。
- 配膳担当者は料理の説明が自らできるようにしましょう。
- お客様とすれ違う時は必ず立ち止まり、やわらかく「こんにちは」と挨拶をしましょう。

チェックアウト・お見送り時の対応

- 「ご満足いただけたでしょうか?」と一言お声をかけましょう。お客様の心の中に不満があればお詫びする機会作ることができます。後々悪い口コミになることを回避できます。お見送りの際は、感謝の気持ちで「また是非お越しくださいませ。」と心を込め、頭をさげて挨拶しましょう。

④周辺の観光案内

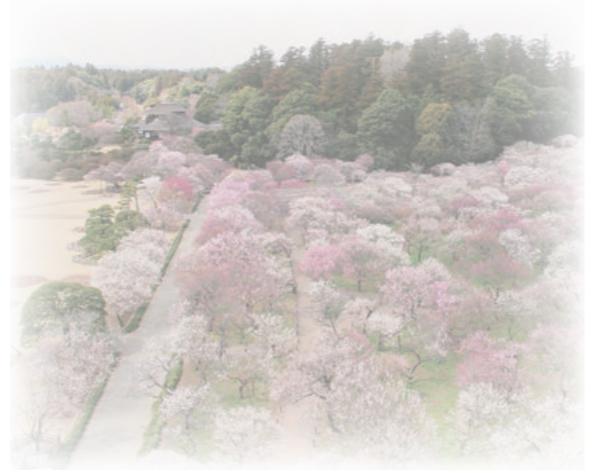
おすすめの観光施設やお食事処などを聞かれた時のために、常に周辺施設の最新の情報を把握しておきましょう。

チェックポイント

- おすすめの観光施設やお食事処を聞かれた際には、口頭での案内だけでなく、ガイドブックや案内マップ類をお渡しして説明するようにしましょう。なお、閲覧用で一部のみ用意するではなく、お客様が自由にお持ち帰りできるようにラック等を用いて複数部数を設置しておくのが望ましいです。
- 周辺でイベントが開催される時には、一層予約が増えるかもしれません。ご予約時にイベント情報や会場までのアクセス等の質問があった際に説明できるようしておきましょう。

観光施設 編

観光地であることから、ついつい施設の管理・運営だけに目が行きがちですが、訪れてくるお客様あっての観光施設です。たとえ文化財としての価値が高くとも、訪れたお客様にその価値を理解してもらってこそ、本当に価値ある施設になります。また、観光に訪れたお客様の質問はメモをとっておき、答えられない質問ができるだけ少なくする努力も怠ってはいけません。さらに、常に管理者として施設内をよく見回りし、定期的にくまなく施設チェックを行うようにしましょう。日々の行いがおもてなしにつながります。



観光施設に求められる「おもてなし」

①電話対応

電話対応はお客様に失礼のないように注意しながら受け答えましょう。

チェックポイント

- 電話が鳴ったら、なるべくベルが2、3回鳴り終わるまでに出るようにし、お客様を待たせることのないように心がけましょう。
- 特に従事者が少ない場合、電話に出られないことのないようにしましょう。(お客様が休館日だと思ってしまいます。)
- 必ずメモを取り、復唱して確認しましょう。
特に見学予約は下記項目を確認しましょう。
- [確認事項]
①日時 ②代表者名 ③連絡先 ④当日の来館人数 等
- お客様からの名指し人が不在のときは、ご用件を聞いたり、折り返すように伝えたりしましょう。このような場合は「情報の共有」をしっかりとおきましょう。

②情報の共有

管理者同士の情報共有(引き継ぎ)を確実に行いましょう。

チェックポイント

- 施設の管理者の勤務が日替わりの交代制で、なおかつ勤務が一人の場合は特に注意が必要です。
- 「情報の共有」は日誌等の文書で引き継ぎ、保管しておきましょう。月間スケジュールはホワイトボード等に記載しておくと、すぐに目に入り、分かりやすいです。
- お客様からの見学予約や施設内の状況(破損箇所等)報告など、共有の必要な情報は日誌に記入し、次の日の管理者に正確に伝えよう。
- お客様への案内内容が管理者ごとに異なるのは問題です。マニュアルの作成や打合せ等で、情報が錯乱することを防ぎましょう。

③施設の整備

施設がしっかりと整備されていることは、お客様が「またここに来たい」と思っていただけのことの大前提です。落ちているゴミがあれば皆が率先して拾う行動を積み重ねて、常にきれいな施設を維持しましょう。

チェックポイント

- 汚いトイレであれば二度と来たくないと思われてしまいます。
- お客様が利用するスリッパがきちんと並べられているか、業務用品(清掃用具等)がお客様から見えていないか等、気をつけましょう。
- 施設内の案内板は見やすいものにしましょう。
- 情報の古いもの(期日の過ぎたポスター等)は更新しましょう。特に色あせた貼紙が貼つてあるとお客様にネガティブな印象を与えてしまいます。
- お客様が怪我しないように危険箇所の確認・修理を迅速に行い、階段や非常口の誘導灯・案内板は安全上しっかりと整備しましょう。

④観光案内

施設内の情報を網羅しておきましょう。

チェックポイント

- 施設内の情報を把握し、お客様からお問合せがあった際には、正確に受け答えできるようにしておきましょう。
- 施設のおすすめを聞かれたときに「特ない」というネガティブな発言ではなく、自信を持って答えられるようにしましょう。

施設周辺の観光案内やお食事処の紹介が自信を持ってできるようにしましょう。

チェックポイント

- お客様から次の目的地までの道案内を尋ねられた際には、周辺マップ等を用意しておき、正確に説明できるようにしましょう。
- 地元ならではのグルメが食べられるお食事処やお客様のご要望に沿った場所がいつでも紹介できるように、常に情報の取得・整理に努めましょう。

観光ボランティアガイド 編

ボランティアとはいって、観光ボランティアガイドは地域資源を多くの人に発信する大切な使命を背負っています。観光地を訪れるお客様は、初めての地に期待とともに不安を抱えています。知らない場所、知らない道を歩くのは予想ができず、どこか不安なものです。少しゆっくり歩いたり、共通な話題を探しながら相手の気持ちを解きほぐしてあげるのも観光ボランティアガイドにできるおもてなしの一つです。また、情報は常に変化することを踏まえ、新しい情報をチェックしておくとともに、他の観光ボランティアガイドとの意見交換を定期的に行うことも重要です。



観光ボランティアガイドに求められる「おもてなし」

①予約の受付

電話予約があった際に依頼内容を正確に把握しましょう。

チェックポイント

- 予約ガイド受付表を作成し、内容の整理をしましょう。
- [確認事項例]
 - ①期日 ②希望時間 ③希望見学先及びコース
 - ④参加者人数(ガイド希望人数) ⑤代表者名 ⑥当日の連絡先
 - ⑦電話予約を受けた担当者名
- 受付表をもとにガイド人数や時間に応じた説明内容等を事前に準備しましょう。(特にお客様のニーズにあった情報を提供できるように情報の取扱選択をしましょう。)

依頼日が近づいたら再度電話で確認しましょう。

チェックポイント

- 当日案内する人がお客様に最終確認をとりましょう。(最終参加人数や集合場所など)
- 当日の連絡体制や雨天時の対応なども確認しておきましょう。(中止の連絡や到着が遅れる場合等)

③お客様への事前説明

お客様と接するときは丁寧な言葉で話しましょう。

チェックポイント

- 茨城弁は乱暴に聞こえることもあるので、丁寧かつゆっくり話しましょう。
- ボランティアであっても相手は茨城に興味のあるお客様です。「教えてやっている」のではなく、「喜んでいただきたい」という思いで行いましょう。

案内人が同行する行程を最初に伝えましょう。

チェックポイント

- 事前に行程表や配布資料を渡しておき、当日案内する内容を簡単に伝えておきましょう。

はぐれるお客様がいないように事前に集合時間や場所、はぐれた際の対応等を説明しましょう。

チェックポイント

- 案内人の服装は目立つ色で、ガイド団体名やシンボルマークが入っているものを着用し、お客様が見つけやすい格好にしましょう。
- 休憩の際は集合時間と場所を伝えましょう。
- バスの乗降時や徒歩での移動の途中には必ず人数確認を行いましょう。
- はぐれた場合の集合場所や案内人の携帯電話番号を書いた紙を全員に渡しましょう。

②ガイド前の事前確認

機器の状況を確認しておきましょう。

チェックポイント

- マイクやカメラ等の機器に不具合がないか、バッテリー残量も含めて確認しましょう。

行程内のコースを下見しておきましょう。

チェックポイント

- 管理者がいる施設には、予め入館する日時を伝えて、了承を得ておきましょう。

施設の開館時間・臨時休館日、来客人数の収容が可能か等々、入念に確認して、案内時間に余裕のある計画を作りましょう。

- ルート内に工事中の場所があるか確認して、安全面について万全の注意を払いましょう。

ガイド人数の確認をしましょう。

チェックポイント

- 当日の案内人を手配しましょう。(マイクを使用した場合はガイド1人に対して40人が上限、マイクなしの場合は上限20人が目安です。)

急なアクシデントにも対応できるようにガイド体制(予備の案内人等)を整えましょう。

④観光案内

常に「おもてなしのこころ」を持ち、状況に応じた気配り・心配りのある案内をしましょう。

チェックポイント

- 女性や高齢層のお客様には、短い休憩を多めに、トイレ休憩も長めにとりましょう。

気候や時間帯に合わせて、説明時の場所を選びましょう。(日向または日陰での説明等)

- お客様の疲れ、体調の変化に常に目を配り、絶対に無理をさせないようにしましょう。

説明する時に後ろの方にいるお客様まで声が届いているか確認しながら、声量やマイクの音量を適切に調整しましょう。ただし、近隣住の方へ迷惑のかからない音量であることに注意しましょう。

お客様に応じて話す内容を変えましょう。

チェックポイント

- お客様は解説の内容に加え、楽しさや案内人の人柄の良さを求める傾向にあります。これは案内人として腕の見せ所ですので、「お客様に喜んでいただきためのガイド」であるために工夫をしましょう。(魅力的な話しあわせやとておきの話の披露、お客様参加型のクイズなど)

おもてなしをさらに向上させるために（応用編）

P.90～93の「おもてなし向上のために必要な心得」で、おもてなしの基本を御紹介しましたが、ここでは実際に「一般社団法人日本おもてなし推進協議会」に寄せられた体験談を御紹介します。お客様が感じた細かい心遣いや気持ちのこもった「おもてなし」についてお客様目線で率直に述べられていますので、これらの「おもてなし」の例を参考に、どのような行動がお客様に喜ばれるのかなど、工夫しながら自分なりの「おもてなし」を見つめましょう。

おもてなし体験談／タクシー 編

～ 25歳男性会社員より ～

駅前のタクシー乗り場でそのタクシーに乗りました。仕事で初めて一人で任された商談に行く途中ということもあり、少し緊張しながら車内に乗り込みました。運転手に行き先を告げると、「だいたい30分位で到着致します。どうぞゆっくり車内でお過ごしください。」と、にこやかに声をかけてもらいました。およその時間を聞いて、少し気持ちを落ち着かせることができるとホッとひと息つきました。初めて訪れる街の様子を車窓からしばらく眺めました。季節は春、桜並木の桜がちょうど満開であり、思わず「わあ～綺麗だなあ。」とつぶやいていました。すると、運転手さんに、「お仕事でお越しですか？」

- ポイント**
- 到着予想時間と言いつつ、お客様を気遣い、笑顔で対応しているところに好感を持てます。
 - 言葉にネガティブな要素がなく、初めて仕事で来たお客様の不安を取り除くような心遣いを感じられます。会話のテクニックも「おもてなし」につながることがあります。

おもてなし体験談／宿泊施設 編

～ 30代女性主婦より ～

ある旅館に予約をしていた時のことですが、渋滞のためチェックインが大幅に遅れることになってしましました。すぐに旅館に連絡をして、到着が遅くなることを伝えましたが、結局到着したのは連絡した時間よりも更に遅い深夜です。「きっと嫌な顔をされるだろう…。」と思いつながら旅館へ行くと、なんと、その旅館の前にご年配の男性スタッフが心配そうに立っているのです。どうやら遅くなつた私たちを心配して待っていたようです。そして、私たちを見ると嫌な顔ひとつ見せず、「場所がわからなかつたのではないですか？申し訳ありません。」と頭を下げて迎えてくださつたのです。これには感激していました。

- ポイント**
- お客様の到着が遅れた時にとる態度や夕食への気配りに、状況に応じた「おもてなし」が感じられます。
 - 「またこの旅館に泊まりたい」と思っていただけるような、的確な状況判断に基づく対応力を磨くことが大事です。

おもてなし体験談／観光施設 編

～ 50代男性会社員より ～

歴史が大好きで観光するときには、必ず資料館等に足を運ぶのですが、今でも思い出に残っている施設があります。明治時代に建てられた歴史的な建造物である資料館に足を運んだ時のことです。その日は雨が降っていたのですが、入り口に「雨の中、ご来館ありがとうございます。ご自由にお使いください。」とタオルが置いてあるのです。おもてなしの心が溢れている施設だと入った瞬間から感じることができました。施設にはロッカーもあり、手荷物を無料で預けることもでき、ゆっくり館内を覗いた私にとってはとても有り難かったです。ゆっくり館内で過ごし、大満足で資料館を後にしたところ、後ろから「お

客様～、お客様～。」と声が聞こえるので、振り返ったところ、資料館のスタッフがこちらに向かって走ってきて、「お客様のお忘れ物ではないですか…。」と、私の家の鍵を差し出すのです。ロッカーに入れておいた鞄の中から家の鍵が滑り出てしまったことに気づかずにロッカーに忘れてしまつたのです。すぐに後ろから追つてきてくださつたのは、私がロッカーから荷物を出した後、忘れ物がないかを確認していただいたからこそできることで、目にはつきりはわからないけれど、施設のスタッフの方々のお客様と思うおもてなしの心を随所に感じた体験をすることことができました。

ポイント

- 雨に濡れて入ろうとした建物の入口に、思いがけず自由に使えるタオルが置いてあると感動ものです。
- 使用後のロッカーをすぐに確認することにも、なかなか気が回らないことですが、このような細かい心遣いは、忘れ物をしたお客様にとってありがたい心遣いです。

おもてなし体験談／観光ボランティアガイド 編

～ 30代女性団体職員より ～

街巡りツアーに職場の仲間と参加したときのことです。街巡りツアー中、私たちが立ち寄るところでたくさん写真を撮っていると、担当してくださつた観光ボランティアガイドさんは、「このアングルが良いですよ～。」と、写真映えする場所に誘導し、シャッターを押してくれました。また、その日はとても日差しが強かったのですが、できる限り日陰を探してガイドをしていただき、日焼けしないように気を付けていただけたのはとても嬉しかつたです。3時間程のガイドでしたが、最後にガイドさんは、な

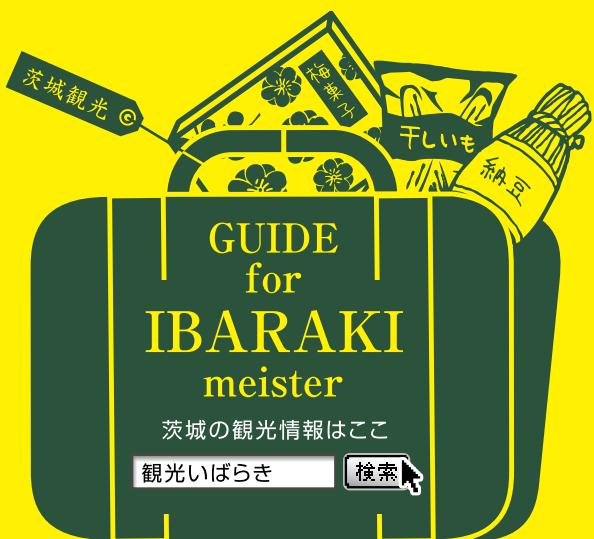
んと、自分のかばんの中から保冷袋を取り出し、自宅で用意してきた冷たいおしぼりを私たち一人一人に、「暑い中話を聞いていただきありがとうございました。」とお礼を言いながら渡してくれました。今まで色々なところで、観光ボランティアガイドをしてもらつたが、このような経験をしたことはなく本当に感動しました。年配のガイドさんでしたので、ご本人も体力的にきつかったかと思うのですが、心からのおもてなしに頭が下がる思いでした。

ポイント

- 日陰を歩く、おしぼりを渡す等、お客様の体調を考え、状況に応じた気配りができます。
- 「暑い中話を聞いていただきありがとうございました。」などお礼を述べ、「教えてやっている」のではなく、「喜んでいただきたい」という思いで案内することが大切です。

最後に…

4つの体験談をもとに、どのようにすればお客様に喜んでいただけるか、お客様目線での具体例を挙げました。「おもてなし」は「相手を思いやる心」が大前提で、その手法は多岐に渡ります。「おもてなし向上のために必要な心得(P.90～93)」と「おもてなしをさらに向上させるために（応用編）(P.94～95)」が、その手法を導く一助になれば幸いです。どんなに小さなことでも、それで相手を喜ばせることができるなら、それは「おもてなし」につながります。身の回りの気づいたことから実践し、皆で茨城県を盛り上げ、おもてなし日本一を目指しましょう！



発行／茨城県営業戦略部観光物産課
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番地6
TEL.029-301-3617

令和5年度改訂版